

年 表

凡 例

本年表は、「社内事項・関連事業」および「交通業界・その他」の2欄だてとした。

1. 社内事項・関連事業

(1) 社内事項

主として、当社創立の大正11年から昭和47年に至る間の50年について記載した。被合併会社である池上電気鉄道、玉川電気鉄道については、当社合併までは交通業界の欄に記載した。東京横浜電鉄については、当社と一体となって事業活動を行なってきたため、昭和14年の合併以前についても社内事項扱いとした。なお、田園都市会社を含めたこれらの合併会社の大正10年までの動きについては、参考年表として末尾に集録した。

社内事項の記述に当たっては、株主総会を節として事業活動をとらえ、重要事項のみを簡明に、暦日を追って記載した。

(2) 関連事業

関連会社の設立・さん下入り・合併・解散・主要事業活動の記載にとどめ、関連会社の子会社については当該関連会社の記事に關係のある一部を除いては割愛した。

なお、経営参加している関係会社についても一部記載した。

2. 交通業界・その他

当社の事業活動を把握するための目やすとして、政治・経済・社会および交通業界の動きのなかから、原則として当社に關係のあると思われるもののみを選んで記載した。したがって、基準は必ずしも一定していない。

なお、この欄に記載してある事項のなかで、のちに当社に合併もしくは關係の生ずるものについては、頭部に*印を冠した。

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>大正11年</p> <p>3. 24 田園都市会社 目黒線大崎町(目黒)～調布村(多摩川) 間工事施行認可</p> <p>3. 30 田園都市会社 目黒線着工</p> <p>5. 1 田園都市会社 本社事務所を東京市京橋区南伝馬町3-5第一相互館内に移転</p> <p>6. 2 定款制定</p> <p>6. 一 田園都市会社は土地分譲開始</p> <p>7. 12 目黒蒲田電鉄発起人総会 発起人竹田政智(代表), 矢野恒太, 緒明圭造, 市原求, 渋沢秀雄, 篠原三千郎, 伊藤欣二, 五島慶太 決議事項 ①田園都市会社鉄道敷設権の譲受け(大井町～調布村間, 碑倉村～大崎町間) ②武蔵電気鉄道敷設権の譲受け(調布村～蒲田間)</p> <p>7. 14 同上譲受け許可申請</p> <p>8. 2 田園都市会社 電燈電力供給業認可</p> <p>9. 2 創立総会 資本金350万円 取締役竹田政智(代表) 緒明圭造, 渋沢秀雄, 篠原三千郎, 五島慶太, 河野通, 監査役に市原求, 石川善太郎, 伊藤欣二がそれぞれ就任 本社事務所を東京市京橋区南伝馬町3-5第一相互館内に設置</p> <p>9. 19 上記鉄道敷設権譲受け許可</p> <p>10. 2 臨時株主総会 社長に竹田政智, 専務に五島慶太就任</p> <p>10. 26 蒲田線(調布村～蒲田間) 工事施行認可申請</p> <p>12. 16 第1回定時株主総会</p> <p>12. 27 蒲田線工事施行認可</p> <p>12. 一 田園都市会社 分譲地・洗足地区に送電開始</p>	<p>4. 20 *池上電気鉄道 臨時株主総会 社長芳川寛治辞任 社長に高柳淳之助就任</p> <p>6. 11 *玉川電気鉄道 渋谷～恵比寿駅前間開通</p> <p>6. 12 加藤友三郎内閣成立 鉄道大臣に大木遠吉就任</p> <p>6. 15 筑紫電気鉄道は九州鉄道と商号変更</p> <p>6. 28 新京阪鉄道設立</p> <p>7. 22 *玉川電気鉄道 三軒茶屋～下高井戸間鉄道敷設特許</p> <p>7. 25 山手貨物線渋谷～原宿間複線開通</p> <p>7. 27 *玉南電気鉄道設立</p> <p>7. 一 *玉川電気鉄道 玉川第2遊園地開園</p> <p>8. 1 名古屋電気鉄道は市内線を名古屋市に譲渡して会社解散</p> <p>8. 15 武蔵鉄道設立(同年11月西武鉄道と商号変更)</p> <p>9. 6 南海鉄道は大阪高野鉄道, 高野大師鉄道を合併</p> <p>10. 6 *池上電気鉄道池上～蒲田間開通</p> <p>11. 1 西武鉄道は帝国電燈の鉄道業を譲受ける</p> <p>11. 一 武蔵野鉄道池袋～所沢間電化</p> <p>12. 21 熱海線小田原～真鶴間開通</p>
<p>大正12年</p> <p>1. 15 目黒線の延長工事として多摩川～丸子間着工</p> <p>2. 2 社則制定</p> <p>3. 5 目黒線目黒～丸子間竣工</p> <p>3. 9 千束変電所使用開始</p> <p>3. 10 目黒線目黒～丸子間(8.3km) 開通 発車式を目黒駅で, 開業式を洗足および多摩川駅において挙行 鉄道運賃1区5銭, 全線4区</p> <p>4. 2 臨時株主総会 鉄道財団組成による資金借入の件可決</p> <p>4. 25 蒲田線丸子～蒲田間(4.92km) 着工</p> <p>5. 14 本社事務所を東京府荏原郡大崎町大字上大崎 239に移転</p> <p>5. 28 地方鉄道補助法に基づく補助許可申請(第2・3期受給)</p>	<p>2. 18 *玉川電気鉄道三軒茶屋～上馬引沢間複線化により渋谷～玉川間全線複線となる</p> <p>3. 16 *武蔵電気鉄道東京市内線(上目黒～有楽町間) 鉄道敷設免許申請は不許可となる</p> <p>4. 一 世田谷村は町制をしき世田谷町となる</p> <p>5. 1 *小田原急行鉄道設立</p> <p>5. 4 *池上電気鉄道雪ケ谷～池上間開通</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 27 第2回定時株主総会 社長竹田政智, 取締役河野通, 監査役市原求辞任, 社長に市原求, 監査役に河野通がそれぞれ就任</p> <p>6. 一 田園都市会社 本社を東京府荏原郡碑畚村大字碑文谷1466に移転</p> <p>9. 1 震災のため千束変電所倒壊9日まで休業</p> <p>9. 一 専務五島慶太 代々木乗合自動車の取締役に就任</p> <p>10. 25 蒲田線丸子～蒲田間竣工</p> <p>10. 一 目黒線目黒不動前駅を「不動前」と改称</p> <p>11. 1 蒲田線開通 目黒～蒲田間(13.2km) 全通により目蒲線と呼称 全線6区</p> <p>12. 25 第3回定時株主総会 株主配当年5%</p> <p>12. 一 専務五島慶太は播丹鉄道副社長に就任</p>	<p>6. 20 日本航空設立(7月大阪～別府間定期航空開始)</p> <p>7. 3 城東電気鉄道設立</p> <p>7. 17 *武蔵電気鉄道は本社事務所を麴町区有楽町2-1に移転</p> <p>7. 24 北総鉄道は千葉県営鉄道(野田～柏間)を譲受ける</p> <p>9. 1 関東大地震発生</p> <p>9. 2 山本権兵衛内閣成立 鉄道大臣に山之内一次就任</p> <p>10. 21 *玉川電気鉄道火力発電所復旧</p> <p>10. 24 *池上電気鉄道 本社を東京市神田区小川町35に移転</p> <p>11. 1 名古屋鉄道は蘇東電気軌道(未開業)を合併</p> <p>12. 27 東武鉄道野田線船橋～柏間開通</p>
<p>大正13年</p> <p>1. 8 田園都市会社は大岡山所在の社有地を東京高等工業学校(現東京工業大学)に交換譲渡</p> <p>2. 29 目蒲線鶴ノ木駅新設</p> <p>3. 1 臨時株主総会 資本金350万円を500万円に増額</p> <p>5. 1 多摩川園設立 資本金15万円</p> <p>5. 2 目蒲線下丸子駅新設</p> <p>6. 27 第4回定時株主総会 株主配当年6%</p> <p>6. 27 田園都市会社監査役に河野通就任</p> <p>6. 一 目蒲線小山駅を「武蔵小山」に, 丸子駅を「武蔵丸子」に, 新田駅を「武蔵新田」と改称</p> <p>7. 24 奥沢(のちに大岡山に変更)～瀬田河原(二子玉川)間鉄道敷設免許申請</p> <p>8. 14 電力供給事業兼営許可申請(大15.4.7却下)</p> <p>10. 1 社則改正実施</p> <p>10. 7 武蔵電気鉄道をさん下に収める 目黒蒲田電鉄役員が同社役員に就任 会長矢野恒太, 常務五島慶太</p> <p>10. 25 武蔵電気鉄道臨時株主総会 東京横浜電鉄と商号変更 本社事務所を目黒蒲田電鉄本社所在地(荏</p>	<p>1. 1 軌道法施行(大10.4.14公布)</p> <p>1. 7 清浦奎吾内閣成立 鉄道大臣に小松謙次郎就任</p> <p>1. 18 東京市営乗合自動車営業開始(路線東京駅～巢鴨, 東京駅～中渋谷, 永楽町～大塚)</p> <p>2. 18 大阪電気軌道は城東電気鉄道を合併</p> <p>3. 1 *玉川電気鉄道玉川～砧間開通</p> <p>3. 27 *玉川電気鉄道世田谷線世田谷～下高井戸間敷設工事施行認可</p> <p>” 渋谷道玄坂に「百軒店」出現</p> <p>4. 1 世田谷町に国土館商業学校開校</p> <p>4. 12 九州鉄道福岡～久留米間開通</p> <p>4. 一 東京高等工業学校, 府立第八中学校(現小山台高校)移転開校</p> <p>5. 21 *玉川電気鉄道渋谷橋～天現寺橋間開通</p> <p>5. 23 内務省 関東大震災後の住宅不足救済のため財団法人同潤会を設立</p> <p>6. 11 加藤高明内閣成立 鉄道大臣に仙石貢就任</p> <p>7. 1 川崎町は川崎市となる</p> <p>7. 25 鶴見臨港鉄道設立</p> <p>8. 1 駿豆鉄道大仁～修善寺間開通</p> <p>” 阪神電気鉄道 甲子園野球場竣工</p> <p>9. 27 京阪電気鉄道は京津電気軌道を合併</p> <p>10. 1 熱海線真鶴～湯河原間開通</p> <p>10. 25 明治神宮外苑競技場竣工</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>原郡大崎町)に移転</p> <p>11. 8 東京横浜電鉄 神奈川線(多摩川～新神奈川間) 工事施行認可</p> <p>12. 23 第5回定時株主総会 株主配当年7%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 社長に矢野恒太, 専務に五島慶太就任 株主配当年5%</p>	<p>12. 17 *玉川電気鉄道玉川～溝ノ口間軌道延長線敷設特許</p> <p>12. 一 *玉川電気鉄道真中・弦巻両停留場新設</p>
<p>大正14年</p> <p>1. 10 東京横浜電鉄 神奈川線多摩川橋梁着工</p> <p>2. 19 臨時株主総会 東京横浜電鉄に融資のための社債200万円募集の件可決</p> <p>2. 24 田園都市会社 監査役河野通辞任</p> <p>4. 1 監査役河野通辞任</p> <p>4. 16 大崎町～渋谷町間および渋谷町～京橋区横町間鉄道敷設免許申請(昭4.10.26却下)</p> <p>6. 24 第6回定時株主総会 定款変更「電力供給事業」を「電力電燈および電熱の供給」「電気機械器具の販売貸付を営むこと」に改訂 株主配当年8%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p> <p>8. 18 臨時株主総会 東京横浜電鉄に融資のための150万円その他合計200万円の社債募集の件可決</p> <p>8. 30 東京横浜電鉄 神奈川線多摩川橋梁完成</p> <p>9. 5 第2回社債200万円募集</p> <p>10. 12 目蒲線本門寺道駅仮設</p> <p>12. 23 多摩川園開園</p> <p>12. 25 東京横浜電鉄 白幡変電所設置</p> <p>12. 26 第7回定時株主総会 監査役に小林一三就任 株主配当年8%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p>	<p>1. 18 *玉川電気鉄道三軒茶屋～世田谷間開通</p> <p>3. 11 *京浜電気鉄道八ツ山橋～高輪間開通</p> <p>3. 19 *上田温泉電軌上田～別所温泉間開通</p> <p>3. 24 玉南電気鉄道府中～東八王子間開通</p> <p>3. 25 熱海線湯河原～熱海間開通</p> <p>4. 18 全日本陸上競技連盟発足</p> <p>4. 26 山手線複々線開通, 新宿駅改良工事竣工</p> <p>5. 1 *玉川電気鉄道世田谷～下高井戸間開通</p> <p>5. 6 奈良電気鉄道設立</p> <p>5. 29 京成電気軌道は成田電気軌道を合併</p> <p>5. 一 東京市は高速鉄道5路線(82.4km)免許申請</p> <p>6. 一 *玉川電気鉄道は玉川プールを開場</p> <p>7. 10 東武鉄道東上線池袋～寄居間全通</p> <p>7. 12 東京放送局愛宕山より放送開始</p> <p>8. 5 阪神国道電軌設立</p> <p>8. 一 *白木屋大阪支店 わが国初のネオンを点燈</p> <p>9. 10 攻玉社 不動前に移転開校</p> <p>9. 一 二子橋完成</p> <p>11. 1 神田～上野間高架線開通 山手線環状運転開始</p> <p>11. 8 村山貯水池完成</p> <p>11. 一 *小田原急行鉄道新宿～小田原間着工</p> <p>12. 13 東京～横須賀間および東京～国府津間に電気機関車運転開始</p> <p>12. 13 武蔵野鉄道所沢～飯能間電化完成</p> <p>12. 15 東京乗合自動車 遊覧自動車業営業開始</p> <p>12. 27 *湘南電気鉄道設立</p> <p>12. 30 *池上電気鉄道臨時株主総会 社長高柳淳之助辞任 社長に越山太刀三郎就任 (国勢調査) 世田谷町 38,068人 駒沢町 20,991人 松沢町 7,237人 玉川町 11,974人</p>
<p>大正15年</p> <p>1. 1 目蒲線調布駅を「田園調布」に, 多摩川駅を「丸子多摩川」に, 武蔵丸子駅を「沼部」と改称</p> <p>2. 14 東京横浜電鉄 神奈川線高島山隧道完成</p>	<p>1. 29 熱海線国府津～小田原間電化</p> <p>1. 30 若槻礼二郎内閣成立</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>2. 14 奥沢変電所使用開始 " 東京横浜電鉄 神奈川線（丸子多摩川～神奈川間 14.8km）開通 目蒲線と相互乗入れし、目黒～神奈川間直通運転開始 鉄道運賃 1マイル3銭5厘</p> <p>3. 28 東京横浜電鉄 神奈川線開通式を日吉台で挙行</p> <p>5. 7 大井町～鮎洲間鉄道延長敷設免許申請（昭4.10.26却下）</p> <p>6. 7 武蔵新田～蛇窪間鉄道延長敷設免許申請（昭3.11.19却下）</p> <p>6. 14 東京横浜電鉄に対して政府補助金許可（昭11年上期まで補助金受給）</p> <p>6. 29 第8回定時株主総会 資本金500万円を1,100万円に増額の件可決（大井町線建設費に充当するため）株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p> <p>7. 18 大井町線大井町～洗足間着工</p> <p>7. 31 東京横浜電鉄は鎌倉延長線（高島町～鎌倉間）鉄道敷設免許申請</p> <p>7. 一 本門寺道仮駅を本駅とする</p> <p>8. 26 臨時株主総会 社債200万円募集の件可決</p> <p>9. 1 工事方法一部変更認可 大井町～洗足間を大井町～大岡山間に変更</p> <p>9. 3 東京横浜電鉄は渋谷～永楽町間鉄道敷設免許申請</p> <p>9. 11 目黒～上楨町間鉄道敷設免許申請（昭9.2.4却下）</p> <p>9. 21 清和倶楽部設立（両社共通）</p> <p>10. 2 田園都市会社は臨時株主総会で減資を可決（500万円を300万円に）</p> <p>12. 1 目黒蒲田東京横浜電鉄共済組合発足</p> <p>12. 25 東京横浜電鉄 渋谷線（渋谷～丸子多摩川間）着工</p>	<p>3. 27 *池上電気鉄道 臨時株主総会 社長越山太刀三郎、専務益田元亮辞任 社長に中島久万吉、専務に後藤国彦就任</p> <p>4. 1 *相模鉄道寒川～倉見間開通</p> <p>4. 24 阪和電気鉄道設立</p> <p>4. 25 東京・上野両駅で、ドイツ製入場券自動販売機使用開始</p> <p>5. 12 *神中鉄道二俣川～厚木間開通（単線）</p> <p>5. 27 池上電気鉄道、定時株主総会 資本金185万円を92万5,000円に減資の件可決</p> <p>6. 3 鉄道大臣に井上匡四郎就任</p> <p>6. 11 大阪電気軌道 菖蒲池遊園地開園</p> <p>7. 1 健康保険法施行（大11.4.22公布）</p> <p>7. 10 *江ノ島電気鉄道設立</p> <p>7. 15 *相模鉄道倉見～厚木間開通</p> <p>8. 6 *池上電気鉄道は慶大グラウンド前駅新設</p> <p>9. 13 日本航空 大阪～大連間定期便開始</p> <p>9. 18 富士山麓電気鉄道設立</p> <p>9. 28 省京浜線電車で自動ドア設備開始（昭和2年完了）</p> <p>10. 20 *池上電気鉄道臨時株主総会 資本金92万5,000円を350万円に増額の件可決</p> <p>10. 22 明治神宮外苑完成</p> <p>11. 14 *池上電気鉄道本社を荏原郡大崎町大字 桐ヶ谷 362に移転</p> <p>12. 1 南海鉄道は阪和電気鉄道を合併 " *神中鉄道二俣川～星川（上星川）間開通（単線）</p> <p>12. 4 *京王電気軌道は玉南電気鉄道を合併</p> <p>12. 25 大正天皇崩御、皇太子裕仁親王踐祚 昭和に改元</p>
<p>昭和元年</p> <p>12. 28 第9回定時株主総会 株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年6%</p>	
<p>昭和2年</p> <p>3. 10 東京横浜電鉄 神奈川線東白楽駅新設</p> <p>3. 20 社長市原求死去</p>	<p>3. 9 南武鉄道川崎～登戸間、矢向～川崎河岸間開通</p> <p>3. 22 京浜地方に銀行取付発生、金融恐慌起こる</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>4. 14 臨時株主総会 社長に矢野恒太就任</p> <p>4. 一 東京横浜電鉄は綱島温泉浴場を開業</p> <p>5. 7 東京横浜電鉄 社長矢野恒太、取締役渋沢秀雄、監査役小林一三辞任、専務五島慶太代表取締役となる 以後、昭和11年12月、五島慶太が社長に就任するまでこの体制が続く</p> <p>5. 23 東京横浜電鉄臨時株主総会 取締役に小林一三、小宮次郎、監査役に渋沢秀雄就任</p> <p>6. 29 第10回定時株主総会 株主配当年10% ” 東京横浜電鉄定時株主総会 資本金 500 万円を 1,100 万円に増額の件可決</p> <p>7. 6 大井町線大井町～大岡山間 (4.8km) 開通 ” 鉄道運賃 区間制 1 区 5 銭 全線 2 区</p> <p>8. 8 不動前変電所使用開始</p> <p>8. 27 田園調布～丸子多摩川間複々線建設工事方法認可</p> <p>8. 28 東京横浜電鉄 渋谷線 (渋谷～丸子多摩川間 9.1 km) 開通により渋谷～神奈川間直通 神奈川線と合わせて東横線と呼称</p> <p>8. 一 東京横浜電鉄との共用鉄道電話設置 (磁石式25回線交換台、実装10回線電話機63台設置)</p> <p>9. 28 専務五島慶太 参宮急行電鉄取締役に就任</p> <p>10. 3 臨時株主総会 ①田園都市会社との合併契約承認の件 ②定款変更 (1)「住宅地の経営・土地家屋の賃貸売買」(2)「自動車による一般運送業」(3)「食堂の経営」(4)「日用品の販売」(5)「娯楽機関の経営」を追加の件可決</p> <p>12. 13 東京横浜電鉄 神奈川～高島町間工事施行認可</p> <p>12. 25 東京横浜電鉄は渋谷駅構内に東横食堂を開業</p> <p>12. 26 東京横浜電鉄 高島町～桜木町間工事施行認可</p> <p>12. 27 奥沢～二子玉川間鉄道敷設免許 (二子玉川線)</p> <p>12. 28 第11回定時株主総会 株主配当年10% ” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年 6 %</p> <p>12. 31 東京横浜電鉄 神奈川～高島町間着工</p>	<p>3. 22 横浜山下公園開設</p> <p>3. 29 *玉川電気鉄道恵比寿駅前～中目黒間開通</p> <p>4. 1 *小田原急行鉄道新宿～小田原間開通</p> <p>4. 16 西武鉄道村山線高田馬場～東村山間開通</p> <p>4. 20 田中義一内閣成立 鉄道大臣に小川平吉就任</p> <p>4. 22 モラトリアム実施 ” 手形交換所、銀行、株式、商品取引所も休業</p> <p>4. 一 自由ヶ丘学園開校</p> <p>5. 26 *池上電気鉄道 資本金 350 万円を 700 万円に増額</p> <p>5. 31 *神中鉄道星川～北程ヶ谷間開通</p> <p>6. 4 *池上電気鉄道雪ヶ谷～国分寺間鉄道敷設免許申請 (昭 2. 10. 6 免許)</p> <p>7. 15 *玉川電気鉄道玉川～溝ノ口間開通</p> <p>7. 27 *池上電気鉄道雪ヶ谷～蒲田間複線工事竣工</p> <p>8. 19 *池上電気鉄道調布大塚駅新設</p> <p>8. 27 *京浜電気鉄道 川崎住宅地内で乗合自動車営業開始</p> <p>8. 28 *池上電気鉄道桐ヶ谷～雪ヶ谷間開通</p> <p>9. 9 *池上電気鉄道 乗合自動車営業開始</p> <p>9. 28 参宮急行電鉄設立</p> <p>10. 1 東武鉄道浅草～伊勢崎間電車運転開始</p> <p>10. 9 *池上電気鉄道大崎広小路～桐ヶ谷間開通</p> <p>10. 15 武蔵野鉄道練馬～豊島園間開通</p> <p>12. 16 *玉川電気鉄道 乗合自動車営業開始</p> <p>12. 30 東京地下鉄道上野～浅草間開通 (日本最初の地下鉄)</p>
<p>昭和 3 年</p> <p>1. 21 元住吉車両工場竣工</p> <p>4. 1 大井町線中丸山駅を「緑ヶ丘」と改称</p> <p>4. 13 二子玉川線大岡山～二子玉川間工事施行認可申請 (奥沢起点を大岡山に変更)</p> <p>4. 28 専務五島慶太 大阪電気軌道監査役に就任</p>	<p>2. 25 熱海線小田原～熱海間電化</p> <p>3. 7 多摩湖鉄道設立</p> <p>3. 23 *池上電気鉄道は雪ヶ谷～奥沢間工事施行認可申請 (4. 4認可)</p> <p>4. 1 阪神電気鉄道は阪神国道電軌を買収</p> <p>4. 2 *丸子鉄道上田～傍陽間全通</p> <p>4. 10 日本商工会議所設立 初代会頭に藤田謙一就任</p> <p>4. 12 名古屋鉄道 乗合自動車営業開始</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>5. 5 田園都市会社を合併 資本金1,100万円を1,325万円に増額</p> <p>5. 7 社長矢野恒太, 取締役渋沢秀雄, 監査役小林一三 辞任 代表取締役に専務五島慶太就任</p> <p>5. 18 東京横浜電鉄 東横線神奈川～高島間(966m) 開業 (高島駅は同年8月3日, 本横浜と改称 同6年1月20日高島町と改称)</p> <p>5. 23 臨時株主総会 取締役に小林一三, 監査役に渋沢秀雄就任</p> <p>6. 29 第12回定時株主総会 株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年6%</p> <p>8. 1 目蒲線西小山駅新設</p> <p>8. 15 乗合自動車業大井町駅前～東洗足間営業認可申請 (昭4.4.19許可)</p> <p>8. 29 二子玉川線大岡山～二子玉川間工事施行認可</p> <p>8. 一 関東一円大出水のため砂利業一時採掘不能となる</p> <p>9. 6 同上工事着手</p> <p>10. 10 大井町線池月駅新設</p> <p>10. 15 東京横浜電鉄 東横線横浜駅新設</p> <p>12. 27 第13回定時株主総会 株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年6%</p>	<p>4. 13 *池上電気鉄道 石川駅を「石川台」, 末広駅を「東調布」と改称</p> <p>4. 17 高津村は町制をしき高津町となる</p> <p>6. 17 *池上電気鉄道 五反田～大崎広小路間開通により五反田～蒲田間全通</p> <p>7. 28 *渋谷急行電気鉄道設立</p> <p>7. 28 第9回オリンピック, アムステルダムで開催</p> <p>7. 一 *江ノ島電気鉄道は東京電燈江の島線を合併</p> <p>8. 23 *箱根登山鉄道設立</p> <p>9. 24 *山手急行電鉄設立 資本金3,400万円</p> <p>9. 一 *大山鋼索鉄道設立</p> <p>10. 1 *玉川電気鉄道 専務(代表取締役)津田興二辞任, 専務(")に北川礼弼就任</p> <p>10. 5 *池上電気鉄道新奥沢線ヶ谷～新奥沢間開通</p> <p>10. 15 省横浜駅新築移転(神奈川駅廃止)</p> <p>11. 6 鉄道省官制改正公布(陸運の監督権を逓信省から鉄道省に移管)</p> <p>11. 10 天皇即位礼</p> <p>11. 15 奈良電気鉄道京都～桃山御陵前間開通により京都～西大寺間全通</p> <p>11. 一 横浜市営乗合自動車営業開始</p> <p>12. 1 横浜市電東神奈川西口～東白楽間開通</p>
<p>昭和4年</p> <p>1. 21 乗合自動車業兼営認可申請(昭4.4.2認可)</p> <p>3. 12 臨時株主総会 社債400万円募集の件可決</p> <p>3. 17 東京横浜電鉄 乗合自動車業営業開始(川和線・綱島線)</p> <p>3. 27 武蔵新田～荏原町間鉄道敷設免許申請(昭4.10.26却下) " 沖ノ谷～上町間鉄道敷設免許申請(昭4.10.26却下)</p> <p>4. 1 東京横浜電鉄 東横線九品仏駅(現自由が丘駅)付近5.79m高上工事完成(延長520m)</p>	<p>2. 14 *神中鉄道北程ヶ谷～西横浜間開通</p> <p>3. 一 大学卒業者の就職難深刻化 東京帝大卒の就職率約30%</p> <p>3. 一 大阪電気軌道 生駒山上遊園地開園</p> <p>4. 1 *小田原急行鉄道大野～片瀬江ノ島間開通</p> <p>4. 7 甲子園に阪神パーク開園</p> <p>4. 2 *玉川電気鉄道 京王電気軌道へ電力の供給許可</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>4. 10 田園調布～大森間鉄道敷設免許申請 (昭5.6.19却下)</p> <p>5. 28 東京横浜電鉄は東横タクシーを設立 資本金50万円</p> <p>6. 1 東京横浜電鉄は乗合自動車業を東横タクシーに譲渡</p> <p>6. 6 取締役竹田政智死去</p> <p>6. 25 乗合自動車業営業開始 (大井町駅前～荏原車庫前間)</p> <p>6. 28 第14回定時株主総会 取締役役に中川正左就任 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 取締役役に中川正左就任 株主配当年6%</p> <p>8. 一 東京横浜電鉄はエビス乗合自動車をさん下に収める 資本金25万円 (昭4.11.21 東横乗合と 商号変更)</p> <p>9. 2 東京横浜電鉄 中目黒変電所新設</p> <p>9. 21 東京横浜電鉄は目黒駅に第2 東横食堂を開業</p> <p>10. 22 東京横浜電鉄 東横線九品仏駅を「自由ヶ丘」と改称</p> <p>11. 1 二子玉川線自由ヶ丘～二子玉川間 (4.0km) 開通 (部分開業)</p> <p>12. 25 二子玉川線大岡山～自由ヶ丘間 (1.6km) 開通により大井町～二子玉川間 (10.3km) 全通 大井町線と呼称</p> <p>12. 26 第15回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年6%</p>	<p>4. 15 阪急百貨店 大阪に初のターミナルデパート開店</p> <p>5. 1 武蔵野鉄道西所沢～狭山湖間開通</p> <p>5. 25 大阪電気軌道 乗合自動車業営業開始</p> <p>6. 1 *池上電気鉄道御嶽山前駅を「御嶽山」に、雪ヶ谷駅と調布大塚駅を統合、「雪ヶ谷大塚」と改称</p> <p>6. 19 富士山麓電気鉄道大月～富士吉田間開通</p> <p>6. 22 *京浜電気鉄道神奈川～月見橋間開通</p> <p>7. 2 浜口雄幸内閣成立 鉄道大臣に江木翼就任</p> <p>7. 3 慶応義塾大学 予科の日吉移転を決定</p> <p>8. 1 大阪電気軌道は吉野鉄道を合併</p> <p>9. 1 青梅電気鉄道二俣尾～御岳間開通</p> <p>9. 10 武蔵野鉄道飯能～吾野間開通</p> <p>9. 25 *池上電気鉄道 乗合自動車業(五反田～品川間) 営業開始</p> <p>10. 1 東武鉄道日光線下今市～東武日光間開通により杉戸～東武日光間全通</p> <p>10. 24 ニューヨーク株式市場大暴落 (世界恐慌起こる)</p> <p>11. 17 北総鉄道 (現東武鉄道野田線) 大宮～粕壁間開通</p> <p>11. 21 大蔵省金解禁令公布</p> <p>11. 22 北総鉄道は総武鉄道と改称</p> <p>12. 12 南武鉄道分倍河原～立川間開通</p> <p>12. 16 東京駅八重洲口開設</p> <p>12. 一 東武鉄道東上線池袋～寄居間電化</p>
<p>昭和5年</p> <p>1. 1 鉄道運賃改訂 対キロ制遠距離逓減制 最初の3キロまで1キロに付2銭3厘, 以下3キロごとに1キロに付1厘逓減</p> <p>2. 8 日吉所在土地物件に関し、慶応義塾大学との間に譲渡契約締結</p> <p>4. 1 大井町線 尾山台駅新設</p> <p>5. 21 大井町線池月駅を「洗足公園」と改称</p> <p>” 目蒲線矢口駅を「矢口渡」と改称</p> <p>6. 15 東京横浜電鉄 取締役服部玄三辞任</p> <p>6. 28 第16回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年6%</p>	<p>1. 1 鉄道省全線でメートル法実施</p> <p>” 東京地下鉄道上野～万世橋間開通</p> <p>3. 1 鶴見臨港鉄道は海岸電気軌道を合併</p> <p>3. 15 横須賀線東京～横須賀間電車運転開始</p> <p>3. 25 南武鉄道尻手～浜川崎間開通</p> <p>4. 1 *湘南電気鉄道浦賀～黄金町間, 金沢八景～湘南逗子間開通</p> <p>6. 16 阪和電気鉄道大阪～和歌山間全通</p> <p>6. 29 高野山電気鉄道高野下～高野山間全通</p> <p>7. 20 名古屋鉄道は美濃電気軌道を合併</p> <p>7. 一 日本水道設立 (給水範囲 世田谷, 弦巻, 新町, 上馬, 下馬, 若林)</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>12. 27 第17回定時株主総会 株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p>	<p>9. 5 名古屋鉄道は名岐鉄道と商号変更 9. 15 京阪電気鉄道は新京阪鉄道を合併 9. 一 神戸市 乗合自動車業営業開始 10. 1 東武鉄道野田線清水公園～春日部間開通により大宮～柏間全通 11. 26 *山手急行電鉄は東京郊外鉄道と商号変更 12. 8 *玉川電気鉄道専務(代表取締役)北川礼弼死去 12. 22 * " 社長に平沼亮三就任</p>
<p>昭和6年</p> <p>1. 1 目蒲線丸子多摩川駅を「多摩川園前」に、東京横浜電鉄東横線妙蓮寺前駅を「妙蓮寺」と改称</p> <p>3. 11 社内機関誌『東横目蒲タイムス』発行</p> <p>5. 20 上野毛～成城学園前間鉄道敷設免許申請(昭6.7.12申請取下げ)</p> <p>6. 1 玉川ゴルフコース開場(昭7.11.1等々力ゴルフコースと商号変更)</p> <p>6. 12 東京横浜電鉄 監査役伊藤欣二死去 6. 29 第18回定時株主総会 株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p> <p>7. 7 尾山台～成城学園前間鉄道敷設免許申請 7. 25 東京横浜電鉄 東横線柿ノ木坂駅を「府立高等前」と改称</p> <p>12. 28 第19回定時株主総会 監査役に丹羽武朝就任 株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 監査役に丹羽武朝就任 株主配当年5%</p>	<p>2. 1 *東京郊外鉄道は渋谷急行鉄道を合併 3. 20 *京王電気軌道北野～御陵間開通 3. 28 *湘南電気鉄道は乗合自動車業営業開始 3. 31 京阪電気鉄道西院～京阪京都間開通(関西最初の地下鉄線) 4. 1 自動車交通事業法公布(10.1施行) 4. 1 中央本線東京～甲府間電化 4. 11 *湘南電気鉄道湘南逗子～葉山間開通 4. 14 第2次若槻礼二郎内閣成立 4. 29 *相模鉄道厚木～橋本間開通により茅ヶ崎～橋本間全通 5. 29 東武鉄道浅草業平橋～雷門間開通</p> <p>7. 一 *日本自動車道会社 大船～江ノ島口間で自動車専用道路の営業開始</p> <p>8. 11 東武鉄道宇都宮線新栃木～東武宇都宮間開通 9. 10 鉄道大臣に原脩次郎就任 9. 18 満州事変勃発 10. 25 *神中鉄道西横浜～平沼橋間開通 10. 30 *池上電気鉄道は乗合自動車中延車庫新設 11. 11 *渋沢栄一死去 11. 30 東京地下鉄道万世橋～神田間開通 12. 8 *東京高速鉄道は東京市より地下鉄路線敷設権を譲受ける 12. 13 犬養毅内閣成立 鉄道大臣に床次竹二郎就任 " 金輸出再禁止 12. 19 京成電気軌道日暮里～青砥間開通 12. 26 *湘南電気鉄道黄金町～日ノ出町間開通 " *京浜電気鉄道横浜～日ノ出町間開通により湘南電気鉄道と連絡完成</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>昭和7年</p> <p>2. — 大森乗合自動車をさん下に収める 資本金3万円</p> <p>3. 31 東京横浜電鉄 東横線高島町～桜木町間単線開業 (1.347km)</p> <p>” 東京横浜電鉄 東横線府立高等前駅を「府立高等」に、太尾駅を「大倉山」と改称</p> <p>5. 1 駒沢ゴルフコース開場</p> <p>6. 28 第20回定時株主総会 株主配当年10% ” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p> <p>7. 19 鉄道敷設の変更追願申請(尾山台～成城学園前間を自由ヶ丘～成城学園前間に変更)</p> <p>8. 27 元住吉変電所使用開始</p> <p>9. 5 矢口変電所使用開始</p> <p>9. — 多摩川能楽堂竣工</p> <p>10. 1 本社事務所地名変更 品川区上大崎⁴—239</p> <p>10. 19 臨時株主総会 社債480万円募集の件可決</p> <p>12. 8 東横乗合は城西乗合自動車を合併</p> <p>12. 27 第21回定時株主総会 取締役の小宮次郎就任 株主配当年10% ” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p>	<p>1. 28 上海事変勃発</p> <p>2. 25 鉄道弘済会設立</p> <p>4. 24 第1回日本ダービー目黒競馬場で開催</p> <p>4. 26 東京府立高等学校(現東京都立大学) 食町に移転開校</p> <p>4. 29 東京地下鉄道神田～三越前間開通</p> <p>5. 15 5.15事件 犬養首相官邸で射殺される</p> <p>5. 26 斎藤実内閣成立 鉄道大臣に三土忠造就任</p> <p>5. 30 *池上電気鉄道 取締役社長中島久万吉辞任</p> <p>10. 1 横濱線東神奈川～原町田間電車運転開始 桜木町～原町田間直通運転開始 ” 東京市隣接5郡82町村市域編入20区新設</p> <p>12. 6 *丸子鉄道上田東～丸子町間開通</p> <p>12. 16 *日本橋白木屋火災 死者14重傷者21</p> <p>12. 24 東京地下鉄道三越前～京橋間開通</p>
<p>昭和8年</p> <p>2. 1 目蒲乗合設立 資本金2万円</p> <p>2. — 東京横浜電鉄は溝ノ口乗合自動車をさん下に収める</p> <p>4. 1 大井町線中丸山駅を「緑ヶ丘」と改称 ” 東京横浜電鉄は百貨店部を新設 百貨店新築工事着手</p> <p>6. 1 東京横浜電鉄は東横タクシーより乗合自動車業を譲受け同事業を再開 ” 乗合自動車業を目蒲乗合に譲渡</p> <p>6. 27 第22回定時株主総会 株主配当年10% ” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p> <p>7. 10 池上電気鉄道をさん下に収める 資本金700万円 同社役員全員辞任 専務に五島慶太, 常務に緒明圭造, 取締役小林一三, 中川正左, 松浦由太郎 監査役に丹羽武朝, 渋沢秀雄それぞれ就任</p> <p>7. 29 臨時株主総会 ①社債400万円募集の件 ②東京横浜電鉄が発行する社債の元利金支払を保証する件可決</p>	<p>1. 19 *東京郊外鉄道は帝都電鉄と商号変更</p> <p>3. 27 日本 国際連盟脱退</p> <p>3. 31 *京浜電気鉄道品川～横浜間軌間変更工事竣工(1.372mを1.435mに)</p> <p>4. 1 *京浜電気鉄道 省品川駅に乗入れて品川～浦賀間直通運転開始</p> <p>5. 20 大阪市営地下鉄梅田～心齋橋間開通</p> <p>6. 5 山陽電気鉄道設立</p> <p>6. 21 *京浜百貨店設立</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>9. 6 戸越変電所使用開始</p> <p>11. 18 池上電気鉄道雪ヶ谷～新奥沢間営業廃止申請</p> <p>12. 27 第23回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年5%</p>	<p>8. 1 *帝都電鉄渋谷～井ノ頭公園間開通</p> <p>9. 15 中央本線東京～中野間に急行電車運転開始</p> <p>11. 5 東京市電五反田～白金台町間開通</p> <p>12. 10 京成電気軌道上野公園～日暮里間開通</p> <p>12. 23 皇太子継宮明仁親王誕生</p> <p>12. 27 *神中鉄道横浜～平沼橋間開通により横浜～厚木間全通</p>
<p>昭和9年</p> <p>5. 24 臨時株主総会 定款一部変更, 社債 480 万円募集の件可決</p> <p>6. 21 取締役小宮次郎辞任</p> <p>” 東京横浜電鉄 監査役丹羽武朝辞任</p> <p>6. 28 第24回定時株主総会 池上電気鉄道との合併仮契約書承認の件および資本金を 1,710 万円に増額の件可決 監査役丹羽武朝辞任, 専務に五島慶太, 取締役篠原三千郎, 緒明圭造, 小林一三, 中川正左, 丹羽武朝, 監査役に渋谷秀雄, 石川善太郎 小宮次郎それぞれ就任 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 取締役丹羽武朝, 監査役に守随真一郎就任 株主配当年5%</p> <p>7. 28 自由ヶ丘～成城学園前間地方鉄道敷設免許</p> <p>7. 一 社内誌『清和』発刊</p> <p>9. 5 専務五島慶太 東京高速鉄道常務に就任</p> <p>10. 1 池上電気鉄道を合併 資本金 1,710 万円となる</p> <p>11. 1 東京横浜電鉄は東横百貨店を開業</p> <p>11. 3 東京横浜電鉄は田園テニス倶楽部を開業</p> <p>12. 28 第25回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年6% 百貨店開業記念特別配当年1%</p>	<p>2. 13 内務省は多摩川の砂利採取を禁止</p> <p>3. 3 東京地下鉄道京橋～銀座間開通</p> <p>4. 1 *帝都電鉄 井ノ頭公園～吉祥寺間開通により渋谷～吉祥寺間全通</p> <p>” 東武鉄道 乗合自動車営業開始</p> <p>4. 21 渋谷駅前に忠犬「ハチ公」銅像建立</p> <p>5. 一 慶応義塾大学予科日吉に開校(昭和11年移転完了)</p> <p>6. 21 東京地下鉄道銀座～新橋間開通により新橋～浅草間全通</p> <p>7. 8 岡田啓介内閣成立 鉄道大臣に内田信也就任</p> <p>9. 5 *東京高速鉄道設立 資本金 3,000 万円</p> <p>10. 6 八高線八王子～倉賀野間全通</p> <p>11. 2 米大リーグ選抜野球チーム来日 (ペーブルースほか)</p> <p>12. 21 駿豆鉄道三島～伊豆長岡間開通</p> <p>” 丹那トンネル完成 東海道本線熱海～沼津間開通 (熱海線は東海道線に編入) 国府津～沼津間は御殿場線となる</p> <p>12. 一 日産自動車は小型自動車ダットサン量産開始</p>
<p>昭和10年</p> <p>2. 9 鉄道運賃改訂 目蒲・大井町線 区間制は対キロ制となる</p> <p>4. 1 東京横浜電鉄と共同で東横目蒲電鉄健康保険組合設立</p> <p>6. 27 第26回定時株主総会 株主配当年10%</p>	<p>2. 一 *東京高速鉄道渋谷～新橋間工事施行認可申請(9月認可)</p> <p>3. 30 伊東線熱海～網代間開通</p> <p>3. 28 名岐鉄道は各務原鉄道を合併</p> <p>4. 1 青年学校令公布</p> <p>4. 29 名岐鉄道押切町～新岐阜間全通</p> <p>4. 一 青山師範学校 (現学芸大学) 開校</p> <p>5. 11 丸子橋完成</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 27 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年6%</p> <p>7. 26 東京横浜電鉄は大正自動車をさん下に収める 資本金5万円</p> <p>11. 1 雪ヶ谷大塚～新奥沢間運輸営業廃止</p> <p>12. 26 第27回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年6%</p>	<p>7. 1 総武本線船橋～千葉間電車運転開始</p> <p>8. 1 名岐鉄道は愛知電気鉄道を合併し名古屋鉄道と商号変更</p> <p>10. 1 *箱根登山鉄道小田原～湯本間開通</p> <p>10. 14 玉川警察署開設</p> <p>10. 18 *東京高速鉄道渋谷～新橋間着工</p>
<p>昭和11年</p> <p>1. 1 目蒲線本門寺道駅を「道塚」に、大井町線洗足公園駅を「北千束」に、蛇窪駅を「戸越公園」に、戸越駅を「下神明」に、池上線東調布駅を「久ヶ原」に、慶大グラウンド前駅を「千鳥町」にそれぞれ改称</p> <p>1. — 東京横浜電鉄は富士団体貸切自動車をさん下に収める 資本金10万円（同社は昭11.4.6、東京観光自動車と商号変更）</p> <p>4. 1 東京横浜電鉄 東横線碑文谷駅を「青山師範」と改称</p> <p>6. 26 第28回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 東横乗合合併仮契約承認の件、資本金1,100万円を1,500万円に増額の件可決 株主配当年6%</p> <p>8. 24 東京横浜電鉄は中仙道乗合自動車をさん下に収める 資本金30万円</p> <p>10. 13 東京横浜電鉄は玉川電気鉄道をさん下に収める 資本金1,250万円</p> <p>10. 22 玉川電気鉄道 役員全員辞任 社長に五島慶太、常務に篠原三千郎就任</p> <p>10. 30 田園読売スタンド（現田園コロシウム）開場</p> <p>10. — 東京横浜電鉄は与野自動車をさん下に収める 資本金5,000円</p> <p>11. 1 東京横浜電鉄は東横乗合（資本金400万円）を合併</p> <p>11. 29 取締役小林一三辞任</p> <p>11. — 五反田駅付属建物（地上4階、地下1階）竣工</p> <p>11. — 東京横浜電鉄は東横映画劇場を道玄坂に開場（完成と同時に東宝に譲渡）</p>	<p>1. 15 日本 ロンドン軍縮会議脱退</p> <p>1. 24 関西急行電鉄設立</p> <p>2. 26 皇道派青年将校クーデターを企て、内大臣斎藤実蔵相高橋是清、教育総監渡辺錠太郎らを射殺 永田町一帯を占拠 国家改造を要求（2.26事件）</p> <p>2. 27 東京市に戒厳令布告</p> <p>2. 29 反乱部隊に「兵に告ぐ」の原隊復帰の奉勅命令をラジオ放送</p> <p>3. 9 広田弘毅内閣成立 鉄道大臣に前田米蔵就任</p> <p>3. 18 阪神電気鉄道 神戸市内地下延長線三宮～元町間開通</p> <p>4. — 法政大学予科元住吉に開校</p> <p>9. 15 参宮急行電鉄は伊勢電気鉄道を合併</p> <p>11. 25 日独防共協定成立</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>12. 24 第29回定時株主総会 定款一部変更「社長、専務の選任は取締役の互選による」（従来は株主総会の決議）社長に五島慶太、専務に篠原三千郎、常務に丹羽武朝、取締役松浦由太郎それぞれ就任 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 社長に五島慶太、取締役松浦由太郎、山本知太郎就任 株主配当年7%</p>	<p>12. 11 常磐線日暮里～松戸間電車運転開始</p>
<p>昭和12年</p> <p>1. 30 東京横浜電鉄は内田自動車をさん下に収める 資本金15万円</p> <p>2. 26 本社事務所を渋谷区大和田町1に移転</p> <p>3. 3 嶺変電所使用開始</p> <p>4. 19 東横青年学校・東横家政女学校開校</p> <p>5. 17 東京横浜電鉄は東横食品を設立（昭18.10解散）</p> <p>5. 19 中仙道乗合は与野自動車を合併</p> <p>5. 一 東京横浜電鉄は東横興業を設立 資本金30万円</p> <p>6. 1 目蒲乗合より乗合自動車業を譲受ける</p> <p>” 目蒲乗合は目蒲興業と商号変更</p> <p>” 東京横浜電鉄は日本興業の乗合自動車業を譲受ける</p> <p>6. 25 第30回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 玉川電気鉄道合併の件可決 仮契約承認 資本金3,000万円を4,250万円に増額、株主配当年8%</p> <p>8. 一 東京横浜電鉄は中央相武自動車をさん下に収める 資本金5万円</p> <p>9. 6 臨時株主総会 目黒自動車運輸・芝浦乗合自動車合併の件可決</p> <p>9. 一 東京横浜電鉄は池袋乗合自動車をさん下に収める 資本金60万円</p> <p>12. 1 目黒自動車運輸および芝浦乗合自動車を合併 資本金3,000万円となる。</p> <p>12. 24 第31回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 取締役松浦由太郎に竹内寿平就任 株主配当年8%</p>	<p>2. 2 林銑十郎内閣成立 鉄道大臣に伍堂卓雄就任</p> <p>2. 11 文化勲章制定（第1回受賞 長岡半太郎ら3人）</p> <p>3. 1 *京浜地下鉄道設立</p> <p>4. 1 郵便料金値上げ 葉書2銭，封書4銭</p> <p>5. 7 三菱地所設立</p> <p>6. 1 信濃鉄道国有化</p> <p>6. 4 第1次近衛文麿内閣成立 鉄道大臣に中島知久平就任</p> <p>7. 1 芸備鉄道国有化</p> <p>7. 7 日華事変おこる（蘆溝橋で日華兩軍衝突）</p> <p>8. 8 *湘南電気鉄道浦賀～竹岡間汽船営業開始</p> <p>8. 14 百貨店法公布（10.1施行）</p> <p>9. 1 横荘鉄道国有化</p> <p>9. 11 後樂園球場開場</p> <p>10. 1 北九州鉄道国有化</p> <p>11. 6 伊，日独防共協定に参加</p> <p>12. 1 大倉精神文化研究所設立認可</p> <p>12. 13 日本軍，南京を占領</p> <p>12. 14 中華民国臨時政府成立</p>
<p>昭和13年</p> <p>1. 21 東京横浜電鉄は東京タクシーを設立 資本金45万円</p>	<p>1. 11 青年学校義務制となる</p> <p>3. 7 揮発油，重油，切符販売制となる（5.1から実施）</p> <p>3. 17 木炭乗合自動車登場</p> <p>3. 21 *京王電気軌道は武蔵中央電気鉄道をさん下に収める</p> <p>4. 1 国家総動員法公布（5.5施行）</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>4. 1 東京横浜電鉄は玉川電気鉄道を合併 資本金4,250万円となる " 東京横浜電鉄 取締役竹内寿平辞任</p> <p>4. 6 取締役緒明圭造死去</p> <p>5. 10 東京横浜電鉄は相武鶴屋自動車をさん下に収める 資本金15万4,000円</p> <p>5. 17 東京横浜電鉄は関東乗合自動車をさん下に収める 資本金22万円</p> <p>6. 8 東京横浜電鉄は東横映画を設立 資本金30万円</p> <p>6. 24 東京横浜電鉄は太平自動車をさん下に収める 資本金3万1,000円</p> <p>6. 27 第32回定時株主総会 取締役に緒明太郎就任 株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 取締役に緒明太郎, 武鶴次郎就任 株主配当年8%</p> <p>7. 27 東京横浜電鉄は日吉ゴルフ倶楽部設立 (昭18.5解散)</p> <p>10. 4 取締役中川正左辞任</p> <p>10. 19 取締役に伍堂卓雄就任</p> <p>10. 20 東京横浜電鉄は江ノ島電気鉄道をさん下に収める 資本金250万円</p> <p>10. 28 東京横浜電鉄は東横運送設立 資本金10万円</p> <p>10. 29 常務松浦由太郎死去</p> <p>11. 1 東京横浜電鉄は天現寺線, 中目黒線の経営を東京市に委託 " 職制改正 課制を廃して部制を敷く (8部40課)</p> <p>11. 30 監査役小宮沢次郎辞任</p> <p>12. 24 第33回定時株主総会 常務に小宮次郎, 監査役に中川正左就任 株主配当年10% " 東京横浜電鉄定時株主総会 取締役に伍堂卓雄就任 株主配当年9%</p> <p>12. — 社長五島慶太は後樂園スタジアム監査役に就任</p>	<p>4. 2 陸上交通事業調整法公布 (8.1施行)</p> <p>4. 6 電力国家管理法公布, 日本発送電会社法公布 (電力国家管理実現)</p> <p>5. 4 工場事業場管理令公布</p> <p>6. 14 *東京高速鉄道渋谷～新橋間工事施行認可</p> <p>6. 26 関西急行電鉄桑名～名古屋間開通により大阪～名古屋間全通</p> <p>7. 1 国民健康保険法施行</p> <p>7. 11 ソ満国境張鼓峰で日ソ軍衝突</p> <p>10. 27 日本軍, 武漢三鎮を占領</p> <p>11. — タクシー 全国的にメーター制となる</p> <p>11. 18 *東京高速鉄道虎の門～青山六丁目間開通</p> <p>12. 15 伊東線熱海～伊東間全通により東京～伊東間直通電車運転開始</p> <p>12. 20 *東京高速鉄道渋谷～青山六丁目間開通 " *東京高速鉄道線玉電ビル3階に乗入れる</p>
<p>昭和14年</p> <p>1. 24 東京横浜電鉄は大崎合同運輸をさん下に収める 資本金30万円 (昭16.12日本通運へ事業譲渡)</p> <p>1. — 東京横浜電鉄は民衆タクシーをさん下に収める 資本金6万円</p> <p>3. 10 玉川線玉川駅を「よみうり遊園」と改称</p> <p>4. 10 東横商業女学校開校</p> <p>4. 21 社長五島慶太は湘南電気鉄道専務に就任</p> <p>5. 16 内田自動車は東横自動車販売と商号変更</p> <p>6. 1 東京横浜電鉄との合併契約締結 " 玉川線 玉電ビル2階へ乗入れ</p> <p>6. 16 相武鶴屋自動車は中央相武自動車を合併, 東海道乗合自動車と商号変更</p>	<p>1. 5 平沼騏一郎内閣成立 鉄道大臣に前田米蔵就任</p> <p>1. 15 *東京高速鉄道 新橋～虎の門間開通により新橋～渋谷間全通 (9.16渋谷～浅草間直通運転開始)</p> <p>3. 21 阪神電気鉄道地下延長線梅田～曾根崎間開通</p> <p>3. 31 従業者雇入制限令, 賃金統制令, 工場就業時間制限令各公布</p> <p>4. 1 日本発送電設立</p> <p>4. 12 米穀配給統制法公布</p> <p>4. 28 *草津電気鉄道は草軽電気鉄道と商号変更</p> <p>5. 12 ソ満国境「ノモンハン」で満・外蒙両軍衝突</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 16 東京横浜電鉄は城南乗合自動車をさん下に収める 資本金8万円(昭17.5.1解散)</p> <p>6. 20 東横神社竣工(6.22遷座式挙行)</p> <p>6. 24 社長五島慶太は京浜電気鉄道専務に就任</p> <p>6. 26 第34回定時株主総会 東京横浜電鉄との合併契約 承認の件可決 株主配当年10%</p> <p>” 東京横浜電鉄定時株主総会 株主配当年9%</p> <p>7. 18 社長五島慶太 播丹鉄道取締役辞任</p> <p>8. 30 取締役伍堂卓雄辞任</p> <p>9. 20 玉電ビルと帝都電鉄線との連絡橋開通</p> <p>9. 24 東京横浜電鉄は神中鉄道をさん下に収める 資本金150万円</p> <p>9. 30 監査役中川正左辞任</p> <p>10. 1 東京横浜電鉄を合併 資本金7,250万円となる</p> <p>10. 15 社長五島慶太 小田原急行鉄道取締役に就任</p> <p>10. 16 臨時株主総会 東京横浜電鉄と商号変更 取締役に山本知太郎, 中川正左, 武鶴次郎, 監査役に渡辺利二郎それぞれ就任 玉川線停留場の名称を一部改称, 池尻を「玉電池尻」に, 中里を「玉電中里」に, 瀬田を「玉電瀬田」に, 西山を「西太子堂」に, 若林を「玉電若林」に, 山下を「玉電山下」に, 太子堂を「東太子堂」と改称</p> <p>10. — 等々力ゴルフコース閉鎖</p> <p>11. 4 中国に武漢交通を設立 資本金100万円</p> <p>11. 16 秦野自動車をさん下に収める 資本金10万円</p> <p>11. 21 横浜市街自動車をさん下に収める 資本金15万円</p> <p>” 社長五島慶太 神中鉄道社長に就任</p> <p>12. 8 大中農場設立 資本金30万円</p> <p>12. 11 東横線に工業都市駅新設</p> <p>12. 26 川崎ゴルフ倶楽部をさん下に収める 資本金50万円(昭19.9解散)</p> <p>” 第35回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>12. — 社長五島慶太 富士山麓電気鉄道取締役に就任</p>	<p>7. 8 国民徴用令公布(7.15施行)</p> <p>8. 30 阿部信行内閣成立 鉄道大臣に永井柳太郎就任</p> <p>” *上田温泉電軌は上田電鉄と商号変更</p> <p>9. 1 名古屋鉄道は瀬戸電気鉄道を合併</p> <p>” 第2次世界大戦争勃発(独, ポーランド進撃開始)</p> <p>10. 18 価格等統制令, 地代家賃統制令, 賃金臨時措置令 会社職員給与臨時措置令各公布</p> <p>” 電力調整令公布(10.20施行)</p> <p>11. 29 鉄道大臣に永田秀次郎就任</p> <p>11. — 大阪市は大阪乗合自動車を合併</p> <p>11. — *京浜タクシー設立</p> <p>12. 1 九州鉄道(現西日本鉄道)福岡〜大牟田間全通</p> <p>12. — 百貨店 年末贈答品の大量出しおよび配達を廃止 門松全廃</p>
<p>昭和15年</p> <p>2. 1 中仙道乗合自動車は池袋乗合自動車を合併</p> <p>2. 28 日本興業は目蒲興業を合併 資本金42万円となる</p> <p>3. 1 新田変電所使用開始</p> <p>3. 14 ジャパンモーターをさん下に収める 資本金40万円</p> <p>3. 20 東横車輛工事を設立 資本金18万円</p> <p>3. 30 財団法人東横学園設立に伴い, 東横商業女学校を 「東横女子商業学校」と改称</p> <p>3. — 東横興業 熱海店開店</p> <p>3. — 社長五島慶太 東横学園理事長に就任</p>	<p>1. 1 参宮急行電鉄は関西急行電鉄を合併</p> <p>1. 16 米内光政内閣成立 鉄道大臣に松野鶴平就任</p> <p>2. 1 陸運統制令, 海運統制令各公布</p> <p>3. 12 武蔵野鉄道は多摩湖鉄道を合併</p> <p>4. 24 米, みそ, 醤油, 塩, マッチ, 木炭, 砂糖など10 品目に切符制採用</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 10 台湾に東横産業を設立 資本金19万円</p> <p>6. 23 玉電ビルと省渋谷駅ホームとの連絡口完成</p> <p>6. 26 第36回定時株主総会 取締役任に伍堂卓雄就任 株主配当年10%</p> <p>7. 5 溝ノ口駅に大井町線所属車両乗入れ運転認可申請</p> <p>8. 一 社長五島慶太 鉄道軌道連合会会長に就任</p> <p>10. 1 神中運送設立 資本金10万円</p> <p>10. 5 新宿興業をさん下に収める 資本金12万5,000円</p> <p>10. 10 東横教習所開設</p> <p>10. 15 池上町～荏原町間起業廃止許可申請（旧池上電気 鉄道、昭16.4.30許可）</p> <p>11. 一 東横線綱島温泉～大倉山間線路変更工事着手</p> <p>12. 1 大井町線二子玉川駅、玉川線よみうり遊園駅を統 合し「二子読売園」と改称</p> <p>12. 11 東横砂利運送設立 資本金10万円</p> <p>12. 23 横浜市街自動車は東横タクシーと商号変更</p> <p>12. 26 第37回定時株主総会 株主配当年9%</p> <p>12. 28 昭和興業をさん下に収める 資本金10万円</p>	<p>5. 1 *小田原急行鉄道は帝都電鉄を合併</p> <p>7. 一 省渋谷駅島式ホームを改造 相対式となる</p> <p>7. 22 第2次近衛文磨内閣成立 鉄道大臣に村田省蔵就 任</p> <p>7. 27 大本営 政府連絡会議（武力行使を含む南進政策 決定）</p> <p>8. 1 参宮急行電鉄は養老電鉄を合併</p> <p>9. 1 名古屋鉄道は渥美電鉄、豊橋自動車を合併</p> <p>9. 23 日本軍 北部仏印進駐</p> <p>9. 27 日、独、伊、三国同盟締結</p> <p>9. 28 鉄道大臣に小川郷太郎就任</p> <p>10. 一 和歌山電気軌道設立</p> <p>10. 12 大政翼賛会発会式</p> <p>10. 19 会社経理統制令、銀行等資金運用令、賃金統制令 改正 地代家賃統制令各公布</p> <p>10. 31 たばこバットを「金鶏」に、チェリーを「桜」に 改名</p> <p>11. 21 宅地建物等価格統制令公布</p> <p>11. 23 大日本産業報国会創立</p> <p>12. 1 南海鉄道は阪和電気鉄道を合併</p>
<p>昭和16年</p> <p>1. 21 東横興業 東横食品店開業（玉電ビル1階および 地階）</p> <p>2. 一 社長五島慶太 鬼怒川興業社長に就任</p> <p>3. 2 社長五島慶太 東京商工会議所副会頭に就任</p> <p>3. 10 静岡電気鉄道をさん下に収める 資本金267万円</p> <p>4. 一 奨学金制度設定</p> <p>5. 14 元住吉変電所使用開始</p> <p>6. 10 神中運送は伊勢原トラックを合併</p> <p>6. 26 第38回定時株主総会 株主配当年9%</p> <p>6. 30 相模鉄道をさん下に収める 資本金500万円 " 社長五島慶太 相模鉄道社長に就任</p>	<p>1. 1 全国の映画館でニュース映画の強制上映実施</p> <p>2. 28 南武鉄道は五日市鉄道を合併</p> <p>3. 1 *鬼怒川水力電気は小田原急行鉄道を合併し小田 急電鉄と商号変更</p> <p>3. 6 帝都高速度交通営団法公布（5.1施行）</p> <p>3. 15 大阪電気軌道は参宮急行電鉄を合併し関西急行鉄 道と商号変更</p> <p>4. 1 小学校を国民学校と改称 " 6大都市に米穀配給通帳制実施（主食基準配給量 2合3勺）</p> <p>4. 5 横浜線電化完成 桜木町～八王子間直通電車運転 開始</p> <p>4. 13 日ソ中立条約調印</p> <p>5. 1 富士身延鉄道国有化</p> <p>6. 1 東武鉄道小泉線小泉～太田間開通により館林～太 田間全通 " 名古屋鉄道は三河鉄道を合併</p> <p>6. 15 瓦斯用木炭統制規則公布</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>7. 3 社長五島慶太 帝都高速度交通営団理事に就任</p> <p>8. 1 厚木共進運送自動車をさん下に収める 資本金90万円</p> <p>8. 8 相鉄運輸をさん下に収める 資本金90万円 ” 相武土地建物をさん下に収める 資本金50万円</p> <p>9. 4 桜木町～京浜電気鉄道日ノ出町駅間連絡線敷設認可申請</p> <p>9. 5 藤沢運輸をさん下に収める 資本金16万9,400円</p> <p>9. 20 社長五島慶太 小田急電鉄社長に就任</p> <p>11. 25 社長五島慶太 京浜電気鉄道社長に就任</p> <p>11. 25 神中鉄道は小田急電鉄相模厚木駅乗入れ運転開始</p> <p>12. 1 多摩川園劇場開場 (旧ことり座改装)</p> <p>12. 20 玉川線臨時上通り停留場設置, 道玄坂上, 大坂上玉電池尻, 東太子堂, 真中, 身延山別院前の各停留場営業休止</p> <p>12. 26 第39回定時株主総会 陸上交通事業調整法に基づく譲渡命令により, 当社乗合自動車業の一部を東京市に譲渡の件可決 城南乗合自動車旅客自動車運輸事業の営業権ならびに設備一切譲り受けの件可決 取締役5人増員の件可決 取締役小林清雄, 立花栄吉, 鈴木幸七, 三宮四郎, 尾川武夫就任 株主配当年9%</p>	<p>6. 22 独, 伊はソ連に宣戦布告</p> <p>7. 4 帝都高速度交通営団設立 資本金6,000万円</p> <p>7. 10 山陽本線関門トンネル下り線貫通</p> <p>7. 15 三井不動産設立</p> <p>7. 18 第3次近衛文磨内閣成立 鉄道大臣に村田省蔵就任</p> <p>7. 28 日本軍 南部仏印に進駐</p> <p>8. 12 名古屋鉄道新名古屋～枇杷島橋間開通</p> <p>8. 30 配電統制令, 重要産業団体令, 金属類回収令, 株式価格統制令各公布</p> <p>9. 1 東京高速鉄道, 東京地下鉄道, 京浜地下鉄道は帝都高速度交通営団に統合</p> <p>9. 6 電力国家管理 (9配電統制会社設立命令)</p> <p>10. 1 乗用車のガソリン使用禁止</p> <p>10. 18 東条英機内閣成立 鉄道大臣に寺島健就任</p> <p>11. 1 *京浜電気鉄道は湘南電気鉄道を合併</p> <p>11. 24 *神中鉄道相模国分～海老名間開通</p> <p>12. 2 鉄道大臣に八田嘉明就任</p> <p>12. 8 日本 米英両国に宣戦布告 ” 労務調整令公布</p> <p>12. 25 日本軍 香港を占領</p>
<p>昭和17年</p> <p>1. 13 臨時株主総会 配電統制令に基づき関東配電に当社電気供給事業設備出資の件可決</p> <p>2. 1 陸上交通事業調整法に基づき東京市に山手線以東の旅客自動車運輸事業 (22.62km) を譲渡</p> <p>2. 7 臨時株主総会 京浜電気鉄道および小田急電鉄との合併契約書承認の件可決 同合併による定款の一部変更の件可決</p> <p>2. 16 取締役小林清雄死去</p> <p>3. 一 東海道乗合自動車は秦野自動車を合併</p> <p>3. 15 社長五島慶太 関西急行鉄道監査役に就任</p> <p>4. 1 関東配電に電燈電力供給設備を現物出資, 貯蔵品従業員引渡す 社長五島慶太, 理事に就任</p> <p>4. 1 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり2銭 軌道1区5銭, 全線6区, 最高30銭を5区分に特定</p> <p>5. 1 京浜電気鉄道, 小田急電鉄を合併 資本金2億480万円となる 職制改正 局制をしき渋谷・品川・新宿・3営業局設置</p>	<p>1. 2 日本軍 マニラを占領</p> <p>1. 19 *郷誠之助死去</p> <p>2. 1 衣料に点数切符制実施 ” 南海鉄道は加太電気鉄道を合併</p> <p>2. 15 日本軍 シンガポールを占領</p> <p>2. 21 食糧管理法公布</p> <p>3. 2 京福電気鉄道設立 ” 九州電気軌道は小倉電気軌道を合併</p> <p>3. 30 関東配電設立</p> <p>4. 1 配電統制令に基づく9配電会社発足</p> <p>4. 18 米国空母より日本本土初空襲</p> <p>5. 7 日本軍 マニラ湾コレヒドール島占領</p> <p>5. 30 鉄道軌道統制会設立 (鉄道同志会は解散)</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>両社の子会社 京浜タクシー、日本自動車工業、京浜興業、京浜百貨店、京浜運輸、花月園、京浜湘南証券、梅森蒲田自動車、箱根観光、東急興業（旧鬼怒川興業）井之頭遊園の各社を継承</p> <p>5. 1 小田原線小田急本社前駅を「南新宿」と改称 ” 久里浜線臨時建設部設置</p> <p>5. 5 取締役山本知太郎、中川正左、緒明太郎、武鶴次郎、監査役石川善太郎、渡辺利二郎それぞれ辞任</p> <p>5. 8 3社合併記念式典を東横映画劇場で挙行</p> <p>5. 23 臨時株主総会 取締役に池辺稲生、三浦貢、川又貞次郎、田中百畝、大坪弘、藤本哲、井田正一、松尾光、牧野錠次郎、溝口直亮、有吉忠一、新井章治、小林中、監査役に中岡義隆、松本丞治、緒明太郎それぞれ就任</p> <p>5. 30 社長五島慶太 箱根登山鉄道、富士箱根自動車の社長に就任</p> <p>5. — 箱根登山鉄道をさん下に収める 資本金500万円</p> <p>5. — 横浜自動車、富士箱根自動車、足柄自動車をさん下に収める</p> <p>6. 27 第40回定時株主総会 株主配当年9%</p> <p>7. 4 取締役大坪弘死去</p> <p>7. 13 シンガポールに当社直轄のマライ運輸部設置</p> <p>8. 26 蒲田～京浜蒲田間地方鉄道敷設免許申請</p> <p>8. — 中国に上海乳業設立 資本金200万円</p> <p>9. 3 神中自動車工業をさん下に収める 資本金100万円</p> <p>9. 5 東京急行電鉄産業報国会結成</p> <p>9. — 社長五島慶太 東京宝塚劇場取締役就任</p> <p>9. — 社長五島慶太 日本自動車工業社長に就任</p> <p>10. 1 相模野臨時建設部設置</p> <p>11. — 東横タクシーは京浜タクシー、横浜自動車を合併</p> <p>12. 1 湘南線横須賀堀ノ内～久里浜仮駅間(4.5km) 開通</p> <p>12. 5 神中運送は藤沢運輸ほか3社を合併 資本金520万8,000円となる</p> <p>12. 17 横須賀駅～堀ノ内間(4.4km) 横須賀駅～小田湾間(9.7km) 無軌条電車工事許可申請</p> <p>12. 21 東横運送は京浜運輸を合併 資本金118万円となる</p> <p>12. 26 第41回定時株主総会 株主配当年9%</p>	<p>6. 5 ミッドウエー海戦</p> <p>9. 19 九州電気軌道は九州鉄道、博多湾鉄道汽船、福博電車、筑前参宮鉄道を合併</p> <p>9. 22 九州電気軌道は西日本鉄道と商号変更</p> <p>11. 1 大東亜省設置</p> <p>11. 7 鉄道省は乗車券発売を制限 行楽、買出し、乗越しを禁止</p> <p>11. 15 関門トンネル開通</p> <p>11. — 百貨店の売場縮小 統制会社などの事務所に提供</p>
<p>昭和18年</p> <p>1. 31 小田原運送設立 資本金95万円</p>	<p>1. 20 閣議 木造船建造緊急方策要綱を決定</p> <p>1. 21 中学校の修業年限を1年短縮し4年制に、大学予科、高等学校高等科も修業年限を短縮、2年とする</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
2. 15 湘南線六浦荘仮駅を開設	2. 1 名古屋鉄道は知多鉄道を合併
	" 日本軍 ガダルカナル島から撤退
	" 関西急行鉄道は大阪鉄道を合併
3. 20 バリ島デンパッサルにバリ島事業本部（ホテル、	3. 1 名古屋鉄道は東美鉄道および竹鼻鉄道を合併
陸上交通事業）を設置	
3. 26 柿生変電所使用開始	
3. 31 小田原線海老名国分駅廃止	
4. 1 乗合自動車横浜営業所は杉田営業所と改称 乗合	4. 26 宇部鉄道, 小倉鉄道国有化
自動車路線15系統（50km）休廃止	
4. 5 二子読売園～溝ノ口間工事方法変更ならびに大井	
町線列車乗入運転実施許可	
4. 8 藤沢自動車をさん下に収める 資本金24万1,000円	
4. 9 大山鋼索鉄道をさん下に収める 資本金50万円	
(昭19.2解散)	
4. 28 伊勢原自動車をさん下に収める 資本金22万5,000	
円	
4. 17 相模鉄道は神中鉄道を合併	5. 1 東武鉄道は下野電気鉄道を合併
5. 10 多摩川園鉄の塔, 虹の橋を解体	5. 16 東武鉄道小泉線太田～小泉町間電化
5. 15 静岡電気鉄道, 藤相鉄道, 中遠鉄道, 静岡乗合自	5. 25 播丹鉄道, 富山地方鉄道国有化
動車, 静岡交通自動車の5社合併し静岡鉄道と商	
号変更 五島慶太, 会長に就任 (6.18)	
5. 一 東横映画は新宿興業を合併	6. 一 東京昭和通りの植樹地帯は畑になる 神奈川の各
6. 1 自動車部世田谷・恵比寿両営業所廃止	ゴルフ場も農園化
" 品川線軌道を地方鉄道に変更	6. 28 鶴見臨港鉄道国有化
6. 26 第42回定時株主総会 取締役丹羽武朝 川又貞次	
郎, 松尾光辞任, 取締役に織田信恒就任 株主配	
当年9%	
7. 1 大井町線列車溝ノ口駅まで乗入れ開始	7. 1 東武鉄道は越生鉄道を合併
	" 東京都制実施
	7. 26 豊川鉄道, 鳳来寺鉄道, 三信鉄道, 伊那電気鉄道
	北海道鉄道国有化
	7. 31 西日本鉄道は九州自動車, 東福岡交通, 筑豊自動
	車運輸の3社を合併
	8. 1 ビルマ独立宣言, 米英に宣戦布告 日本, ビルマ
8. 2 渋谷診療所開設	同盟条約調印
8. 20 取締役新井章治辞任	9. 8 伊 無条件降伏
8. 31 東横実業設立 資本金15万円	9. 23 閣議で販売店員, 出改札係, 車掌, 理髪師など17
8. 一 神中線複線化工事に着手	職種の男子就業禁止 25歳未満の女子を勤労挺身
8. 一 東横被服修理設立	隊として動員
9. 21 久里浜線久里浜仮駅～久里浜駅間(0.5km) 開通に	10. 1 阪神急行電鉄は京阪電気鉄道を合併して, 京阪神
より仮駅廃止	急行電鉄と商号変更
10. 1 旭造船設立 資本金300万円	10. 14 フィリピン共和国独立宣言 日本, フィリピン同
10. 23 相模通運は神中運送を合併	盟条約調印
10. 一 健民修練所開設	10. 19 東武鉄道小泉線館林～小泉町間電化
	10. 21 学生の徴兵延期停止
	" *上田電鉄は丸子鉄道と合併し, 上田丸子電鉄と
	商号変更

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>11. 1 京浜線子安駅を「京浜新子安」と改称</p> <p>11. 17 社長五島慶太 内閣顧問に就任</p> <p>11. 20 臨時菫麻栽培部は戦時殖産部と改称</p> <p>12. 1 乗合自動車営業所を統合（城南は神明に、小杉・神奈川は川崎に、大船は鎌倉に）</p> <p>” 雑色営業所を「大鳥居営業所」と改称</p> <p>” 東横線青山師範駅を「第一師範」に、府立高等駅を「都立高等」と改称</p> <p>12. 27 相模運送設立 資本金155万円</p> <p>” 平塚運送設立 資本金120万円</p> <p>” 第43回定時株主総会 定款中一部改正、「副社長制」を可決</p> <p>副社長に篠原三千郎 専務に小宮次郎、田中百畝 立花栄吉、藤本哲、三浦貢、取締役は桐村四郎それぞれ就任 株主配当年9%</p> <p>12. 30 横浜東部運送設立 資本金500万円</p>	<p>10. 31 軍需会社法公布（12月17日施行）</p> <p>11. 1 運輸通信省・軍需省・農商務省発足</p> <p>” 運輸通信大臣に八田嘉明就任（鉄道省廃止）</p> <p>11. 1 高松琴平電気鉄道設立（琴平・高松・讃岐3社合併）</p> <p>11. 21 阪神電気鉄道武庫川線武庫川～洲先間開通</p> <p>12. 1 横浜市に南区新設</p> <p>12. 5 東武鉄道熊谷線妻沼～熊谷間開通</p> <p>12. 10 文部省 学童の縁故疎開促進を発表</p> <p>12. 24 徴兵年齢20歳を19歳に引下げ</p>
<p>昭和19年</p> <p>1. 15 乗合自動車高輪・大正両営業所を廃止し、大鳥居・中野各営業所に統合</p> <p>1. 25 大師線コロンビア前駅を「港町」と改称</p> <p>1. — 喜多見診療所開設</p> <p>2. 1 品川運送設立 資本金110万円</p> <p>2. 12 横浜市内の運送会社14社を統合して横浜西部運送設立 資本金280万円</p> <p>2. 19 五島慶太は運輸通信大臣に就任 当社社長を辞任</p> <p>2. 24 社長に篠原三千郎 副社長に池辺稻生就任</p> <p>2. — 疎開命令により本社建物をとりこわす</p> <p>3. 6 勤務時間1時間延長、土曜半休廃止</p> <p>3. 15 日曜休日制廃止 ただし2週に1回休日（昭20. 8. 28廃止）</p> <p>3. 28 城南運送設立 資本金330万円</p> <p>3. 31 川崎大師～桜木間工事施行認可申請（5. 29認可）</p> <p>4. 1 鉄道運賃改訂 最低運賃大人10銭、小児5銭</p> <p>” 久里浜線久里浜駅を「湘南久里浜」と改称</p> <p>4. 20 元住吉ほか6車両工場が国家管理となる</p> <p>4. — 横浜診療所開設</p> <p>5. 1 品川線鮫洲駅を164m浜川崎寄りに移転</p> <p>5. 9 湘南線谷津坂駅開設</p> <p>5. 12 林～衣笠間地方鉄道敷設免許申請</p> <p>5. 18 関東特殊繊維設立 資本金15万円</p> <p>5. 27 東海道乗合自動車は藤沢自動車、伊勢原自動車を合併して神奈川中央乗合と商号変更</p>	<p>1. — 防空法による疎開命令発令</p> <p>3. 1 名古屋鉄道は碧南電気鉄道、谷汲鉄道を合併</p> <p>” 東武鉄道は総武鉄道を合併</p> <p>3. — 地方自治体による私鉄車両工場の国家管理実施</p> <p>3. — 大阪市は阪堺電鉄を買収</p> <p>4. 1 横浜市に西区新設</p> <p>” 関西急行鉄道は信貴山急行電鉄、南和電鉄、大鉄百貨店を合併</p> <p>” 横須賀線横須賀～久里浜間開通</p> <p>” 南武鉄道国有化（浜川崎～武蔵岩井間ほか計61. 6km）</p> <p>” 青梅電気鉄道国有化（立川～御岳間29. 0km）</p> <p>5. 1 西日本鉄道西戸崎～筑前勝田間ほか計42. 3km国有化</p> <p>” 宮城電気鉄道国有化</p> <p>” 南海鉄道天王寺～東和歌山間63. 5km国有化</p> <p>5. 10 名古屋鉄道局に初の女子車掌登場</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>5. 31 京王電気軌道を合併 資本金2億2,415万円となる " 京王営業局を新設 " 京王電気軌道合併により東都乗合自動車を継承 " 鳩ヶ谷自動車をさん下に収める</p> <p>5. 一 厚木通運をさん下に収める。資本金19万5,000円</p> <p>6. 1 横須賀運送設立 資本金200万円 " 大師線延長線川崎大師～産業道路間(1.3km) 開通 " 小田原線河原口駅を「厚木」に、相模厚木駅を「本厚木」に、西大和駅を「大和」に、京王線日大前駅を「下高井戸」と改称 " 相模鉄道相模線国有化</p> <p>6. 28 第44回定時株主総会 副社長に平山孝、取締役の後藤正策、穴水清彦就任、株主配当年9%</p> <p>7. 18 五島慶太 運輸通信大臣を辞任</p> <p>7. 20 重役室総務局の一部および防衛事務局は、新宿営業局内に移転</p> <p>7. 31 箱根登山鉄道は富士箱根自動車、足柄自動車を合併 資本金625万1,200円となる</p> <p>8. 1 府中乗合自動車商會をさん下に収める</p> <p>8. 7 砧線・大井町線の一部(二子読売園～溝ノ口間)および京王線の地方鉄道への変更申請</p> <p>8. 25 乗合自動車浦賀営業所は久里浜営業所と改称</p> <p>9. 16 東横自動車販売は目黒ボデー製作所を併し東横自動車工業と商号変更</p> <p>9. 29 京浜線品川～北品川間の専用軌道・地方鉄道への変更申請</p> <p>10. 1 大師線延長線産業道路～入江崎間(3.0km) 開通</p> <p>10. 10 小田原線螢田仮駅開設</p> <p>10. 20 東横線綱島温泉駅を「綱島」に、大井町線二子読売園駅を「二子玉川」に、小田原線鶴巻温泉駅を「鶴巻」に、京浜線キリンビール前駅を「キリン」に、大師線味ノ素前駅を「鈴木町」にそれぞれ改称</p> <p>10. 21 相鉄運輸は四谷、小石川、牛込各区の貨物自動車運送事業13社を統合、資本金245万円となる</p> <p>10. 一 横須賀自動車工業をさん下に収める 資本金39万8,000円(昭22.6.30持株を同社役員に譲渡)</p> <p>11. 10 玉川線宮ノ坂、砧線中耕地、大蔵の各停留場を廃止 京浜線北馬場、鈴ヶ森、大森八幡、総持寺の各駅を廃止</p> <p>11. 29 川崎変電所使用開始</p> <p>11. 一 桜上水診療所を開設</p> <p>12. 1 日本タイヤ再生工業をさん下に収める 資本金10万円</p> <p>12. 22 林～衣笠間地方鉄道敷設免許</p> <p>12. 26 東横運送は渋谷貨物自動車運輸ほか8社を合併 " 京浜線鶴見駅構内で衝突事故(死者52人、重軽傷46人)</p> <p>12. 28 東横砂利運送は東京砂利運送と商号変更</p> <p>12. 一 東都乗合自動車は中仙道乗合自動車・鳩ヶ谷自動車を合併</p>	<p>6. 1 関西急行鉄道と南海鉄道が合併 近畿日本鉄道新設 " 中国鉄道、飯山鉄道国有化</p> <p>6. 15 米軍サイパン島に上陸 7.7 守備隊全滅し、戦局ますます不利となる</p> <p>7. 1 青梅線御岳～氷川間開通</p> <p>7. 18 東条英機内閣総辞職</p> <p>7. 22 小磯国昭内閣成立 運輸通信大臣に前田米藏就任</p> <p>7. 31 常北鉄道は日立電鉄と商号変更</p> <p>8. 1 空襲被害により中央・横浜・南武各線不通(7日後復旧)</p> <p>8. 10 " 東北・山手各線不通</p> <p>8. 13 " 京浜・南武各線不通</p> <p>8. 23 女子挺身勤労令公布</p> <p>10. 13 川崎市電川崎駅前～日本鋼管前間開通</p> <p>10. 18 徴兵年齢19歳を17歳に引下げる</p> <p>10. 24 レイテ沖海戦 日本連合艦隊主力を失う</p> <p>11. 1 たばこ、隣組配給となる(男子1日6本)</p> <p>11. 13 日本野球報国会、プロ野球休止声明</p> <p>11. 24 米機B29約70機、東京を大空襲</p> <p>12. 一 名古屋鉄道新名古屋～神宮前間連絡線開通</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
12. 28 第45回定時株主総会 定款中一部改正「会長制」を可決 会長に五島慶太就任 株主配当年9% 12. 29 王子運送設立 資本金180万円(昭22.5持株を同社役員へ譲渡)	
昭和20年 1. 7 大師線延長線入江崎～桜本間(11.2km)開通 1. 21 京王線北野～多摩御陵前間(6.4km)営業休止 1. 一 関東乗合自動車は中野乗合自動車・進運乗合自動車、昭和自動車商會を合併 2. 1 足立、葛飾地区の運送業者を統合して城北運送を設立 資本金270万円(昭22.10持株を同社役員へ譲渡) 2. 4 東京砂利運送は玉川運送ほか5社を合併 2. 24 京浜線品川～北品川間の専用軌道・地方鉄道変更認可 3. 12 社長篠原三千郎、副社長池辺稻生辞任 社長に平山孝就任 3. 14 営業局を廃止して管理部制実施 3. 15 軍需充足会社に指定される 4. 1 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり3銭、軌道1区10銭 全線3区 " 草軽電気鉄道をさん下に収める 資本金200万円 4. 一 秦野診療所開設 5. 1 軌道運賃改訂 全線20銭均一 5. 24～5. 25 空襲により本社事務所および東横百貨店、清和会館建物焼失、各線被害甚大、電車51両、乗合自動車45両焼失 5. 28 篠原三千郎 相模鉄道社長に就任 6. 1 京浜内燃機をさん下に収める 資本金25万円 同社は東急自動車整備と商号変更 " 相模鉄道の運輸営業管理を受託、相模管理部を新設 " 事業部を新設 " 東横線並木橋、新太田町、目蒲線道塚の各駅営業休止 6. 4 本社事務所を渋谷区上通り2-55 東横百貨店内に置く 6. 6 東横百貨店は地下売場において営業開始(戦災復旧) 6. 16 東横線武蔵小杉駅営業開始 6. 28 第46回定時株主総会 株主配当年8% 7. 9 専務藤本哲死去	1. 1 川崎市電桜本～池上新田間開通 1. 2 長野原線渋川～長野原間開通 1. 27 軍需充足会社令公布 2. 9 米軍B29約100機、都内大空襲 3. 6 国民勤労動員令公布(国民徴用令・国民勤労協力令・女子挺身勤労令・労務調整令・学校卒業者使用制限令)廃止 3. 9 米軍B29 250機、東京を大空襲 江東地区全滅 続いて4月13日(160機)、15日(200機)と大空襲があり、5月24日の大空襲で宮城全焼のほか東京都内の大半焼失 3. 17 硫黄島守備隊全滅 3. 一 日光登山鉄道ケーブル線休止 4. 4 川崎空襲 4. 7 鈴木貫太郎内閣成立 運輸通信大臣に豊田貞次郎就任(軍需大臣兼任) 4. 11 運輸通信大臣に小日山直登就任 4. 12 川崎市電日本鋼管前～浜町3丁目間開通 4. 一 大分交通設立 5. 1 京阪神急行電鉄は交野電気鉄道の事業を譲受ける 5. 7 ドイツ、連合国軍に無条件降伏 5. 18 運輸通信省廃止、運輸省新設 5. 29 横浜大空襲 6. 一 東京都の人口、前年の国勢調査時の約30%(220万人)に激減 6. 23 沖繩守備隊全滅 6. 25 京成電気軌道は京成電鉄と商号変更

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>7. 15 玉川線豪徳寺前停留場を移設し「宮ノ坂」と改称 7. 20 福相工業は東急燃料生産と商号変更(昭25.3解散) 7. 24 京王線新宿駅を省新宿駅青梅口に移転開設 7. 25 池上線桐ヶ谷駅営業休止 8. 9 林～衣笠間建設工事施行認可 8. 14 目蒲線蒲田駅電車発着場を池上線発着場に移転 8. 15 砧線、大井町線の一部(二子玉川～溝ノ口間)、京王線は地方鉄道として認可される 〃 軍需充足会社の指定解除 8. 20 社長平山孝辞任、社長に小宮次郎就任 8. 25 自動車部浦賀営業所移転、久里浜営業所と改称 9. 1 臨時戦後復興委員会設置(昭21.8.1廃止) 9. 8 英文社名および略称決定 9. 10 臨時株主総会 取締役役に河合好人就任 9. 26 東横タクシーは横浜タクシーほかタクシー会社19社を統合して神奈川都市交通と商号変更 10. 1 社員勤務時間を改訂 自5月10日至9月30日 8時～16時 自10月1日至4月30日 9時～16時 10. 1 京王線 砧線各全線、大井町線二子玉川～溝ノ口間を地方鉄道に変更 10. 8 監査役松本丞治辞任 10. 10 乗合自動車大鳥居営業所は雑色営業所と改称 10. 22 小田原線で進駐車専用車運転開始 厚木線、湘南線でも運転 10. 29 穴守線稲荷橋～穴守間運輸営業休止 11. 16 東急教習所設置 11. 20 城南運送をさん下に収める 資本金 330 万円 12. 1 健民修練所廃止 12. 5 取締役役伍堂卓雄辞任 12. 6 大師線と川崎市営電車は桜本で接続、川崎大師～桜本～川崎間直通 12. 7 副社長に三浦貢、立花栄吉就任 12. 10 東京急行従業員組合結成 12. 18 東京タクシーは日東自動車ほか11社1個人を統合して日本自動車交通を設立 資本金1,000万円 12. 20 職制一部改正 勤労部新設 12. 27 第47回定時株主総会 専務に向笠金吾、取締役に梶浦浩二郎就任 株主配当年8% 12. 29 日本自動車交通は日本交通と商号変更 12. 一 箱根観光(強羅ホテル経営)を国際興業へ譲渡</p>	<p>8. 6 米機B29広島に原子爆弾投下(8.9長崎に投下) 〃 ソ連、対日宣戦布告 8. 14 ポツダム宣言受諾、日本無条件降伏 8. 15 天皇、無条件降伏をラジオ放送 8. 17 東久邇稔彦内閣成立 9. 1 東亜交通公社は日本交通公社と商号変更 9. 2 米ミズリー号艦上において降伏文書調印 9. 22 武蔵野鉄道は西武鉄道を合併し西武農業鉄道と商号変更 10. 9 幣原喜重郎内閣成立 運輸大臣に田中武雄就任 10. 15 治安維持法廃止の件公布 10. 23 運輸省 制服着用を進駐軍軍人の無料輸送を通達 〃 陸運統制令廃止 10. 一 警視庁 10月の闇値発表 米1升70円(基準価格53銭)、砂糖1貫目1,000円(3円75銭)、その他食油、酒など 11. 1 全国人口調査実施 総人口7,199万8,104人 12. 1 川崎市電浜町3丁目～桜本間開通 12. 17 婦人参政権を含む改正選挙法公布 12. 20 鉄道軌道統制会解散 12. 22 労働組合法公布(21.3.1施行)</p>
<p>昭和21年 1. 8 定年制を実施(満55歳) 1. 16 京王管理部桜上水車庫で出火により車両5両焼失</p>	<p>1. 4 GHQ、軍国主義者の公職追放および超国家主義団体の解散を指令 1. 13 たばこ、ピース(7円)発売 2.24コロナ(10円)発売(日曜・祭日のみ) 〃 運輸大臣に三土忠造就任(内務大臣兼任) 1. 22 東京近郊電鉄連合会結成 1. 26 運輸大臣に村上義一就任 1. 27 関東地方労働組合協議会結成</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>2. 10 バス運賃改訂 1区50銭, 2区80銭, 3区1円, 4区1円20銭 (従来は1区20銭1区増すごとに10銭加算)</p> <p>” 労働組合は, 東京急行労働組合と東京急行従業員組合の2組合に分裂</p> <p>2. 20 横浜製作所創立準備委員会設置</p> <p>2. 23 厚木線柏ヶ谷駅開設 (4.1大塚本町と改称)</p>	<p>2. 17 預金封鎖, 新円切替2.26 新円交換開始 1人500円まで 旧円3.3日以降流通禁止</p> <p>2. 23 中学校を5年制, 高等学校・大学予科を3年制にそれぞれ復活</p>
<p>3. 1 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり7銭5厘, 最低運賃大人20銭, 小児10銭, 軌道均一乗切制40銭</p> <p>” 社長小宮次郎, 副社長三浦貢, 取締役立花栄吉辞任 社長に小林中, 副社長に尾川武夫, 取締役に井田正一就任</p> <p>3. 11 東横百貨店本館2階売場開設</p> <p>3. 12 東京建設工業設立 資本金200万円</p> <p>3. 14 神奈川支部および東京支部 (同年5.1) が設けられ, 各バス営業所を統轄</p> <p>3. 15 井ノ頭線神泉駅休止</p> <p>3. 29 専務に鈴木幸七, 三宮四郎就任</p> <p>3. — 東横映画は多摩川園を合併</p> <p>4. 8 会長五島慶太は日本興業社長に就任</p> <p>4. 23 労働組合は合同, 東急労働組合となる</p> <p>5. 4 労働組合は会長五島慶太以下全役員の退任を要求</p> <p>5. 15 東横興業は東横縫製を合併</p> <p>5. 27 国鉄長野原線の払下申請 (昭23. 6. 15取下げ) 長野原~新鹿沼間地方鉄道敷設免許申請 (23. 6却下)</p> <p>5. 31 東横線並木橋, 新太田町, 目蒲線道塚, 小田原線山谷の各駅廃止</p> <p>6. 10 砧線中耕地停留場開設</p> <p>6. 18 横浜製作所の経営を東急興業に委託</p> <p>6. 27 第48回定時株主総会 定款の一部改正, 「目的事項に農林業を追加」, 「副社長制の廃止」の件可決 会長五島慶太, 副社長尾川武夫, 井田正一, 専務田中百畝, 河合好人, 向笠金吾, 鈴木幸七, 三宮四郎, 取締役篠原三千郎, 後藤正策, 溝口直亮, 有吉忠一, 梶浦浩二郎, 牧野錠次郎, 桐村四郎, 織田信恒, 穴水清彦, 監査役中岡義隆, 渋沢秀雄, 緒明太郎辞任 取締役に一色定雪, 上田甲午郎, 矢板豊一, 西本定喜, 大川博, 安藤樞六, 高橋禎二郎, 黒川涉三, 木下久雄, 沢勝蔵, 田中勇, 監査役に石坂泰三, 内田信也それぞれ就任 株主配当 無配</p> <p>7. 22 専務に安藤樞六, 黒川涉三就任</p> <p>7. 25 東横線神奈川駅休止</p> <p>8. 1 管理部制を廃止して支社制実施 京王・新宿・渋谷・目黒・品川・横浜・相模各支社を設置</p> <p>8. 8 小田原線世田谷中原駅を「世田谷代田」と改称</p> <p>8. 11 会社経理応急措置法により特別経理会社に指定される</p>	<p>4. 10 衆議院議員選挙で婦人立候補者89人中39人当選</p> <p>4. 26 人口調査の結果 失業者数600万人</p> <p>5. 1 11年ぶり第17回メーデー復活 宮城前に50万人集まる</p> <p>5. 3 極東国際軍事裁判 東条英機ほか27人のA級戦犯容疑者の起訴状発表</p> <p>5. 22 第1次吉田茂内閣成立 運輸大臣に平塚常次郎就任</p> <p>7. 6 政府 「日本国」と国名を改称</p> <p>7. 24 運輸省 7万5,000人解雇を組合に申入れ</p> <p>8. 1 日本労働組合総同盟結成</p> <p>” 全国一斉闇市取締り実施</p> <p>8. 16 経済団体連合会創立</p> <p>8. 19 全日本産業別労働組合同議結成</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>8. 15 相模スレート設立 資本金19万5,000円</p> <p>8. 24 旭海運設立 資本金18万円</p> <p>9. 4 日東林業設立 資本金350万円 (昭23. 5. 17他へ譲渡)</p> <p>9. 10 経済再建委員会設置</p> <p>9. 14 東急鉄道学校開校 (旧東急青年学校)</p> <p>9. — 東横線で進駐軍専用車運転 (昭27. 3廃止, 他3線とも)</p> <p>10. 18 特別経理会社の指定解除</p> <p>11. 26 監査役内田信也辞任</p> <p>11. — 自由ヶ丘診療所開設</p> <p>11. — 東都乗合自動車を国際興業に譲渡</p> <p>12. 1 東急自動車整備は東急自動車と商号変更</p> <p>12. 18 東急ベースボール倶楽部設立 資本金10万円</p> <p>12. 26 第49回定時株主総会 監査役に福田得太郎, 霜山精一就任, 株主配当 無配</p> <p>12. 28 労働協約締結</p>	<p>9. 27 労働関係調整法公布</p> <p>10. 18 新京成電鉄設立</p> <p>10. 20 日本商工会議所設立</p> <p>10. — ハイヤー・タクシーの午後6時以後の営業全面禁止</p> <p>11. 1 第1回国民体育大会 京都・大阪中心に開催</p> <p>11. 3 日本国憲法公布</p> <p>11. 15 西武農業鉄道は西武鉄道と商号変更</p> <p>12. 14 東京商工会議所設立</p>
<p>昭和22年</p> <p>1. 20 湘南線 湘南富岡駅廃止</p> <p>2. 1 監査役石坂泰三辞任</p> <p>2. 15 バス運賃改訂 1区50銭, 1区増すごとに50銭加算</p> <p>2. 28 平塚貨物運送は日本モーターと商号変更</p> <p>3. 1 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり9銭5厘 最低運賃大人50銭, 小児30銭 軌道均一乗切制, 全線60銭均一</p> <p>3. 8 東京乗車券印刷設立 資本金10万円</p> <p>3. 25 静岡鉄道・江ノ島電気鉄道・横須賀運送・神奈川都市交通の持株を各社役員に譲渡</p> <p>4. 1 東横線東白楽, 井ノ頭線神泉両駅再開</p> <p>5. — 王子運送・厚木通運・東横実業・関東特殊繊維の持株を各社役員に譲渡</p> <p>5. — 五島慶太はヒカリ座社長に就任</p> <p>5. 7 経済再建委員会のなかに第1, 第2専門委員会設置</p> <p>5. 31 相模鉄道の運輸営業管理受託切替</p> <p>6. 25 東京都との協定により, 乗合バスの都内相互乗入れ開始</p> <p>6. 27 第50回定時株主総会 株主配当 無配</p> <p>6. 30 小田急運送・横須賀自動車工業の持株を各社役員に譲渡</p> <p>7. 7 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり35銭, 最低運賃</p>	<p>1. 10 日本私鉄労働組合総連合会結成</p> <p>1. 31 運輸大臣に増田甲子七就任</p> <p>” マッカーサー 2.1ゼネストに対し中止を指令</p> <p>2. 22 阪急百貨店は京阪神急行電鉄より分離し新発足</p> <p>3. 1 東武鉄道野田線柏～船橋間電化</p> <p>3. 15 東京都35区を22区に整理統合, 大田区発足</p> <p>高野山電気鉄道は南海電気鉄道と商号変更</p> <p>3. 31 教育基本法, 学校教育法各公布 (6. 3. 3. 4 制を規定 4. 1実施)</p> <p>4. 7 労働基準法公布 (9. 1 施行)</p> <p>4. 14 独占禁止法公布 (7. 20 施行)</p> <p>4. 17 地方自治法公布 (5. 3 施行)</p> <p>4. 20 第1回参議院議員選挙</p> <p>5. 3 日本国憲法施行</p> <p>5. 24 片山哲内閣成立, 運輸大臣に苫米地義三就任</p> <p>6. 1 東武鉄道は日光軌道を合併</p> <p>” 近畿日本鉄道は旧南海鉄道に属した事業を南海電気鉄道に譲渡</p> <p>7. 1 公正取引委員会発足</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>大人1円, 小児50銭, 軌道1区1円, 全線2区乗 切制</p> <p>7. 15 バス運賃改訂 1区1円</p> <p>7. 28 横浜製作所の経営委託を解除, 直営とする</p> <p>8. — 会長五島慶太, 公職追放の指定を受ける</p> <p>8. 4 監査役霜山精一辞任</p> <p>9. 1 週休制実施</p> <p>9. 5 東横百貨店3・4階戦災復旧</p> <p>9. 9 社長小林中辞任</p> <p>9. 13 電気自動車運行開始(約2年間)</p> <p>10. 15 太泉映画設立 資本金1,400万円</p> <p>10. 16 臨時株主総会 社長に井田正一, 監査役に三宮四 郎就任</p> <p>10. — 城北運送持株を同社役職員に譲渡</p> <p>12. 26 第51回定時株主総会 会社再編成計画に伴う事業 譲渡の件可決 株主配当年5% 専務黒川涉三辞任</p>	<p>8. 4 最高裁判所発足</p> <p>8. 9 古橋広之進 水泳400m自由形競泳で世界新記録</p> <p>10. 1 国勢調査 総人口7,810万1,473人</p> <p>10. — トヨタ自動車 乗用自動車トヨペットの生産開始</p> <p>11. 28 私鉄経営者連盟発足</p> <p>11. 30 職業安定法公布</p> <p>12. 1 失業保険法公布</p> <p>12. 4 運輸大臣に北村徳太郎就任</p> <p>12. 18 過渡経済力集中排除法公布</p> <p>12. 22 民法改正</p> <p>12. 27 新京成電鉄新津田沼～薬円台間開通</p> <p>12. 31 内務省廃止</p>
<p>昭和23年</p> <p>1. 4 臨時会社再建委員会設置</p> <p>2. 1 軌道運賃改訂 均一乗切制, 全線2円</p> <p>2. — 神中自動車工業の持株を同社役職員に譲渡</p> <p>3. 10 天現寺線・中目黒線を東京都に譲渡(渋谷～天現 寺間, 渋谷橋～中目黒間4.08km)</p> <p>3. 25 バス運賃改訂 最低区界を2～3キロの等距離に ” 東横学園高等学校新設</p> <p>3. 31 東急鉄道学校廃校</p> <p>4. 1 東海定期運送設立 資本金100万円</p> <p>5. 1 会社再編成に伴い百貨店業を東横興業に譲渡</p> <p>5. 6 財団法人東急弘潤会設立 基本財産20万円</p> <p>5. 8 会社再編成計画による地方鉄道, 軌道, 旅客自動 車運輸事業譲渡許可申請</p> <p>5. 18 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり61.25銭, 最低 運賃大人2円, 小児1円, 軌道均一乗切制3円50 銭</p> <p>5. 21 バス運賃改訂 賃率1キロ当たり1円50銭 ” 京王帝都電鉄・小田急電鉄・京浜急行電鉄創立総 会開催</p> <p>5. 29 取締役一色定雪, 上田甲午郎, 沢勝蔵, 監査役三 宮四郎, 福田得太郎それぞれ辞任</p> <p>6. 1 会社再編成に伴い京王帝都電鉄, 小田急電鉄, 京 浜急行電鉄を設立 それぞれに鉄道および軌道事 業, 自動車運輸事業, 砂利業, 田園都市業ならび にこれに付帯する設備を譲渡</p>	<p>1. 1 二重橋開放, 一般参賀許可 ” 新戸籍法施行, 道路運送法施行</p> <p>3. 10 芦田均内閣成立 運輸大臣に岡田勢一就任</p> <p>4. 1 新学制による小・中学校発足</p> <p>4. 28 夏時刻法公布(サマータイム)</p> <p>5. 15 横浜市に金沢区新設</p> <p>5. 16 名古屋鉄道豊橋～新岐阜間直通運転開始</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>箱根登山鉄道・神奈川中央乗合自動車を小田急電鉄に譲渡，京浜百貨店・ジャパンモーター・日本自動車工業を京浜急行電鉄に譲渡</p> <p>6. 1 東横興業は東横百貨店と商号変更 " 会社再編成時の乗合バス車両176，営業所7</p> <p>6. 29 第52回定時株主総会 資本金を4億円に増額の件可決 定款の一部変更 ①「百貨店事業削除」②「副社長制の設置」③「社長，副社長，専務」に会社代表権の付与 取締役高橋禎二郎辞任 副社長に安藤楯六，専務に西本定喜，大川博，取締役には神津康人，柏村毅，船石吉平，鈴木金之助，小滝顕忠，狩谷幸知，乾正直，馬淵寅雄，監査役に石坂泰三，堀木謙三，鈴木幸七それぞれ就任 株主配当年5%</p> <p>6. 30 東急興業解散</p> <p>7. 18 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり1円20銭，最低運賃大人3円，小児2円 軌道全線7円</p> <p>7. 20 バス運賃改訂 賃率1キロ当たり2円25銭 通行税収入の105分の5</p> <p>8. 1 玉川線西太子堂，宮ノ坂両停留場の駅業務を東急弘潤会に委託</p> <p>8. 11 本社事務所を東横百貨店6・7階に移転</p> <p>8. 16 桜木町～根岸間地方鉄道敷設免許申請（昭34.4.1却下）</p> <p>8. 18 技術運輸協議会設置</p> <p>8. 20 取締役矢板豊一，神津康人辞任</p> <p>8. 23 東急横浜製作所設立 資本金2,500万円</p> <p>9. 一 五島慶太 内外徳田証券取締役就任</p> <p>10. 11 資本金2億2,415万円を4億円に増額</p> <p>11. 1 乗合バス 東京駅～自由ヶ丘間に都営バスとの相互乗入路線開設</p> <p>11. 18 双栄運輸設立 資本金600万円</p> <p>11. 25 大型車日野トレーラーバス（定員150人）運転開始（都内乗入線） " 東京砂利運送は東急貨物運送と商号変更</p> <p>11. 30 二俣尾（多摩川）砂利採取場を譲渡</p> <p>12. 8 監査役石坂泰三辞任</p> <p>12. 15 乗合バス東京駅～池上間都営バスとの相互乗入路線開設</p> <p>12. 27 第53回定時株主総会 社長井田正一，副社長安藤楯六，監査役鈴木幸七辞任 社長に鈴木幸七就任 株主配当年6%</p>	<p>7. 3 京浜急行電鉄湘南逗子～逗子海岸間開通</p> <p>7. 20 国民の祝日決定公布</p> <p>8. 12 私鉄経営者連盟は解散し，私鉄経営者協会発足</p> <p>8. 15 大韓民国成立</p> <p>8. 26 新京成電鉄薬田台～滝不動間開通</p> <p>9. 9 朝鮮民主主義人民共和国成立</p> <p>9. 12 夏時刻を標準時刻に切替え</p> <p>10. 15 第2次吉田茂内閣成立 運輸大臣に小沢佐重喜就任</p> <p>10. 一 小田急電鉄は特急電車運転開始</p> <p>11. 12 極東国際軍事裁判 A級戦犯被告に有罪判決</p> <p>12. 18 GHQ 日本政府に経済安定9原則の実施を指令</p> <p>12. 20 日本国有鉄道法，日本専売公社法公布</p>
<p>昭和24年</p> <p>2. 21 神奈川県観光設立</p> <p>2. 22 五島慶太 城南運送会長に就任</p> <p>2. 一 共済組合嘱託医制度発足</p>	<p>1. 8 新京成電鉄滝不動～鎌ヶ谷大仏間開通</p> <p>2. 1 東海道本線沼津～静岡間電化</p> <p>2. 16 第3次吉田茂内閣成立 運輸大臣に大屋晋三</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>3. 15 日本貿易博覧会開催期間中、東横線に「博覧会場前駅」(元新太田町駅)を臨時開設(昭24.3.15～24.6.15)</p> <p>3. 20 玉川線世田谷および駒沢停留場の駅業務を東急弘潤会に委託 4. 11 三軒茶屋停留場委託</p> <p>4. 1 東横線渋谷～桜木町間運転時間54分を49分に短縮 目蒲線田園調布折返し2両編成を3両編成運転実施</p> <p>4. 25 東横線渋谷駅改良工事再開</p> <p>4. 30 財団法人「大東急再編成記念図書館」設立(昭29.8.12 大東急記念図書館 10.20 大東急記念文庫と法人名を変更)</p> <p>5. 1 玉川線ビューゲル車運転開始(昭24.5.15 全車両ビューゲル化)</p> <p>5. 5 鉄道運賃改訂 最低運賃大人5円、小人3円、定期運賃値上げ</p> <p>5. 16 当社株式 東京証券取引所に再上場される</p> <p>6. 一 五島慶太 公衆会館監査役に就任</p> <p>6. 1 資産再評価法の趣旨に基づき、有形減価償却資産について再評価限度額まで資産再評価実施 〃 バス運賃改訂 1区5円、1区増すごとに5円加算</p> <p>6. 27 第54回定時株主総会 取締役役に齋田高三、比嘉良篤、監査役に及川清資、吉武一雄、太田清蔵それぞれ就任、株主配当年8%</p> <p>7. 1 日東タイヤ設立、資本金1,000万円</p> <p>7. 一 五島慶太 旧軽井沢ゴルフ倶楽部会長に就任</p> <p>8. 6～7 丸子多摩川大花火大会復活</p> <p>9. 1 玉川線七軒町停留場廃止、六所神社前停留場を移設して「玉電松原」と改称</p> <p>9. 28 東京映画配給設立 資本金2,000万円</p> <p>9. 30 乗合バス代燃車を全車両液体燃料車に交換完了</p> <p>10. 23 レッド・ページ該当者41人を労働組合に提示</p> <p>12. 26 五島慶太 静岡鉄道取締役役に就任</p> <p>12. 27 第55回定時株主総会 株主配当年8%</p>	<p>3. 7 ドッジ公使 インフレ収束策など強調(ドッジライン)</p> <p>4. 25 1ドルを360円とする為替レート決定</p> <p>4. 30 多摩川大橋完成</p> <p>4. 一 京浜急行電鉄は休日特急・平日特急・準急運転開始</p> <p>5. 6 ドイツ連邦共和国(西独)成立</p> <p>5. 15 伊東線熱海～伊東間電車運転開始</p> <p>5. 20 東海道本線静岡～浜松間電化</p> <p>6. 1 日本国有鉄道は公共企業体として発足、初代総裁に下山定則就任 〃 専売公社、郵政省、電気通信省、国税庁発足 〃 常磐線松戸～取手間電化 〃 労働組合法、労働関係調整法改正公布</p> <p>7. 5 国鉄総裁下山定則・轢死体で発見される(下山事件)</p> <p>7. 15 三鷹で無人電車暴走(三鷹事件)</p> <p>8. 1 江ノ島電気鉄道は江ノ島鎌倉観光と商号変更</p> <p>9. 15 GHQ シャープ勧告全文を発表</p> <p>9. 24 国鉄総裁加賀山之雄就任</p> <p>10. 1 中華人民共和国成立</p> <p>10. 7 ドイツ民主共和国(東独)成立</p> <p>10. 7 新京成電鉄鎌ヶ谷大仏～初富間開通</p> <p>11. 3 理学博士湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞</p> <p>12. 1 京阪電気鉄道は京阪神急行電鉄より分離して新発足 〃 お年玉つき年賀はがき初発売</p>
<p>昭和25年</p> <p>1. 11 野球場建設委員会設置</p> <p>1. 24 東京通運設立 資本金1,500万円</p> <p>3. 20 東横線中目黒～祐天寺間軌条重量交換開始(37kg軌条を50kgに交換)</p> <p>4. 1 バス通行税廃止</p> <p>4. 7 東横線神奈川駅を廃止</p> <p>4. 25 神中運送は神奈川協同運送と改称</p> <p>5. 6 乗合バス幡ヶ谷～東京駅間に都営バスとの相互乗入路線開設</p> <p>5. 12 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり1円45銭、軌道</p>	<p>1. 1 満年齢制実施</p> <p>1. 7 千円札発行</p> <p>3. 1 東海道本線東京～沼津間電車運転開始</p> <p>4. 1 たばこ自由販売</p> <p>4. 25 資産再評価法公布施行</p> <p>5. 1 北海道開発法公布</p> <p>5. 10 改正商法公布(26.7.1施行)</p> <p>5. 15 西武鉄道拜島線小川～玉川上水間開通</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>全線8円均一 定期運賃改訂</p> <p>5. 15 乗合バス久ヶ原～東京駅間に都営バスとの相互乗入れ路線開設</p> <p>6. 18 本社社屋新築工事着手</p> <p>7. 14 第56回定時株主総会 事業年度を4～9月と10～3月に変更 株主配当年8%</p> <p>8. 1 東横線急行列車復活 〃 東横線渋谷駅第1期改良工事竣工(3線5面ホーム完成)</p> <p>9. 25 オリンピア映画をさん下に収める 資本金300万円</p> <p>10. 1 東海定期運送は相模運送, 平塚運送, 小田原運送を合併し東海運送と商号変更 資本金2,300万円</p> <p>10. 2 本社社屋新築工事竣工 〃 本社を渋谷区大和田町98に移転</p> <p>10. 19 観光バス事業免許申請</p> <p>11. 7 第57回定時株主総会 株主配当年8%</p> <p>11. 16 専務西本定喜辞任</p> <p>11. 20 上町変電所使用開始</p> <p>12. 8 東横百貨店は池袋東横百貨店開設</p>	<p>5. 23 西武鉄道野口信号所～西武園間開通</p> <p>5. 24 建築基準法公布施行</p> <p>6. 25 朝鮮動乱勃発</p> <p>6. 28 運輸大臣に山崎猛就任</p> <p>7. 11 日本労働組合総評議会結成</p> <p>7. 15 東海道本線沼津～静岡間電車運転開始</p> <p>7. 23 東武鉄道東上線坂戸町～越生間電化</p> <p>8. 1 小田急電鉄は箱根登山鉄道箱根湯本駅乗入れ開始</p> <p>8. 24 富士山麓電気鉄道富士吉田～河口湖間開通</p> <p>9. 一 京阪電気鉄道は京阪線で特急運転開始</p> <p>11. 24 電気事業再編成令, 公益事業令各公布</p> <p>12. 1 川崎市営バス開業</p>
<p>昭和26年</p> <p>1. 1 就業規則制定実施</p> <p>1. 19 双栄運輸は東京航運と商号変更</p> <p>2. 26 学校法人武蔵工業学園設立</p> <p>3. 1 大井町線列車3両編成運転実施 〃 大井町線東洗足駅を「旗の台」と改称</p> <p>3. 7 上町～荒玉浄水場間地方鉄道敷設免許申請</p> <p>3. 14 財団法人東横学園は学校法人東横学園となる</p> <p>3. 31 東京映画配給は東横映画, 太泉映画を合併し東映と商号変更 資本金7,000万円 〃 東横映画より多摩川園の事業を譲受ける</p> <p>4. 1 学校法人武蔵工業学園付属高等学校開校</p> <p>5. 1 大井町線旗の台駅, 池上線旗ヶ岡両駅を統合して「旗の台駅」を新設</p> <p>5. 7 第58回定時株主総会 株主配当年8%</p> <p>5. 10 乗合バス 東京駅～横浜間運行開始 東京駅(八重洲口)～久ヶ原間(都営バスとの相互乗入れ路線)を多摩川大橋まで延長</p> <p>5. 21 乗合バス 東京駅～等々力間に都営バスとの相互乗入れ路線開設</p> <p>6. 23 東京都と「野球場建設ならびにその管理維持に関する協定」締結</p> <p>6. 一 五島慶太 神奈川都市交通取締役就任</p>	<p>2. 15 東海道本線東京～浜松間に湘南型電車による直通運転開始</p> <p>3. 1 川崎市営無軌条電車運転開始(川崎駅前～臨港警察署前間)</p> <p>3. 16 川崎市電は京浜急行電鉄大師線塩浜～桜本間に乗入れ運転開始</p> <p>3. 28 3等普通旅客運賃の通行税廃止</p> <p>3. 31 地方鉄道規則制定</p> <p>4. 1 資産評価積立金の資本相入に関する法律公布(7.1施行)</p> <p>4. 24 京浜東北線桜木町駅構内において列車火災発生, 死者106名 重軽傷者92名</p> <p>4. 一 南海電気鉄道は特急電車運転開始</p> <p>5. 1 電力会社再編成により9電力会社発足</p> <p>6. 1 大阪市, 初のワンマンバス運転開始</p> <p>6. 9 新土地収用法公布</p> <p>6. 20 第1次公職追放解除(政財界著名人2,958名)</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>8. 6 五島慶太, 篠原三千郎公職追放解除される</p> <p>8. 25 五島慶太 東映相談役に就任</p> <p>8. 28 相談役に五島慶太, 篠原三千郎, 専務に木下久雄 柏村毅, 狩谷幸知それぞれ就任</p> <p>” 五島慶太, 篠原三千郎追放解除復帰祝賀会を本社 において開催</p> <p>8. — 日本航空に出資</p> <p>10. 27 東横百貨店 東横のれん街開設</p> <p>10. 30 東横線渋谷駅第2期改良工事竣工(階段拡張工事)</p> <p>11. 1 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり1円85銭, 最低 運賃大人10円, 小児5円 軌道全線10円均一 定 期運賃改正</p> <p>11. 20 第59回定時株主総会 監査役堀木鎌三辞任 取締 役に五島慶太, 堀木鎌三就任 株主配当年10% ” 玉電ビルを「東急会館」と改称</p> <p>12. 24 バス運賃改訂 ①初乗り1区15円 1区増すごと に10円加算 ②通学定期券設定 (賃率1キロ当 り都内2円60銭, 神奈川県内3円)</p> <p>12. 26 五島慶太 東横百貨店相談役に就任</p>	<p>8. 1 日本航空設立</p> <p>8. 6 第2次公職追放解除 (鳩山一郎ら各界にわたり 13,904人)</p> <p>8. 25 国鉄総裁に長崎惣之助就任</p> <p>9. 8 対日平和条約, 安全保障条約調印(27.4.28 発効)</p> <p>10. 25 日本航空国内線復活</p> <p>12. 26 運輸大臣に村上義一就任</p>
<p>昭和27年</p> <p>1. 5 東急会館建設委員会設置</p> <p>1. 21 資本金4億円を6億円に増額</p> <p>2. 1 再評価積立金のうち3億円を資本金に組入れ, 普 通株式600万株(1株の額面50円)を無償交付し, 資本金を9億円に増額</p> <p>4. 1 東横線昇井工事のため急行列車運転を一時休止 ” 玉川線弦巻停留場を「新町」と改称</p> <p>4. 25 五島慶太 古稀の祝宴を東京会館において開催</p> <p>4. 30 平塚通運をさん下に収める 資本金120万円</p> <p>5. 6 第60回定時株主総会 定款の一部変更 ①「発行 株式総数を3,200万株とする」②「無記名式株券 の発行」③「取締役の定員を20名以内とする」④ 「社長・専務は取締役会の決議により選任する」 ⑤「新株引受権の制限」 取締役鈴木金之助, 西本定喜, 比嘉良篤, 乾正直 辞任 会長に五島慶太, 専務に吉次利二, 取締役 に渋谷敬三, 西山雄一, 綾部健太郎, 小佐野賢治, 五島昇, 蛇名忠雄, 松田秀一, 監査役に西本定喜, 乾正直がそれぞれ就任 株主配当年15% (普通12 %, 創立30周年記念配当3%)</p> <p>5. 13 勤労部設置, 人事部廃止</p> <p>7. 1 東横線第一師範駅を「学芸大学」に, 都立高校駅</p>	<p>1. 1 京浜急行電鉄は大師線塩浜～桜木間を川崎市へ譲 渡</p> <p>2. 28 日米行政協定調印</p> <p>3. 25 西武鉄道新宿線高田馬場～西武新宿間開通</p> <p>4. 1 高崎線大宮～高崎間電化</p> <p>4. 9 日本航空「もく星号」伊豆大島三原山に墜落, 37 人死亡</p> <p>4. 28 GHQ廃止 日米安全保障条約発効</p> <p>5. 1 独立後初のメーデー デモ隊, 皇居前で警官隊と 衝突 (死者1人, 重軽傷500人)</p> <p>5. 20 都営無軌条電車 今井橋～亀戸～上野間運転開始</p> <p>6. 7 会社更生法公布 (8.1 施行)</p> <p>7. 1 石油販売価格の統制廃止</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>を「都立大学」と改称</p> <p>7. 9 会長五島慶太 東横学園理事に就任</p> <p>7. 10 専務狩谷幸知, 専務を辞任</p> <p>8. 22 東京スケートは東京製氷と商号変更</p> <p>10. 1 東横線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧 " 日東タイヤは日東ゴム興業, 日本自転車タイヤを合併 " 東横線に3800形車両就役</p> <p>10. 2 この日より1週間 創立30周年記念行事を挙行</p> <p>10. 15 会長五島慶太 日本テレビ放送網取締役就任</p> <p>10. 16 戦時中からのバス休止路線全線復旧</p> <p>10. 30 会長五島慶太 東映取締役就任</p> <p>11. 6 第61回定時株主総会 株主配当年15%</p> <p>11. 12 神糧運輸をさん下に収める 資本金1,000万円</p> <p>12. 6 相模スレートをさん下に収める 資本金180万円</p> <p>12. 8 目黒駅～中根町, 五反田駅～昭和医大前間無軌条電車特許申請</p> <p>12. 26 東急病院の建設に着手</p> <p>12. — 東横線渋谷駅に自動券売機設置</p>	<p>7. 1 羽田に東京国際空港発足 " 住民登録実施</p> <p>7. 15 西武鉄道 西武遊園地～ユネスコ村間開通</p> <p>7. 18 旅行あつ旋業法公布</p> <p>7. 19 第15回ヘルシンキオリンピック 日本, 戦後初参加</p> <p>8. 1 自治庁設置</p> <p>9. 13 *日本航空宣伝協会設立 (昭31.7.1富士航空と商号変更)</p> <p>9. 30 阪急不動産設立</p> <p>10. 1 高崎線上野～熊谷間電車運転開始</p> <p>10. 30 第4次吉田茂内閣成立 運輸大臣に石井光次郎就任</p> <p>11. 10 皇太子殿下下立太子礼</p> <p>12. 20 青山に日本最初の東京ボウリングセンター開業</p> <p>12. 27 日本ヘリコプター輸送設立</p>
<p>昭和28年</p> <p>1. 10 新規事業促進のため臨時建設部を新設</p> <p>1. 15 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり2円15銭 軌道2区制, 1区10円, 2区15円</p> <p>1. 29 会長五島慶太 東海汽船取締役就任</p> <p>2. 1 城南運送は東横運送・品川運送・東急貨物運送を合併し東急運輸と商号変更 " 駅務員登用試験制度制定実施</p> <p>2. 11 東急横浜製作所は東急車輛製造と商号変更</p> <p>2. 27 五島昇, 大川博 副社長に就任</p> <p>2. 28 東映 オリムピア映画を合併</p> <p>3. 31 相談役篠原三千郎死去</p> <p>4. 1 東横線工業都市駅を廃止し, 武蔵小杉駅に統合, 営業開始 " 相模スレートは鴨宮砂利を合併し, 相模建材工業と商号変更</p> <p>4. 13 東海運送は平塚通運を合併</p> <p>5. 4 第62回定時株主総会 株主配当年15% " 観光バス業の免許取得</p> <p>5. 15 目蒲線の運転所要時分を日中28分から27分に短縮 大井町線本線運転間隔を10分から8分に短縮</p> <p>5. 22 目黒駅改築工事着手</p> <p>6. 5 社員クラブ「清和会館」竣工</p> <p>6. 10 玉川線朝夕2両編成運転実施</p> <p>6. 22 東京スケートは東京製氷と商号変更</p>	<p>2. 1 NHKテレビ本放送開始</p> <p>3. 5 ソ連首相スターリン死去</p> <p>5. 28 第5次吉田茂内閣成立</p> <p>6. 30 北日本航空設立</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>7. 1 東急病院開業 駒沢・自由ヶ丘両診療所廃止</p> <p>7. 22 観光バス業営業開始 (3両)</p> <p>8. 10 高津変電所使用開始</p> <p>〃 厚木通運をさん下に収める 資本金700万円</p> <p>〃 日本タイヤ工業解散</p> <p>8. 11 池上線桐ヶ谷駅廃止</p> <p>9. 11 東横線渋谷～田園調布間4両編成運転実施(朝夕)</p> <p>〃 横浜西部運送をさん下に収める 資本金560万円</p> <p>9. 26 駒沢野球場竣工(9.27開場 東急フライヤーズのホームグラウンドとなる)</p> <p>10. 1 神糧運輸は横浜通運と商号変更</p> <p>10. 5 東横線渋谷～日吉間4両編成運転実施</p> <p>10. 9 玉川線西太子堂停留場駅業務廃止</p> <p>10. 20 ハワイアン・トラベルサービスをさん下に収める 資本金1,000万円</p> <p>10. 27 天城荘をさん下に収める 資本金5,000万円</p> <p>10. 28 東急会館増改築工事着手</p> <p>11. 1 自動車部に観光自動車課を新設</p> <p>11. 4 第63回定時株主総会 株主配当年15%</p> <p>11. 15 新丸子東急ランド完成</p> <p>11. 18 東映 渋谷東映竣工</p> <p>11. 30 会長五島慶太 学校法人東横学園理事長に就任</p> <p>12. 12 目黒駅改築工事竣工</p> <p>12. 15 池上線3両編成運転実施(五反田～雪ヶ谷大塚間)</p> <p>12. 17 東急不動産設立 資本金3億円</p> <p>12. 23 渋谷地下街設立 資本金3,000万円</p> <p>12. 25 本社は屋第1期増築工事竣工</p> <p>12. 31 東京製水は新日本興業と合併</p> <p>〃 新日本興業をさん下に収める 資本金9,250万円</p>	<p>7. 21 東海道本線浜松～名古屋間電化</p> <p>7. 27 朝鮮動乱休戦協定調印</p> <p>8. 1 政府 日本航空に半額出資、同社は特殊会社として新発足</p> <p>8. 28 日本テレビ 民間初のテレビ放送開始</p> <p>9. 23 中央本線浅川～塩山間電車運転開始</p> <p>11. 1 新京成電鉄藤崎台～京成津田沼間開通</p>
<p>昭和29年</p> <p>1. 1 田園都市業・砂利業・遊園業の一部を東急不動産に譲渡 資材部、事業部廃止</p> <p>〃 東急ベースボール倶楽部の管理運営を東映に委託</p> <p>3. 5 東急ターンバイク(渋谷～江ノ島間有料専用道路)免許申請</p> <p>3. 27 東急不動産は二子玉川園再開</p> <p>4. 1 東急不動産は日本興業を合併</p> <p>〃 池上線本線3両編成運転実施</p> <p>4. 16 宮前開発事務所設置</p> <p>5. 6 第64回定時株主総会 社長鈴木幸七、社長職を辞任 取締役狩谷幸知、齋田高三、監査役吉武一雄、乾正雄辞任 社長に五島昇、取締役三宮四郎、小山亮、監査役に齋田高三、高橋禎二郎それぞれ就任 株主配当年15%</p> <p>5. 13 政策委員会設置</p> <p>5. 21 国民相互銀行をさん下に収める 資本金1億5000万円</p> <p>6. 5 長距離バス渋谷～長野駅前間免許申請</p> <p>6. 15 社内預金制度発足</p>	<p>1. 20 営団地下鉄丸の内線池袋～御茶ノ水間開通</p> <p>3. 1 アメリカ ビキニ環礁で第1回水爆実験(第5福竜丸降灰を浴びる)</p> <p>4. 1 名古屋鉄道市役所前～稻荷口間開通</p> <p>4. 15 常磐線の有楽町駅乗入れ開始</p> <p>5. 20 土地区画整理法公布(昭30.4.1施行)</p> <p>6. 1 企業資本充実のため資産再評価等の特別措置法公布</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 24 水宝閣設立 資本金4,500万円</p> <p>6. 26 乗合バス路線渋谷～江の島間営業開始</p> <p>6. 30 玉川線玉電若林の駅業務を東急弘潤会に委託 〃 横浜ホテルをさん下に収める 資本金2,000万円</p> <p>7. 20 軽井沢夏季学校開設(沿線女子中学校生徒を対象)</p> <p>7. 24 天城荘は伊豆開発興業と商号変更</p> <p>8. 1 大井町線二子玉川駅を「二子玉川園」と改称 〃 大井町線等々力折返し3両編成運転を二子玉川園まで延長運転実施 〃 東急不動産は東京建設工業を合併</p> <p>8. 10 東京乗車券印刷解散</p> <p>8. 23 箱根ターンパイク(小田原～箱根間有料専用道路)免許申請</p> <p>9. 6 東急四谷サービス・ステーション開業</p> <p>9. 9 超短波無線電話局開設(固定局本社)</p> <p>9. 15 東横線全線軌条重量変更完了(37kg～50kg)</p> <p>10. 1 企画室設置 〃 資本金9億円を15億円に増額 〃 ハワイアン・トラベルサービスは東急航空と商号変更</p> <p>10. 16 東横線に5000形車両6両就役</p> <p>11. 1 東急中目黒サービス・ステーション開業</p> <p>11. 11 会長五島慶太 武蔵工業大学理事長に就任</p> <p>11. 15 東急会館増改築工事竣工(11.20より東横百貨店西館として使用開始)</p> <p>11. 24 第65回定時株主総会 株主配当年15%</p> <p>12. 1 東京航運は浅上倉庫を合併して浅上航運倉庫と商号変更</p> <p>12. 16 目蒲線目黒～蒲田間の運転間隔を9分から7分に短縮 〃 日本内燃機製造をさん下に収める 資本金2億円</p> <p>12. 22 東横車輛工事は日本モーターを合併して東横車輛工業と商号変更</p> <p>12. 23 主要駅に自動券売機設置</p> <p>12. 31 横浜ホテルは自動車業を横浜交通に譲渡</p>	<p>6. 21 長野原線長野原～太子間開通</p> <p>9. 26 台風により函館港付近で青函連絡船洞爺丸ほか貨物船4隻沈没 死者行方不明1,155人、客車4両・貨車176両沈没</p> <p>12. 1 山手線区間内の貨物線電化</p> <p>12. 10 鳩山一郎内閣成立 運輸大臣に三木武夫就任</p>
<p>昭和30年</p> <p>2. 21 東急自動車学校設立(4.7開校) 〃 東海定期運送解散</p> <p>3. 10 大東急記念文庫開館</p> <p>3. 16 東急愛宕山サービス・ステーション開業</p> <p>3. 19 会長五島慶太 東急不動産会長に就任</p> <p>4. 1 東横線日中のみ急行列車運転再開 〃 玉川線三軒茶屋、玉電若林、松陰神社前、世田谷、上町、宮ノ坂、玉電中里、用賀、砦線砦の各停留場の駅業務を東急弘潤会に委託 〃 東急不動産より遊園業の経営を受託 〃 運輸部・車両部を統合して電車部新設 〃 学校法人五島育英会設立</p> <p>4. 13 会長五島慶太、鉄軌道・自動車部門に対し各日収1,000万円達成指令</p>	<p>2. 14 日本生産性本部発足</p> <p>3. 19 第2次鳩山一郎内閣成立</p> <p>4. 29 京王帝都電鉄東府中～府中競馬場正門前間開通</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>4. 27 目黒社員アパート第1・2期工事竣工(1棟12戸)</p> <p>5. 1 東急不動産 代官山東急アパート竣工</p> <p>5. 4 第66回定時株主総会 株主配当年15% " 企画室を廃止して企画部設置</p> <p>5. 6 東急サービス・ステーション新橋営業所開業(観光バス, 行楽その他案内)</p> <p>6. 1 鉄道全線の終車を15分~30分延長</p> <p>6. 2 五島育英会 東横学園付属二子幼稚園開園</p> <p>7. 23 玉川線 200形連節車, 6編成就役</p> <p>8. 17 荏田開発事務所設置</p> <p>8. 22 東急文化会館建設工事着手</p> <p>9. 15 目蒲線目黒~田園調布間軌条重量変更開始(37kg~50kg) 昭40.1.15全線完了</p> <p>9. 30 東急ボーイスカウト東京130団結成</p> <p>10. 1 東横線急行列車終日運転実施 " 東急修学旅行会館竣工</p> <p>10. 7 当社の寄付工事により多摩川パークウェイ完成</p> <p>11. 15 目蒲線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧</p> <p>11. 29 第67回定時株主総会 定款中一部改正「常務制実施」常務に田中勇, 馬淵寅雄就任 株主配当年15%</p> <p>12. 1 東急ゴルフ場設立 資本金300万円(東京都より砦ゴルフ場の経営受託)</p> <p>12. 31 東急田町サービス・ステーション開業</p>	<p>5. 11 宇高連絡船紫雲丸は宇高丸と衝突沈没 死者168人</p> <p>5. 20 国鉄総裁に十河信二就任</p> <p>6. 1 都営無軌条電車池袋~千駄ヶ谷4丁目間開通</p> <p>7. 7 東海道本線豊橋~大垣間に湘南型電車運転開始</p> <p>7. 8 日本住宅公団法公布・施行</p> <p>7. 20 東海道本線名古屋~米原間電化(豊橋~関ヶ原間電車運転開始)</p> <p>7. 29 自動車損害賠償保障法公布(昭31.2.1施行)</p> <p>10. 1 国勢調査 人口89,275,529人 " 小田急電鉄 御殿場線松田~御殿場間にディーゼル準急行列車乗入開始</p> <p>11. 22 第3次鳩山一郎内閣成立 運輸大臣に吉野信次就任</p> <p>12. 27 都営無軌条電車千駄ヶ谷4丁目~渋谷駅間開通</p>
<p>昭和31年</p> <p>1. 1 築地東急有料駐車場営業開始(昭33.1.24廃止)</p> <p>1. 14 白木屋をさん下に収める 資本金2億円</p> <p>1. 16 目蒲線目黒~蒲田間運転所要時分27分を25分に短縮 池上線折返し列車3両編成運転実施</p> <p>1. 24 「東急電鉄発祥之地」記念碑除幕式を日吉において挙行</p> <p>1. 31 東急観光設立 資本金3,000万円</p> <p>2. 1 伊東下田電気鉄道(発起人代表当社社長五島昇) 伊東~下田間地方鉄道敷設免許申請 " ヒルトンホテルズ・インターナショナルとの間にホテル建設についての仮契約書調印 " 乗合バス野沢竜雲寺~新宿間開設(都営バスと相互乗入)</p> <p>2. 15 軌券式自動券売機使用開始</p> <p>2. 22 東横線高島町~桜木町間複線化工事着手</p> <p>3. 2 東急観光 星ヶ岡茶寮開業</p> <p>3. 12 日本糖蜜飼料をさん下に収める 資本金1,200万円</p> <p>3. 16 乗合バス瀬田営業所新設</p> <p>3. 28 河口湖汽船をさん下に収める 資本金60万円 同社の経営を関東乗合自動車に委託</p>	<p>3. 1 日本原子力産業会議設立</p> <p>3. 20 営団地下鉄丸の内線御茶ノ水~淡路町間開通</p> <p>3. — 全国的に映画館新築ブーム(東京においては終戦直後の4倍452館)</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>3. 31 東急ゴルフ場は事業休止 " 東急ゴルフ場より砧ゴルフ場の経営を譲受ける</p> <p>4. 1 大井町線直通列車3両編成運転実施 池上線全列車3両編成運転実施（五反田～蒲田間 運転所要時分27分を25分に短縮） " 多摩川園催物館完成</p> <p>4. 19 五島育英会東横学園女子短期大学開校</p> <p>4. 20 二子玉川園にフライング・コースター完成</p> <p>5. 7 本社社屋第2期増築工事竣工</p> <p>5. 12 箱根中強羅観富荘買収</p> <p>5. 15 東急文化会館設立 資本金2,500万円</p> <p>5. 29 第68回定時株主総会 取締役松田秀一辞任 取締 役に唐沢勲就任 株主配当年15%</p> <p>6. 7 東京駐車場設立 資本金2,500万円</p> <p>6. 9 東急病院第1期増築工事竣工（病床70床）</p> <p>6. 27 目黒社員アパート第3期工事竣工</p> <p>7. 1 東急江の島レストハウス開業 " 真砂荘・海浜ホテルの経営を東急観光に引継ぐ</p> <p>7. 14 東急服装学園設立認可（10.18 東京田中千代服装 学園と改称）</p> <p>7. 16 日本ドリゾールをさん下に収める 資本金7,500 万円</p> <p>7. 23 新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許申 請</p> <p>8. 11 会長五島慶太 学校法人亜細亜学園理事長に就任</p> <p>9. 10 東横線高島町～桜木町間複線化工事竣工</p> <p>9. 11 東急箱根湯本ドライブイン開業</p> <p>9. 15 大井町線大井町駅改良工事竣工（昭31.4.7着工）</p> <p>9. 28 溝ノ口～長津田間地方鉄道敷設免許申請</p> <p>10. 1 資本金15億円を30億円に増額 " 東横線渋谷～桜木町間急行列車運転所要時分40分 を37分に短縮</p> <p>10. 6 観富荘は恵風会館と改称して開業</p> <p>10. 10 東横興業設立 資本金1,000万円</p> <p>10. 16 傍系部、衛星都市建設部を新設</p> <p>11. 12 東洋不動産管理をさん下に収める 資本金300万 円（11.22東急管財と商号変更）</p> <p>11. 20 東急自動車交通をさん下に収める 資本金1,000 万円</p> <p>11. 24 財団法人五島プラネタリウム設立（32.4.1開館）</p> <p>11. 27 第69回定時株主総会 株主配当年15%</p> <p>11. 28 横須賀運送をさん下に収める 資本金1,200万円</p> <p>11. 30 東急文化会館竣工（12.1開館）</p> <p>12. 1 興国開発をさん下に収める 資本金19万5,000円 同社は東急砂利と商号変更 " 新宿東急文化会館竣工</p> <p>12. 3 砧ゴルフ場竣工</p> <p>12. 14 上野東急設立 資本金5,000万円</p>	<p>4. 1 たばこ「いこい」発売 20本入り50円</p> <p>4. 16 日本道路公団設立</p> <p>4. 20 京浜急行電鉄穴守線（現空港線）稲荷橋～羽田空 港間開通</p> <p>4. 26 首都圏整備法公布（6.9施行）</p> <p>5. 6 南海電気鉄道と歌山市～和歌山港間開通</p> <p>5. 23 百貨店法公布</p> <p>5. 一 箱根登山鉄道小田原～箱根板橋間軌道営業廃止</p> <p>7. 20 営団地下鉄丸の内線淡路町～東京間開通 " 動力車操縦者運転免許に関する省令公布</p> <p>9. 15 西武鉄道は蒸気機関車の運転を廃止</p> <p>9. 21 都営無軌条電車渋谷～品川間開通</p> <p>10. 16 伊豆箱根鉄道十国鋼索線十国登り口～十国峠間開 通</p> <p>11. 19 東海道本線の電化完成 " 高崎線熊谷～高崎間、上越線高崎～水上間電車運 転開始 " 田端～品川間京浜東北線・山手線を分離</p> <p>12. 18 日本 国際連合に加盟</p> <p>12. 23 石橋湛山内閣成立 運輸大臣に宮沢胤勇就任</p>
<p>昭和32年</p> <p>1. 16 東横線急行列車の一部4両編成運転実施</p>	<p>1. 16 国鉄は地方組織を支社制に改正施行</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>2. 6 取締役鈴木幸七、監査役西本定喜死去</p> <p>2. 14 東京トヨタディーゼル設立 資本金3,000万円</p> <p>3. 1 大井町線折返し列車3両編成運転実施</p> <p>3. 15 渋谷駅東口一般連絡跨道橋竣工</p> <p>3. 26 伊豆開発興業は小涌園(旧天城荘)を藤田興業に譲渡</p> <p>3. 27 東亜石油をさん下に収める 資本金15億円</p> <p>3. 31 白木屋、増築工事竣工</p> <p>4. 1 東急不動産 三田東急アパート開業 " 五島プラネタリウム開館 " 東横興業は白木興業を合併</p> <p>4. 15 ユニオン観光バスをさん下に収める</p> <p>5. 1 動力車操縦者養成所新設 " 田園調布、大岡山両駅の荷貨物取扱い業務を日本通運に委託</p> <p>5. 7 東急鶴見サービス・ステーション開業</p> <p>5. 27 第70回定時株主総会 監査役齋田高三辞任 取締役田中徳次郎 監査役に賀屋興宣 弘世現それぞれ就任 株支配当年13% " 社長五島昇 東日本実業団陸上競技連盟会長に就任</p> <p>6. 3 日本内燃機製造はオオタ自動車工業を合併し日本自動車工業と商号変更(6.6)</p> <p>6. 6 外人観光客用バス2両購入</p> <p>6. 24 群馬バスをさん下に収める 資本金3,000万円</p> <p>6. 26 東急自動車交通は東急交通と商号変更</p> <p>6. 30 目黒社員アパート第4期工事竣工</p> <p>7. 10 取締役堀木謙三辞任</p> <p>7. 11 大井町線中延駅付近立体交差工事竣工</p> <p>7. 18 江の島レストハウス旅館部開業 東急観光に経営を委託</p> <p>7. 21 東急第二国道サービス・ステーション開業</p> <p>7. 24 東急二子玉川サービス・ステーション開業</p> <p>7. 29 大井町駅国鉄・社線連絡橋完成</p> <p>8. 1 玉川ゴルフコース設立 資本金7,500万円</p> <p>8. 6 元住吉慎独寮竣工</p> <p>8. 10 池上線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧</p> <p>8. 24 松籟荘開業</p> <p>8. 26 湘南ターンパイク(藤沢～小田原間有料専用道路)免許申請</p> <p>9. 10 電車部を運輸部に改め 車両部新設</p> <p>9. 16 東横線渋谷～桜木町間朝間混雑時、普通列車15運用中5運用を4両編成運転実施</p> <p>9. 20 東横興業は東光ストアと商号変更 " 信託車両制度を採用(昭41.4まで)</p> <p>9. 30 二子劇場開場</p> <p>10. 1 東横線急行列車全運用4両編成運転実施 急行列車運転時間を約1時間延長</p> <p>10. 21 東急コンクリート工業設立 資本金1億円</p> <p>10. 23 函館バスをさん下に収める 資本金3,800万円</p>	<p>1. 25 小林一三死去</p> <p>2. 1 両毛線高崎～前橋間電車運転開始</p> <p>2. 25 第1次岸信介内閣成立</p> <p>3. 26 都電渋谷駅終点を東急文化会館前に移転</p> <p>4. 1 東海道本線浜松～豊橋間電車運転開始</p> <p>4. 16 国土開発縦貫自動車道建設法公布</p> <p>4. 25 高速自動車国道法公布</p> <p>6. 20 中央・京浜東北各線電車の2等車を廃止し老幼優先車に切替え</p> <p>7. 10 岸信介改造内閣成立 運輸大臣に中村三之丞就任</p> <p>8. 15 大糸線松本～糸魚川間全通</p> <p>10. 1 5千円札発行 " 東京～長崎間特急「さちかぜ」新設</p> <p>10. 4 ソ連 世界初の人工衛星打上げに成功</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>10. 23 五島ローズガーデン開園</p> <p>10. 26 平野運送をさん下に収める 資本金 3,000 万円</p> <p>10. 31 東急戸塚ドライブイン開業</p> <p>11. 1 管財部, 伊豆開発班新設 企画部廃止</p> <p>11. 5 吉浜開発をさん下に収める 資本金 250 万円</p> <p>11. 14 大井町線延長線溝ノロ～長津田間地方鉄道敷設免許申請を溝ノロ～中央林間間に変更申請</p> <p>11. 16 会長五島慶太 中央食品相談役に就任</p> <p>11. 19 吉田瓦斯をさん下に収める 資本金 4,000 万円</p> <p>11. 27 第71回定時株主総会 株主配当年13%</p> <p>11. 29 渋谷地下街竣工</p> <p>12. 1 群馬バスはユニオン観光バスを合併 〃 東横線全車両に車内警報装置を設置</p> <p>12. 7 定山溪鉄道をさん下に収める 資本金 2 億円</p> <p>12. 19 本社は屋第 3 期増築工事竣工</p> <p>12. 20 元住吉慎独寮増築工事竣工</p> <p>12. 30 群北自動車交通をさん下に収める 資本金 485 万円</p> <p>12. — 全日本空輸に資本参加</p>	<p>11. 15 名古屋市営地下鉄名古屋～栄町間開通</p> <p>12. 1 日本ヘリコプター輸送は全日本空輸と商号変更</p> <p>12. 11 百円硬貨発行</p> <p>12. 15 営団地下鉄丸の内線東京～西銀座間開通</p>
<p>昭和33年</p> <p>1. 1 バス運賃改訂 賃率1キロ当たり3円55銭(神奈川県)</p> <p>1. 9 乗合バス東京駅八重洲口～幡ヶ谷間に都営バスとの相互乗入れ路線開設</p> <p>1. 14 東急軽井沢第1スケートリンク竣工</p> <p>1. 15 大井町線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧</p> <p>1. 20 原子力研究委員会設置</p> <p>2. 15 玉川線世田谷停留場駅業務廃止</p> <p>3. 1 連絡室, 調査室設置(昭34.10.16連絡室廃止) 〃 東急赤坂サービス・ステーション開業</p> <p>3. 3 札幌急行鉄道敷設免許申請</p> <p>3. 22 横浜トヨタディーゼル設立 資本金 3,000 万円</p> <p>3. 26 自動車部中延営業所ならびに中延社員アパート竣工</p> <p>4. 1 東横線田園調布折返し列車を日吉まで延長, 16分間隔運転実施 目蒲線朝間混雑時運転間隔を本線・折返し列車とも7分から6分に短縮</p> <p>4. 10 五島育英会 武蔵工業大学付属目黒高等無線学校を開校</p> <p>4. 11 大井町線軌条重量変更工事開始(37kg～50kg) 昭41.10.15完了</p> <p>5. 8 日東タイヤは米国USラバー社と技術提携</p> <p>5. 27 第72回定時株主総会 取締役船石吉平, 小滝顕忠, 洪沢敬三, 監査役及川清資, 太田清蔵辞任, 常務に唐沢勲, 取締役赤川稔, 八木勇平, 竹内竹助, 沢勝蔵, 監査役に小滝顕忠, 大塚秀雄それぞれ就任 株主配当年13%</p> <p>6. — 社長五島昇は日本実業団陸上競技連合会会長に就任</p>	<p>3. 9 日本道路公団関門国道トンネル開通</p> <p>3. 29 京浜急行電鉄は帝都高速度交通営団から高輪南町～芝車坂町間地方鉄道敷設権を譲受ける</p> <p>5. 30 最後のB・C級戦犯18人巣鴨刑務所から出所</p> <p>6. 12 第2次岸信介内閣成立 運輸大臣に永野護就任</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6.29 東急アバロン乗馬学校開校</p> <p>7. 4 白馬観光開発設立 資本金3,000万円</p> <p>7.16 関東民生産業をさん下に収める 資本金150万円</p> <p>7.21 東京ヒルトンホテル設立 資本金1億円</p> <p>7.22 観光バス営業地域に横浜市のうち港北・神奈川・鶴見の各区追加免許</p> <p>7.25 港北木材工業をさん下に収める 資本金100万円</p> <p>8. 1 白木屋は東横百貨店を合併 資本金18億円となる</p> <p>9. 1 田奈開発事務所設置</p> <p>9. 2 玉川ゴルフコース開業</p> <p>9. 8 東横自動車工業解散</p> <p>9.18 白木屋は東横と商号変更</p> <p>9.30 東急不動産 南平台東急ビル竣工</p> <p>10. 1 資本金30億円を45億円に増額</p> <p>〃 大井町線朝間混雑時の運転間隔を本線、折返し列車とも8分から7分に短縮</p> <p>〃 伊東下田電気鉄道建設委員会設置</p> <p>11. 4 上田丸子電鉄をさん下に収める 資本金1億6,000万円</p> <p>11.10 朝日自動車をさん下に収める 資本金1,500万円</p> <p>11.29 第73回定時株主総会 株主配当年13%</p> <p>12. 1 東横線に輸送力増強のため、新造セミ・ステンレスカー5200形3両就役</p> <p>12. 8 東洋精糖の経営に参加</p> <p>12.24 東横線車両20両に誘導無線によるラジオ関東放送受信装置設置、中継放送開始</p> <p>12.26 白馬観光開発、八方尾根ロープウェイ開業</p>	<p>7. 5 アラビヤ石油、クウェート国王と中立地帯沖合油田開発利権協定に調印</p> <p>7.11 近畿日本鉄道、大阪～宇治山田間に2階電車ビスタカー運転開始</p> <p>8.12 全日本空輸ダグラスDC3型旅客機下田沖に墜落33人死亡</p> <p>8.18 都営無軌条電車池袋駅前～浅草駅間開通</p> <p>9.26 台風22号伊豆地方上陸 狩野川氾濫</p> <p>10.15 営団地下鉄丸の内線西銀座～霞ヶ関間開通</p> <p>11. 1 国鉄ビジネス特急「こだま号」運転開始（東京～大阪間6時間50分）</p> <p>12. 1 1万円札発行</p> <p>12.12 交通閣僚懇談会で東海道新幹線を34年から5か年計画で工事着手することを決定</p> <p>12.23 東京タワー完成</p> <p>12.27 国民健康保険法改正公布（昭34.1.1施行）</p>
<p>昭和34年</p> <p>1. 1 バス運賃改訂 神奈川県内賃率1キロ当たり3円55銭、通勤定期設定</p> <p>1. 9 乗合バス幡ヶ谷～東京駅八重洲口間開業（都バスと相互乗入）</p> <p>1.29 運賃改訂 賃率1キロ当たり2円20銭 軌道片道13円、往復25円 二子玉川園・下高井戸方面相互乗換券発行</p> <p>2. 9 新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許</p> <p>〃 伊東～下田間地方鉄道敷設免許</p> <p>2.18 東急国際ホテル設立 資本金4億円</p> <p>2.20 新玉川線建設部、伊東下田電鉄建設事務所（昭34.4.10廃止）設置</p> <p>2.27 専務に沢勝蔵就任</p> <p>3. 3 乗合バス弦巻営業所新設</p> <p>3. 8 東急労働組合と年間賃金協定締結</p> <p>3.30 乗合バス相互乗入路線東京駅～自由ヶ丘間を等々力まで延長</p> <p>4. 1 横須賀運送は横浜西部運送、服部運輸を合併し、日本貨物急送と商号変更</p> <p>〃 桜木町～関内間（1.0km）地方鉄道敷設免許申請</p>	<p>2. 8 黒部トンネル開通</p> <p>2.24 運輸大臣に重宗雄三就任</p> <p>3.15 営団地下鉄丸の内線霞ヶ関～新宿間開通</p> <p>4.10 皇太子殿下ご成婚</p> <p>4.14 首都高速道路公団法公布（7.1施行）</p> <p>4.15 最低賃金法公布</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>4. 2 東急高崎ドライブイン開業</p> <p>4. 9 伊東下田電気鉄道創立総会</p> <p>4. 11 伊東下田電気鉄道設立 資本金10億円</p> <p>4. 16 東急柿ノ木坂サービス・ステーション開業</p> <p>5. 1 野川第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>5. 27 第74回定時株主総会 株主配当年12%</p> <p>5. 28 ホテル文珠荘をさん下に収める 資本金1,500万円</p> <p>5. 29 中越自動車をさん下に収める 資本金2億4,000万円</p> <p>6. 1 東横線急行列車 朝夕のみ5両編成運転実施</p> <p>〃 日本自動車工業は東急くろがね工業と商号変更</p> <p>6. 30 野川第1土地区画整理事業起工式挙行</p> <p>6. 一 軽四輪自動車くろがねベビー号量産体制にはいる</p> <p>7. 1 東急くろがね自動車販売設立 資本金1億円</p> <p>7. 6 おんたけ交通をさん下に収める 資本金1億円</p> <p>7. 14 東急沼津ドライブイン開業</p> <p>〃 新世界をさん下に収める 資本金1億円</p> <p>8. 1 東急不動産 溜池東急ビル竣工</p> <p>8. 14 会長五島慶太死去</p> <p>8. 18 故五島慶太の社葬を築地西本願寺において執行</p> <p>9. 2 社長五島昇 学校法人五島育英会ならびに学校法人亜細亜学園理事長に就任</p> <p>9. 9 東急病院第2期増築工事竣工</p> <p>9. 10 東洋精糖の全所有株式を売却</p> <p>9. 16 池上線軌条重量変更工事開始 (37kg~50kg) 42.3.15完成</p> <p>10. 1 新玉川線建設委員会設置</p> <p>10. 12 東急不動産 代官山東急アネックス竣工</p> <p>10. 20 東北急行運送をさん下に収める 資本金1,991万5,000円</p> <p>11. 11 東急不動産の建設部門を分離して東急建設を設立 資本金1億円</p> <p>11. 12 東急椎名町サービス・ステーション開業</p> <p>11. 25 財団法人五島美術館設立 (昭35.4.18開館)</p> <p>11. 26 東横線都立大学駅付近立体交差工事着手</p> <p>11. 27 第75回定時株主総会 相談役に石坂泰三、小林中水野成夫就任 株主配当年12%</p> <p>11. 30 東横線自由ヶ丘駅改良工事竣工(急行待避線建設)</p> <p>12. 15 東急車輛製造は米国パッド社とオールステンレス車両について技術提携</p> <p>12. 24 東横線白楽駅改良工事竣工 (昭34.3.18着手)</p> <p>12. 28 宗谷バスをさん下に収める 資本金2,700万円</p>	<p>4. 20 東海道新幹線起工</p> <p>〃 修学旅行車用列車「ひので」、「きぼう」運転開始</p> <p>4. 23 東京都知事に東竜太郎当選</p> <p>5. 26 1964年(昭和39年)オリンピック大会の東京開催が決定</p> <p>6. 3 シンガポール独立</p> <p>6. 10 東京高速道路新橋~鍛冶橋間開通</p> <p>6. 17 首都高速道路公団設立</p> <p>6. 18 岸信介改造内閣成立 運輸大臣に檜橋渡就任</p> <p>7. 13 富士山麓電気鉄道河口湖~天上山間ロープウェイ開通</p> <p>7. 17 大糸線信濃大町~信濃四ツ谷間に電車運転開始</p> <p>8. 1 日産自動車, ダットサンブルーバード発売 (マイカー時代始まる)</p> <p>12. 3 東京陸運局 個人タクシーに初免許</p>
<p>昭和35年</p> <p>1. 1 東急観光は東急航空を合併</p> <p>1. 22 伊東下田電気鉄道伊東~下田間鉄道敷設工事着手</p> <p>〃 臨時原子力研究所建設部設置</p> <p>2. 6 新玉川線渋谷~二子玉川間地方鉄道工事施行認可申請 (昭36.8.15認可)</p> <p>3. 25 乗合バス神明営業所増改築工事竣工, 荏原営業所</p>	<p>1. 20 新日米安保条約行政協定調印</p> <p>2. 23 皇孫浩宮徳仁親王ご誕生</p> <p>3. 27 国鉄南武線武蔵溝ノ口~津田山間, 久地~宿河原</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>と改称 荏原社員アパートも同時に竣工</p> <p>4. 1 東横線にステンレスカー6000形4両就役(5.16さらに4両就役)</p> <p>4. 10 高島町変電所送電開始(無人1号)</p> <p>5. 5 二子玉川園少年科学館開館</p> <p>5. 8 東急国際ホテルは銀座東急ホテルを開業</p> <p>5. 21 北見バスをさん下に収める 資本金5,000万円</p> <p>5. 27 第76回定時株主総会 取締役西山雄一辞任 取締役に矢野一郎就任 株主配当年12%</p> <p>6. 10 長岡鉄道をさん下に収める 資本金2億円</p> <p>8. 1 空港産業をさん下に収める 資本金1億円</p> <p>8. 14 『五島慶太の追想』を刊行</p> <p>9. 1 経営計画委員会設置</p> <p>9. 20 大井町線延長線溝ノ口～中央林間間地方鉄道敷設免許</p> <p>10. 1 弘報室、新線建設部新設 " 長岡鉄道は中越自動車、栃尾鉄道を合併し越後交通と商号変更</p> <p>11. 29 第77回定時株主総会 株主配当年12%</p> <p>12. 20 反町架道橋、東横線反町駅改良工事竣工</p> <p>12. 25 白馬観光開発、白馬東急ホテルを開業(経営を横浜ホテルに委託)</p>	<p>間複線開通</p> <p>5. 24 チリ津波襲来</p> <p>5. 30 富士山麓電気鉄道は富士急行と商号変更</p> <p>7. 1 国鉄は2等を1等に、3等を2等に改正</p> <p>7. 19 第1次池田勇人内閣成立 運輸大臣に南好雄就任</p> <p>7. 25 東海道幹線自動車国道建設法公布</p> <p>9. 7 箱根ロープウェイ早雲山～桃源台間全通</p> <p>9. 10 NHK、日本テレビ、ラジオ東京、朝日放送、読売テレビはカラーテレビ本放送開始</p> <p>10. 12 社会党委員長浅沼稻次郎刺殺される</p> <p>12. 4 都営地下鉄1号線押上～浅草橋間開通(京成電鉄と相互乗入れ)</p> <p>12. 8 第2次池田勇人内閣成立 " 群馬バス社長小暮武太夫運輸大臣に就任</p> <p>12. 20 新道路交通法施行</p>
<p>昭和36年</p> <p>2. 1 砧線砧停留場を「砧本村」と改称</p> <p>2. 20 伊東下田電気鉄道は伊豆急行と商号変更</p> <p>2. 25 スリーハンドレッドクラブ設立 資本金7,980万円</p> <p>3. 1 東急エージェンシー設立 資本金5,000万円</p> <p>3. 31 富士航空をさん下に収める 資本金1億8,000万円</p> <p>4. 1 恩田第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>4. 15 乗合バス ワンマンカー運転開始(大森駅～馬込間循環)</p> <p>4. 18 マスコット「トップちゃん」が決まる</p> <p>4. 24 横浜ホテルは横浜東急ホテルと商号変更</p> <p>5. 30 第78回定時株主総会 監査役小滝頭忠辞任、監査役に星野直樹就任 株主配当年12%</p> <p>6. 1 日本糖蜜飼料は横浜協同埠頭を合併し東急エビス産業と商号変更</p> <p>6. 10 荏田第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>7. 1 東急不動産 上目黒東急ビル竣工 " 渋谷～長野間長距離バス運転開始</p> <p>7. 21 御堂興業設立 資本金1億円</p>	 <p>1. 20 米国大統領にケネディ就任</p> <p>1. 23 横浜民衆駅開業</p> <p>2. 8 営団地下鉄荻窪線新宿～新中野間、中野坂上～中野富士見町間開通</p> <p>3. 28 営団地下鉄日比谷線南千住～仲御徒町間開通</p> <p>4. 12 ソ連 人工衛星船の打上げに成功</p> <p>6. 1 名古屋鉄道はパノラマカー運転開始</p> <p>7. 18 運輸大臣に斎藤昇就任</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>7. 一 柿ノ木坂無人変電所送電開始</p> <p>8. 1 参与室, 中目黒改良工事用地班設置 調査室, 弘報室廃止 " 東急不動産 自由ヶ丘東急ビル竣工</p> <p>8. 21 東亜石油株式をアラビア石油株式と交換売却</p> <p>9. 14 東横線都立大学駅改良工事竣工</p> <p>9. 16 専務沢勝蔵死去</p> <p>10. 1 資本金45億円を70億円に増額 " 東横線急行および日吉折返し全列車平日朝間のみ5両編成, 普通本線全列車4両編成運転実施</p> <p>10. 2 浅上航運倉庫ならびに東急エビス産業株式を東証第2部に上場</p> <p>10. 11 城南交通設立 資本金2,000万円</p> <p>10. 一 全鉄道電話ダイヤル式に移行(自動化)</p> <p>11. 15 東急不動産 麻布東急アパート竣工</p> <p>11. 28 第79回定時株主総会 株主配当年12%</p> <p>12. 1 ホテル琉球をさん下に収める 資本金5,548万2,000円</p> <p>12. 10 伊豆急行 伊東~伊豆急下田間開通 " 五島育英会 武蔵工業大学付属原子力研究所竣工</p> <p>12. 12 東横線元住吉駅改良工事竣工</p> <p>12. 20 東急綱島サービス・ステーション開業</p>	<p>8. 23 新京成電鉄 前原~新津田沼間開通により松戸~京成津田沼間全通</p> <p>9. 16 台風16号近畿中心に猛威を振るう</p> <p>9. 25 日本航空, 東京~札幌間にコンベア880型ジェット機の使用開始</p> <p>10. 2 東京・大阪・名古屋3証券取引所に株式市場第2部を新設発足</p> <p>11. 1 営団地下鉄荻窪線新中野~南阿佐ヶ谷間開通 " 年金福祉事業団法公布施行</p> <p>11. 7 踏切道改良促進法公布</p> <p>11. 17 南海電気鉄道は和歌山電気軌道を合併</p> <p>12. 1 日本・米国など5か国は, 初めて中国代表権を重要事項とする決議案を国連総会に提出</p>
<p>昭和37年</p> <p>1. 27 東横線にオール・ステンレスカー7000形車両就役</p> <p>1. 31 草軽電気鉄道は鉄道業を廃止</p> <p>2. 5 東急くろがね工業倒産 会社更生法適用申請(2.3)</p> <p>2. 13 ホテル琉球は琉球東急ホテルと商号変更</p> <p>2. 28 監査役大塚秀雄辞任</p> <p>2. 一 駒沢野球場を東京都に返還</p> <p>3. 20 野川第1土地区画整理事業完成</p> <p>3. 27 横浜東急ホテル開業</p> <p>4. 1 提案審査委員会設置 " 定年1年延長 56歳となる " 乗合バス日吉営業所新設</p> <p>4. 14 恩田第2および下谷本・西八朔土地区画整理組合設立認可</p> <p>4. 27 東急くろがね工業会社更生手続開始決定</p> <p>5. 29 第80回定時株主総会 取締役木下久雄, 八木勇平辞任 常務に大塚秀雄就任 株主配当年10%</p> <p>6. 1 東急国際ホテルは白馬観光開発から白馬東急ホテルを譲受ける</p>	<p>1. 23 営団地下鉄荻窪線南阿佐ヶ谷~荻窪間開通により新宿~荻窪間全通</p> <p>2. 1 東京都の人口1,000万人突破</p> <p>3. 23 営団地下鉄荻窪分岐線線中野富士見町~方南町間開通により中野坂上~方南町間全通</p> <p>3. 一 名古屋鉄道 犬山遊園~動物園間モノレール開業</p> <p>3. 29 阪神高速道路公団法公布</p> <p>3. 30 日本道路公団 箱根新道開通</p> <p>5. 3 常磐線三河島駅構内で2重衝突(死者160人, 重軽傷者296人)</p> <p>5. 31 都営地下鉄1号線浅草橋~東日本橋間開通 " 営団地下鉄日比谷線北千住~南千住間, 仲御徒町~人形町間開通</p> <p>6. 10 北陸本線北陸トンネル開通(日本最長)</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 16 宮前・恩田両都市建設事務所設置</p> <p>7. 13 有馬第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>7. 18 取締役綾部健太郎、運輸大臣に就任 取締役を辞任</p> <p>8. 22 第1回東急事業団親睦野球大会開催</p> <p>9. 1 東急航空設立 東急観光から航空・船舶部門を譲受ける 資本金4,500万円</p> <p>9. 18 大井町線延長線溝ノ口～長津田間分割工事施行認可申請(昭38.5.15認可)</p> <p>10. 2 東栄マリン設立 資本金4,000万円</p> <p>10. 5 御堂興業は大阪会館と商号変更</p> <p>10. 8 東急国際ホテルは下田東急ホテルを開業</p> <p>10. 15 東横線普通列車の一部5両編成運転実施</p> <p>10. 20 乗合バス高津営業所新設</p> <p>11. 1 運賃改訂 鉄道賃率1キロ当たり2円37銭</p> <p>11. 16 東急リネン・サプライ設立 資本金3,000万円</p> <p>11. 28 第81回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>12. 13 東横線田園調布駅に自動印刷券売機設置</p> <p>12. 25 土橋土地区画整理組合設立認可</p> <p>12. 31 東急インターナショナルをさん下に収める 資本金300万円</p>	<p>8. 1 東北急行バス 東京～山形, 東京～仙台, 東京～会津若松間の長距離路線開業</p> <p>8. 30 日本航空機製造 YS-11型機の初飛行成功</p> <p>9. 26 日本道路公団 若戸大橋開通</p> <p>9. 30 都営地下鉄1号線東日本橋～人形町間開通</p>
<p>昭和38年</p> <p>1. 16 東急日産販売設立 資本金2,500万円</p> <p>1. 30 五島育英会 武蔵工業大学原子力研究所の原子炉が点火</p> <p>2. 1 東急航空はジャパンセンターを合併</p> <p>3. 15 元石川第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>3. 25 社長五島昇 日本陸上競技連盟副会長に就任</p> <p>3. 31 東海産業をさん下に収める 資本金270万円</p> <p>4. 1 目蒲線に車内警報装置設置</p> <p>4. — I T Vを渋谷駅で使用開始</p> <p>5. 10 吉浜開発は箱根ターンパイクと商号変更</p> <p>5. 25 伊香保ケーブル鉄道をさん下に収める 資本金1億円(同社は昭42.8.1群馬バスに合併)</p> <p>5. 29 第82回定時株主総会 専務に松田令輔 取締役に赤木幹一 松下英磨就任 株主配当年10%</p> <p>6. 1 関東民生産業は東急建設を合併し、東急建設と商号変更 資本金3億450万円となる</p> <p>6. 14 バス運賃改訂 神奈川県内で川崎市営バスと競合する特定区域内の賃率1キロ当たり3円90銭、東横線以南20円均一制、東横線以北初乗り1区20円 特区15円、1区20円、1区増すごとに10円加算</p> <p>6. 15 恩田3土地区画整理組合設立認可</p> <p>6. 16 山内都市建設事務所設置</p>	<p>1. 18 蒲田民衆駅完成</p> <p>2. 10 北九州市発足(福岡県戸畑・小倉・門司・若松・八幡の5市が合併)</p> <p>2. 28 都営地下鉄1号線人形町～東銀座間開通 ” 営団地下鉄日比谷線人形町～東銀座間開通</p> <p>4. 8 近畿日本鉄道 鉄鹿線鈴鹿市～平田町間開通</p> <p>4. 16 京阪電気鉄道 京阪線淀屋橋延長線天満橋～淀屋橋間開通</p> <p>4. 25 大阪駅前にわが国最初の横断歩道橋完成</p> <p>5. 20 国鉄総裁に石田礼助就任</p> <p>6. 5 関西電力、黒部川第4発電所完成</p> <p>6. 17 京阪神急行電鉄 京都本線大宮～河原町間開通</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 20 東京ヒルトンホテル開業</p> <p>7. 7 東急観光 今井浜東急ホテルを開業</p> <p>7. 15 I B Mのパンチ・カード・システム導入、事務の機械化推進</p> <p>7. 18 監査役賀屋興宣辞任</p> <p>7. 22 伊豆急スポーツセンター（伊豆急行子会社）は稲取ゴルフ場開場</p> <p>8. 1 ニュートウキューモーターズ(昭和25.11.20設立)は、東急国際ホテルを合併して東急国際ホテルと商号変更 資本金4億円となる</p> <p>8. 24 伊豆開発興業は東急興産と商号変更</p> <p>9. 1 東急建設 東証第2部に上場</p> <p>9. 14 市ヶ尾第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>10. 1 東京通運は厚木通運を合併 資本金1億4,000万円となる</p> <p>10. 11 多摩川西南新都市を多摩田園都市と改称 " 大井町線を田園都市線と改称 田園都市線延長線溝ノ口～長津田間建設工事着手 起工式を川崎市有馬地区鷺沼駅予定地において挙行</p> <p>10. 16 資本金70億円を105億円に増額</p> <p>10. 19 東急不動産 堂ヶ島レステル開業</p> <p>11. 1 東横線 平日朝間日吉折返し全列車6両編成運転実施</p> <p>11. 26 東横線綱島駅改良工事竣工(昭37.3.1着手)</p> <p>11. 29 第83回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>12. 1 田園都市線、池上線に車内警報装置設置</p>	<p>8. 29 京阪神急行電鉄 千里山線千里山～南千里山間開通</p> <p>9. 29 信越本線のアパート式区間廃止</p> <p>10. 1 近畿日本鉄道は奈良鉄道を合併</p> <p>11. 1 新千円札発行</p> <p>11. 9 東海道線鶴見駅付近で二重衝突(死者161人、重軽傷者120人)</p> <p>11. 22 米国大統領ケネディ暗殺され、副大統領ジョンソン、大統領に就任</p> <p>11. 23 初の日米間テレビ宇宙中継受信実験成功</p> <p>12. 9 第3次池田勇人内閣成立</p> <p>12. 21 都営地下鉄1号線東銀座～新橋間開通</p>
<p>昭和39年</p> <p>1. 23 斜里バスをさん下に収める 資本金2,600万円</p> <p>2. 1 衛星都市建設部は田園都市建設部と改称</p> <p>3. 23 祐天寺駅ビル竣工(地下1階、地上3階)</p> <p>4. 1 東横線急行列車6両編成、本線普通列車、朝間のみ全列車5両編成運転実施 " 田園都市線平日朝間大井町～二子玉川間折返し列車5運用を、4両編成運転実施 " 寮・社宅循環制度、住宅預金制度発足</p> <p>4. 10 地下鉄6号線(泉岳寺～桐ヶ谷間)地方鉄道敷設免許申請(同年12.18免許、昭43.9.24免許状返納)</p> <p>4. 15 日本国内航空設立 富士航空、日東航空、北日本航空が合併 資本金34億8,000万円</p> <p>4. 16 東横線渋谷駅改良工事竣工(4線7面ホーム・中央改札口新設)</p> <p>4. 17 おんたけ交通の全株式を名古屋鉄道に譲渡(50万株)</p>	<p>2. 1 三重電気鉄道設立</p> <p>2. 23 国鉄、座席予約装置MARS101使用開始</p> <p>2. 29 日本鉄道建設公団法公布</p> <p>3. 25 営団地下鉄日比谷線霞ヶ関～恵比寿間開通</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>4. 22 東急グループ ニューヨーク世界博に参加 " 玉川線輸送力増強対策として、新造車両デハ151・152, (4. 24) 153・154の4両就役</p> <p>5. 23 空港産業は羽田東急ホテルと商号変更</p> <p>5. 26 本社分室を駅前渋谷ビル(渋谷松竹映画館あと)内に設置</p> <p>5. 29 第84回定時株主総会 取締役小山亮, 田中徳次郎 監査役星野直樹辞任 取締役に星野直樹, 唐沢俊樹, 根津嘉一郎, 山本宗二, 浜章一郎, 山本忍, 山田秀介, 監査役に田中徳次郎それぞれ就任 株主配当年10%</p> <p>5. 30 東急国際ホテルは横浜東急ホテルより軽井沢東急ホテルを譲受ける</p> <p>6. 1 東急車輛製造は東邦特殊自動車工業を合併 資本金14億円となる</p> <p>6. 16 総務部を庶務部と変更</p> <p>6. 25 下谷本第2土地区画整理組合設立認可</p> <p>6. 一 田園都市線土野毛～高津間改良工事着手</p> <p>7. 1 田園都市線折返し列車全運用を4両編成運転実施 " 大和都市建設事務所設置</p> <p>7. 3 城南交通は渋谷サービスと商号変更</p> <p>7. 21 地下鉄2号線乗入れに伴う中目黒駅改良工事竣工(昭38.2.19着工)</p> <p>8. 22 羽田東急ホテル開業</p> <p>8. 29 当社・営団地下鉄・東武鉄道3社相互乗入れによる日吉～北千住間直通運転実施</p> <p>9. 7 宮崎土地区画整理組合設立認可</p> <p>9. 21 田園都市線旗の台～北千住間立体交差工事竣工</p> <p>9. 30 副社長大川博辞任, 東映は東急グループより分離 " 更生計画に基づき, 東急くろがね工業の第2会社として東急機関工業設立 資本金2億円</p> <p>10. 1 東急興産は東急くろがね工業を合併 " 駒沢営業所(バス)新設</p> <p>11. 1 日本貨物急送は東北急行運送を合併 " 渋谷サービスは東急交通を合併 資本金5,000万円となる</p> <p>11. 21 東急真鶴ドライブイン開業</p> <p>11. 25 田園調布1号踏切道立体交差工事竣工</p> <p>11. 27 第85回定時株主総会 監査役に賀屋興宣, 綾部健太郎就任, 株主配当年10%</p> <p>12. 3 梶ヶ谷第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>12. 15 白木金属工業をさん下に収める 資本金3億円</p>	<p>4. 28 日本OECDに加盟(経済協力開発機構)</p> <p>4. 29 京王帝都電鉄 高幡不動～多摩動物公園間開通</p> <p>5. 19 根岸線桜木町～磯子間開通</p> <p>5. 20 新宿民衆駅完成</p> <p>6. 16 新潟を中心に大地震 昭和石油の原油タンク爆発</p> <p>7. 18 運輸大臣に松浦周太郎就任</p> <p>7. 22 営団地下鉄日比谷線恵比寿～中目黒間開通</p> <p>7. 25 山陽本線全線電化完成</p> <p>8. 29 営団地下鉄日比谷線東銀座～霞ヶ関間開通により北千住～中目黒間全通</p> <p>9. 17 東京モノレール 浜松町～羽田空港間開通</p> <p>10. 1 東海道新幹線東京～新大阪間開通 " 都営地下鉄1号線新橋～大門間開通 " 近畿日本鉄道は信貴生駒電鉄を合併</p> <p>10. 10 第18回東京オリンピック開催(24日まで)</p> <p>11. 9 第1次佐藤栄作内閣成立</p> <p>12. 1 駒沢公園開園</p> <p>12. 12 都営地下鉄1号線東銀座～新橋間開通</p> <p>12. 22 渋谷再開発促進協議会発足(昭47.5.31渋谷再開発協会と改称)</p> <p>12. 23 営団地下鉄東西線高田馬場～九段下間開通</p>
<p>昭和40年</p> <p>1. 16 開発室を設置</p> <p>1. 22 東急病院第3期増築工事竣工</p>	

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>3. 25 恩田第1土地区画整理事業完成</p> <p>3. 29 東急鯉バス設立 資本金4,000万円</p> <p>4. 1 田園都市線本線列車4両編成運転実施</p> <p>4. 24 東急病院は総合病院の名称使用を承認される</p> <p>5. 8 東急のれん街設立 資本金500万円(6.13開業, 昭46.6.1フードマートに合併)</p> <p>5. 28 第86回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>6. 1 事業部制を実施(鉄道・自動車・開発の各事業本部を新設,昭41.4.1建設事業本部設置)</p> <p>6. 10 網走交通(資本金1,600万円)・北紋バス(資本金930万円)をさん下に収める</p> <p>6. 12 東急不動産 渋谷東急ビル竣工</p> <p>6. 14 経営管理委員会設置</p> <p>7. 6 大和市北部第1土地区画整理組合設立認可 〃 東急不動産 小川第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>7. 23 箱根ターンパイク開業</p> <p>8. 1 箱根ターンパイクは大観山スナック開業</p> <p>8. 21 本社分室 渋谷区道玄坂1-2-2 渋谷東急ビルに移転</p> <p>9. 25 恩田第4土地区画整理組合設立認可</p> <p>11. 29 第87回定時株主総会 定款改正 株式書換代理人を設置(代理人を三井信託銀行に定め11.30より株式事務を委託)株主配当10%</p> <p>11. 30 元住吉教習所新舎屋竣工(昭43年10月1日大岡山教習所廃止)</p> <p>12. 1 鷺沼サービスセンター開設</p>	<p>3. 8 中央本線新笹子トンネル貫通</p> <p>3. 10 気象庁 富士山頂気象レーダー運用を開始</p> <p>3. 29 国鉄 丸子町～上田間にバス路線開業</p> <p>4. 1 近畿日本鉄道は三重電気鉄道を合併</p> <p>5. 5 こどもの国開園</p> <p>5. 21 三菱・富士・日本興業銀行など関係銀行団,山一証券の再建措置方針を決定</p> <p>6. 1 厚生年金法一部改正(1万円年金) 〃 鹿島参宮鉄道は常総筑波鉄道を合併</p> <p>6. 3 運輸大臣に中村寅太就任</p> <p>10. 1 国勢調査実施 総人口9,827万4,961人</p> <p>10. 2 国鉄 電子計算機による指定券発売窓口開設(みどりの窓口)</p> <p>10. 21 東京教育大学教授朝永振一郎 ノーベル物理学賞受賞</p> <p>11. 1 東海道新幹線全線3時間10分運転開始</p> <p>12. 9 第3京浜道路開通</p> <p>12. 15 横須賀線15両運転開始</p> <p>12. 17 国鉄 武蔵野線工事着手</p> <p>12. 28 日米民間航空協定改定の交換公文など調印(ニューヨーク経由,世界一周線の権利取得)</p>
<p>昭和41年</p> <p>1. 1 東光ストアをさん下に収める 資本金1億円</p> <p>1. 16 バス運賃改訂 賃率廃止 1区20円 1区増すごとに10円加算 川崎市内東横線以南は20円均一</p> <p>1. 20 自由ヶ丘, 緑ヶ丘, 雪ヶ谷大塚, 久ヶ原, 鶯ノ木溝ノ口, 宮ノ坂7駅名の「ヶ」, 「ノ」を「が」, 「の」に変更 〃 運賃改訂 鉄道対キロ区間制(1キロ～6キロ20円4キロ増ごとに10円加算)軌道20円均一制</p> <p>1. 21 恩田第4土地区画整理事業起工</p> <p>2. 1 業務執行規程を制定実施</p> <p>2. 4 越後交通の全所有株式を新星企業に譲渡</p> <p>2. 22 東調布慎独寮竣工</p> <p>3. 15 乗合バス目黒営業所改築工事竣工 〃 田園調布駅の東横・目蒲線間連絡地下道竣工</p>	<p>2. 4 全日本空輸ボーイング727型旅客機,東京湾に墜落(133人死亡)</p> <p>3. 4 カナダ太平洋航空DC8型旅客機,羽田で着陸失敗炎上(64人死亡)</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>3. 18 田園都市線上野毛～高津間改良工事竣工により、二子玉川園・二子新地前両駅は高架駅となる " 田園都市線二子専用橋梁竣工</p> <p>3. 19 田園都市線二子玉川園駅折返し列車を、二子新地前駅まで延長</p> <p>3. 24 田園調布駅付近の環状8号道路と東横・目蒲線との立体交差工事竣工（昭39.5.8着工）</p> <p>3. 27 自由が丘検車区を鷺沼に移転し鷺沼検車区と改称</p> <p>4. 1 田園都市線延長線溝の口～長津田間開通 " 多摩田園都市内路線バス編成替え 新設路線長津田～渋谷駅間ほか13路線</p> <p>4. 15 砧ゴルフ場閉鎖（東京都に返還）</p> <p>4. 18 乗合バス新羽営業所新設 " 電車の塗色をグリーンに統一 " バス運賃改訂 横浜市内30円均一（日吉～高田線を除く）</p> <p>5. 30 草軽電気鉄道は草軽交通と商号変更 " 第88回定時株主総会 取締役増田誠一就任，専務柏村毅専務職を辞任，専務に田中勇，馬淵寅雄就任 株主配当年10%</p> <p>6. 1 「技師長」を設置</p> <p>8. 1 東急文化会館は上野東急を合併</p> <p>8. 10 渋谷開発設立 資本金20億円</p> <p>8. 20 青葉台サービスセンター開業</p> <p>9. 16 建設部，海外事業室設置 建設事業本部を廃止</p> <p>9. 17 長津田～中央林間間分割工事施行認可申請（昭42.4.1認可）</p> <p>9. 一 乗合バス全車両ワンマンカーとなる</p> <p>10. 12 中目黒変電所竣工</p> <p>11. 1 新日本興業は東急文化会館を合併</p> <p>11. 29 第89回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>12. 1 箱根ターンパイクは東急ターンパイクと商号変更</p> <p>12. 7 有馬第1土地区画整理事業完成</p> <p>12. 25 本会社屋第4期増築工事竣工</p> <p>12. 26 東急用賀サービス・ステーション開業</p>	<p>3. 5 国鉄運賃値上げ実施（旅客31.2%，貨物12.3%） " 英国海外航空ボーイング707型旅客機，富士山麓に墜落（124人死亡）</p> <p>3. 16 営団地下鉄東西線中野～高田馬場，九段下～竹橋間開通</p> <p>3. 27 京浜急行電鉄 久里浜延長線野比～津久井浜間開通</p> <p>4. 1 健康保険法一部改正（標準報酬を10万4,000円に引上げ） " メートル法完全実施</p> <p>4. 20 日産自動車・プリンス自動車工業合併</p> <p>4. 23 小田急電鉄モノレール線開通（向が丘遊園～向が丘遊園前間）</p> <p>4. 30 川崎市営無軌条電車運行廃止</p> <p>5. 1 砧ファミリーパーク開園（元砧ゴルフ場）</p> <p>6. 25 国民の祝日改正 敬老の日（9月15日）体育の日（10月10日）を追加</p> <p>7. 1 郵便料金値上げ（葉書7円，封書15円）</p> <p>7. 4 新東京国際空港の建設地が千葉県成田市に決定</p> <p>7. 7 京浜急行電鉄 久里浜延長線津久井浜～三浦海岸間全通</p> <p>8. 1 佐藤栄作改造内閣成立 運輸大臣に荒船清十郎就任</p> <p>10. 1 営団地下鉄東西線竹橋～大手町間開通</p> <p>10. 14 運輸大臣に藤枝泉介就任</p> <p>10. 15 トヨタ自動車工業・日野自動車業務提携</p> <p>11. 13 全日本空輸YS-11型機，松山空港で海上に墜落（50人死亡）</p> <p>11. 14 日・米など13か国 中国代表権問題を重要事項に指定する決議案を国連総会に提出</p> <p>12. 3 運輸大臣に大橋武夫就任</p> <p>12. 9 国民の祝日改正 建国記念日は2月11日に決定</p>
<p>昭和42年</p> <p>1. 8 取締役竹内竹助死去</p> <p>1. 25 西八朔第2土地区画整理組合設立認可</p> <p>2. 4 相模建材工業は東急建材工業と商号変更</p> <p>3. 3 下谷本・西八朔土地区画整理事業完成</p> <p>3. 14 取締役唐沢俊樹死去</p> <p>3. 17 ゴールデンデラックス観光バス7両就役</p>	<p>2. 17 第2次佐藤栄作内閣成立</p> <p>3. 1 京阪神急行電鉄 北千里延長線南千里～北千里間開通により淡路～北千里間全通</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
3. 23 監査役綾部健太郎辞任	
3. 25 上谷本第1土地区画整理組合設立認可	
3. 27 田園都市線にオール・ステンレスカー7200形, 7500形車両就役	
4. 1 東横線渋谷～桜木町間普通列車朝間のみ一部6両編成運転実施	4. 15 東京都知事に美濃部亮吉当選
" 目蒲線目黒～田園調布間折返し全列車4両編成運転実施	
4. 5 東急不動産 下市ヶ尾第1土地区画整理組合設立認可	
4. 15 東急病院第4期増築工事竣工	
4. 28 こどもの国線長津田～こどもの国間3.4km 開通 運賃大人30円, 小児15円均一制 (特殊法人こどもの国協会より建設・運営を受託)	
5. 4 元石川第2土地区画整理組合, 成合土地区画整理組合設立認可	
5. 8 東京ヒルトンホテルはホテル・ジャパン東急と商号変更	
5. 24 恩田第2土地区画整理事業完成	
5. 29 第90回定時株主総会 株主配当年10%	
5. 30 ホテル文珠荘は鹿教湯温泉ホテルと商号変更	
6. 19 東急くろがね自動車販売解散	6. 5 中東戦争勃発 (アラブ連合, イスラエルに宣戦布告)
6. 30 田園都市線長津田跨線道路橋竣工	6. 6 資本取引自由化基本方針が決定
	6. ー このころ, 自動車保有台数1,000万台突破 (レンタカーの利用盛んとなる)
	6. 28 私鉄経営者協会は日本民営鉄道協会と改称
7. 15 藤が丘ショッピング・センター開業	
" 住宅資金貸付制度として「マイホームの会」発足	
7. 17 田園都市線梶が谷～長津田間の朝間運転間隔13分を9分45秒に短縮	
7. 22 青葉台ショッピング・センター開業	
8. 1 東急建設 東証第1部上場	8. 8 新宿駅構内で米軍タンク車と貨車衝突し炎上
8. 15 東急急行バス設立 資本金5,000万円 (当社ほか11社が出資)	8. 18 健康保険法臨時特例に関する法律成立 (薬代の一部負担など)
8. 22 目蒲線洗足駅付近の立体交差工事竣工 洗足駅は地下駅となる	
9. 16 社史編纂委員会設置 事務局として社史纂事務局設置	9. 14 営団地下鉄東西線大手町～東陽町間開通
9. 29 東横は東急百貨店と商号変更	9. 28 上越線新清水トンネル開通により全線複線電化
9. ー グループ保険制度発足	
10. 1 バス運賃改訂 都内1地帯30円, 2地帯50円	10. 1 京王帝都電鉄 高尾線北野～高尾山口間全通
10. 20 東急マイクロネシャ開発設立 資本金1億8,000万円	10. 20 元首相吉田茂死去 (10.31国葬)
10. 29 蒲田駅改良工事一部完成により目蒲線2線, 池上線1線が高架となる	10. 22 横浜線菊名～新横浜間複線開通
11. 1 東急青葉台サービス・ステーション開業	
" 博多東急ホテル設立 資本金3億円	11. 25 運輸大臣に中曽根康弘就任
" 東急百貨店本店開店 (渋谷栄通りに)	
11. 2 小牧ドライブイン設立 資本金4,000万円	
11. 27 渋谷サービスは東急サービスと商号変更	

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>11. 29 第91回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>11. 30 鷺沼東急アパート竣工（以後、多摩田園都市内に相次いでドエル、ビレジ、プラザを建設）</p> <p>12. 1 新日本興業 新宿ミラノボウル竣工</p> <p>12. 12 高速通勤バス運行申請（12.18免許）</p> <p>12. 16 電力司令所設置（奥沢変電所内）</p> <p>12. 25 高速3号線経由高速通勤バス（桜新町～東京駅丸の内南口間）運行開始</p> <p>12. 31 東急ゴルフ場は玉川ゴルフコースの営業権を譲受ける（玉川ゴルフコースは解散）</p> <p>12. — 東横線大倉山駅に転落報知機設置（昭47.12までに14駅18か所に設置）</p>	<p>12. 9 都電銀座線廃止</p> <p>12. 11 北大阪急行電鉄設立</p> <p>12. 31 テレビ受信契約数2,000万台を突破</p>
<p>昭和43年</p> <p>2. 5 目黒駅、自由が丘駅で自動券売改札機使用開始</p> <p>3. 1 東急車輛製造は帝国車輛工業を合併</p> <p>3. 21 有馬第2土地区画整理組合設立認可</p> <p>3. 23 東急日産販売の営業部門と日新自動車東京支店営業部門が合併、東新日産と商号変更</p> <p>3. 26 恩田第3土地区画整理事業完成</p> <p>4. 1 東横線でATS（自動列車停止装置）使用開始</p> <p>〃 田園都市線長津田～つくし野間（1.2km）開通</p> <p>〃 バス運賃改訂 川崎市内30円均一</p> <p>5. 29 第92回定時株主総会 取締役は黒川明、秋山延郎 江川清次就任 株主配当年10%</p> <p>6. 1 東急ファミリークラブ事務局設置</p> <p>〃 東急ホテルチェーン設立 資本金4,000万円</p> <p>〃 白浜ビーチゴルフ倶楽部（6.10白浜リゾート開発と商号変更）をさん下に収める 資本金8億円</p> <p>6. 6 小台土地区画整理組合設立認可</p> <p>6. 9 池上線長原駅付近の立体交差工事一部完成により上・下線とも地下線に切替え</p> <p>6. 21 高速2号線経由高速通勤バス運行開始（等々力～東京駅丸の内南口間）</p> <p>7. 3 市が尾第1土地区画整理事業完成</p> <p>9. 1 電算室設置</p> <p>9. 25 下谷本第2土地区画整理事業完成</p> <p>9. 27 取締役赤川稔辞任</p> <p>10. 1 田園都市線全線4両編成運転実施 通勤快速列車2運用運転開始</p> <p>〃 東急向が丘サービス・ステーション開業</p> <p>〃 東急ホテルチェーンは東急国際ホテルの経営を受託</p> <p>〃 東急不動産 小川第2土地区画整理組合設立認可</p> <p>10. 2 集中計算センター設置 バス全営業所収入金の一括処理体制整う</p> <p>10. 24 荏田第1土地区画整理事業完成</p>	<p>2. 4 横浜線新横浜～小机間複線開通</p> <p>2. 21 宮崎県えびの大地震</p> <p>3. 12 横浜線大口～菊名間複線開通</p> <p>4. 19 西武百貨店渋谷店開店</p> <p>4. 23 霞が関ビル（36階建）完成</p> <p>4. 25 東名高速道路東京～厚木間、富士～静岡間、岡崎～小牧間開通</p> <p>5. 16 十勝沖地震</p> <p>6. 21 都営地下鉄大門～泉岳寺間開通により、京浜急行電鉄・都営地下鉄・京成電鉄相互乗入れ開始</p> <p>8. 5 東北本線全線複線化</p> <p>8. 20 ソ連軍 チェコスロバキヤへ侵入、全土占領</p> <p>10. 12 メキシコオリンピック大会開催</p> <p>10. 23 明治百年記念式典挙行</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>10. 29 蒲田駅改良工事竣工（4線5ホーム高架駅）</p> <p>10. 30 東急不動産 蒲田東急ビル竣工</p> <p>11. 1 池上線本線の運転所要時分25分を22分30秒に短縮</p> <p>11. 29 第93回定時株主総会 株主配当年10% " 東急日産販売は東急企業と商号変更</p> <p>11. 30 長原駅付近立体交差工事竣工（昭40.12.1着手）</p> <p>12. 6 東急海外ホテル設立 資本金4,000万円</p> <p>12. 17 白浜リゾート開発は東急土地開発と商号変更</p> <p>12. 20 日東タイヤ株式を三菱商事に譲渡（608万9,400株）</p>	<p>11. 25 都営地下鉄1号線泉岳寺～西馬込間開通</p> <p>11. 30 運輸大臣に原田憲就任</p> <p>12. 10 川端康成 ノーベル文学賞受賞</p> <p>12. 20 中央高速道路八王子～相模湖間開通</p> <p>12. 27 都営地下鉄6号線巣鴨～高島平間開通</p>
<p>昭和44年</p> <p>2. 1 東急エビス産業 東証第1部上場</p> <p>2. 24 東急不動産 小川第1土地区画整理事業完成（つくし野）</p> <p>3. 26 新日本興業は東急レクリエーションと商号変更</p> <p>3. 28 元石川第1土地区画整理事業完成</p> <p>3. 31 新世界は東急グループより分離</p> <p>4. 1 赤坂東急ホテル設立 資本金1,250万円 " 羽田東急ホテルは羽田プリンスホテルを合併 " 東横線急行列車朝間運転間隔18分を9分に短縮 " 田園都市線朝間通勤快速列車2運用を4運用に増強</p> <p>4. 20 上田丸子電鉄は丸子線を廃止</p> <p>5. 6 乗合バス不動前営業所を廃止 東名急行バス営業所に賃貸</p> <p>5. 7 乗合バス大橋営業所開設</p> <p>5. 10 玉川線渋谷～二子玉川間、砧線二子玉川園～砧本村間営業廃止 三軒茶屋～下高井戸間を世田谷線と呼称</p> <p>5. 11 世田谷線 玉電若林、玉電山下、玉電松原の各停留場を「若林」、「山下」、「松原」と改称 " 新玉川線第1期工事着手</p> <p>5. 15 博多東急ホテル開業</p> <p>5. 29 第94回定時株主総会 副社長に田中勇、吉次利二就任 株主配当年10%</p> <p>5. 31 上田丸子電鉄は上田交通と商号変更</p> <p>6. 10 東名急行バス開業（当社ほか11社出資）</p> <p>6. 18 神木土地区画整理組合設立認可</p> <p>7. 15 東急不動産 北山田第1土地区画整理組合設立認可</p> <p>7. 15 東横線桜木町駅に自動放送装置設備 池上線五反田（45.6.6）、目蒲線目黒（46.3.15）</p> <p>8. 1 臨時万博モノレール運輸事務所設置</p>	<p>1. 18 東京大学安田講堂を一部学生が不法占拠、一時騒乱状態となる</p> <p>1. 20 ニクソン、37代米国大統領就任</p> <p>2. 1 東名高速道路静岡～岡崎間開通</p> <p>3. 1 国鉄東京管理局は「東京西」、「東京南」、「東京北」の3管理局に分割新発足</p> <p>3. 17 中央高速道路相模湖～河口湖間開通</p> <p>3. 29 営団地下鉄東西線東陽町～西船橋間開通により中野～西船橋間全通</p> <p>3. 31 東名高速道路富士～御殿場間、厚木～大井松田間開通</p> <p>5. 10 国鉄 1等、2等区分を廃止しグリーン車登場</p> <p>5. 26 東名高速道路大井松田～御殿場間開通により東京～小牧間全通</p> <p>5. 27 国鉄総裁に磯崎徹就任</p> <p>7. 11 房総西線千葉～千倉間電化</p> <p>7. 16 米国アポロ11号 人類初の月面着陸に成功</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>8. 1 目蒲線 A T S 使用開始</p> <p>8. 8 東横線中目黒～都立大学間立体交差工事一部完成により下り線高架に切替え(昭45.7上り線切替え)</p> <p>8. 11 赤坂東急ホテルは東急ホテルチェーンに経営を委託</p> <p>9. 13 赤坂東急ホテル開業</p> <p>9. 18 東急不動産 下市ケ尾第1土地区画整理事業完成</p> <p>10. 1 田園都市線通勤快速列車1運用を増加し5運用運転実施</p> <p>〃 田園都市線 A T S 使用開始</p> <p>10. 11 本社分室増設 渋谷区道玄坂1—3—2 渋谷三菱ビル内</p> <p>10. 31 定山溪鉄道は鉄道事業を廃止</p> <p>11. 1 東急興産川越製作所は伊勢機材工業を合併, 伊勢機材工業と商号変更 資本金 3,000 万円</p> <p>11. 4 深夜バス(銀座～大森間)運行開始</p> <p>11. 11 東急マイクロネシア開発 グラム東急ホテルを開業</p> <p>11. 28 第95回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>11. 30 東横線にオール・ステンレスカー8000形就役</p> <p>12. 20 草軽交通は草津東急ホテルを開業</p> <p>12. 29 東急宮前サービス・ステーション開業</p>	<p>10. 14 西武鉄道秩父線吾野～西武秩父間開通</p> <p>12. 15 南武線川崎～登戸間快速電車運転開始</p> <p>12. 20 営団地下鉄千代田線大手町～北千住間開通</p>
<p>昭和45年</p> <p>1. 1 本社住居表示実施 渋谷区桜丘町26—20</p> <p>1. 27 宇佐美洵(元日銀総裁)相談役に就任</p> <p>2. 16 東急病院第5期増築工事竣工</p> <p>3. 1 池上線 A T S 使用開始(鉄道全線設置完了)</p> <p>3. 6 梶ヶ谷第1土地区画整理事業完成</p> <p>3. 15 日本万国博に参加 会場内のモノレール運転開始</p> <p>3. 20 コンピュータ H I T A C - 8400 を設置</p> <p>3. 23 西八朔第2土地区画整理事業完成</p> <p>3. 25 大和市北部第1土地区画整理事業完成</p> <p>3. 27 神奈川トヨタディーゼル設立(昭45.3.31 トヨタカローラ東急と商号変更)</p> <p>3. 31 河口湖汽船の全所有株式を富士急行に譲渡</p> <p>4. 1 東急ファミリークラブの運営を東急エージェンシーに委託</p> <p>〃 トヨタカローラ東急は, 横浜トヨタディーゼルの営業権を譲受ける</p> <p>〃 東横線急行列車5運用の8両編成運転実施</p> <p>5. 1 白木金属工業 東証第2部上場</p> <p>5. 17 旧玉川線渋谷駅にバスターミナル設置</p> <p>5. 29 第96回定時株主総会 取締役松下英磨, 増田誠一 蛭名忠雄, 赤木幹一, 秋山延郎, 柏村毅辞任, 取締役松尾英生, 渡辺秀雄, 山戸松男, 酒井辛一 蛭名忠武, 柳田盈文, 八木勇平, 監査役に柏村毅それぞれ就任</p> <p>6. 1 鉄道・運輸交通・開発・田園都市・製造販売・流通産業・観光サービス・文化の8事業部制となるプロジェクトチーム新設</p>	<p>1. 14 第3次佐藤栄作内閣成立 運輸大臣に橋本登美三郎就任</p> <p>2. 11 国産初の人工衛星打上げ成功</p> <p>3. 1 近畿日本鉄道鳥羽線五十鈴川～鳥羽間開通</p> <p>3. 6 湘南モノレール大船～西鎌倉間開通</p> <p>3. 11 世界最大の旅客機ボーイング747型1番機, 羽田空港着</p> <p>3. 15 アジア初の日本万国博を大阪で開会</p> <p>3. 15 近畿日本鉄道難波線上本町～難波間開通</p> <p>3. 17 根岸線磯子～洋光台間開通</p> <p>3. 31 日本航空旅客機「よど号」赤軍派学生9人に乗取られる</p> <p>6. 22 日米安全保障条約自動延長</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 27 東急レクリエーション 八戸東急ボウル開業</p> <p>7. 1 横浜東急ホテルは羽田, 赤坂, 東急海外ホテルおよび東急ホテルチェーンを合併し東急ホテルチェーンと商号変更 資本金4億円となる</p> <p>7. 31 東急機関工業の所有株式を日産自動車に売却 (38万6,774株)</p> <p>10. 1 渋谷駅西口ビル竣工 (3階~8階東横店々舗) " 東急百貨店 本店・東横店増築完成</p> <p>11. 27 第97回定時株主総会 株主配当年9%</p> <p>12. 1 資本金105億円を140億円に増額</p> <p>12. 23 東急レクリエーション ナゴヤ新日鉄ボウル開業</p> <p>12. 25 上谷本第2土地区画整理組合設立認可</p>	<p>8. 2 銀座・渋谷・池袋・浅草などで「歩行者天国」の試み実施</p> <p>9. 13 日本万国博閉会</p> <p>11. 20 国連総会「中国招請, 国府追放」を決議</p> <p>11. 25 三島由紀夫割腹自殺</p>
<p>昭和46年</p> <p>1. 25 リージェント・ホテルズ・インターナショナル設立 (香港委託会社・資本金21万ドル)</p> <p>2. 1 従業員持株制度発足</p> <p>2. 20 東横線祐天寺・学芸大学・桜木町各駅自動化駅となる (昭47.6.17 都立大学駅も) " 東横線祐天寺・学芸大学両駅にオープンカウンター開設</p> <p>2. 25 嶮山第1・第2土地区画整理組合設立認可</p> <p>3. 1 東急ホテルチェーンはホテルジャパン東急を設立 資本金6,000万円</p> <p>3. 5 奈良恩田土地区画整理組合設立認可</p> <p>3. 18 上谷本第1土地区画整理事業完成</p> <p>3. 24 成合土地区画整理事業完成</p> <p>3. 31 東急コンクリート工業は生コンクリート部門を日本セメントに譲渡</p> <p>4. 1 資本金140億円を141億4,000円に増額 " 東急興産は東急企業を合併 " 東急国際ホテルは東急ホテルチェーン, ホテル・ジャパン東急を合併し, 東急ホテルチェーンと商号変更 " 田園都市線快速列車5運用を7運用に増加し, 運転間隔16分を10分に短縮 " サービス・ステーション, ドライブインの給油業務を電算化</p> <p>4. 3 東急ホテルチェーンは東京ヒルトンホテルの営業権をホテル・ジャパン東急に賃貸</p> <p>4. 16 情報室設置, 海外事業室廃止</p> <p>4. 20 ニッポンレンタカー東名設立 資本金3,000万円</p> <p>4. 24 東光ストア 調布ショッピングセンター開業</p> <p>5. 15 日本国内航空は東亜航空と合併 東亜国内航空として新発足 資本金95億2,500万円</p> <p>5. 19 東横線に8000形冷房車就役</p> <p>5. 28 第98回定時株主総会 株主配当年9%</p>	<p>3. 20 営団地下鉄千代田線大手町~霞ヶ関間開通</p> <p>3. 29 名古屋市営地下鉄金山~名古屋港間開通</p> <p>4. 1 京王帝都電鉄相模原線のうち, 京王多摩川~京王よみうりランド間開通</p> <p>4. 12 東京都知事に美濃部亮吉再選</p> <p>4. 20 営団地下鉄千代田線綾瀬~北千住間開通</p> <p>4. 26 山手線全編成10両となる</p> <p>4. 29 京浜急行電鉄・京成電鉄・東京都交通局は三浦~成田間に特急列車運転開始 (ただし休日のみ)</p> <p>5. 31 民営鉄道協会会長に小田急電鉄会長安藤極六就任</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>6. 1 交通事業部、開発事業部、田園都市事業部ならびに交通事業管理部・開発事業管理部・観光サービス事業管理部・流通事業管理部・製造事業管理部・文化事業管理部の6事業管理部制実施</p> <p>6. 30 渋谷～長野駅前間長距離バス路線廃止</p> <p>7. 3 東急新羽サービス・ステーション開業</p> <p>7. 5 上谷本第3土地区画整理組合設立認可</p> <p>7. 16 名称審査委員会発足</p> <p>7. 17 恩田第4土地区画整理事業完成</p> <p>7. 28 高村造園をさん下に収める 資本金400万円</p> <p>10. 1 北海道・上野幌開発共同企業体設立（総事業費47億6,000万円）</p> <p>〃 東急興産は東海産業を合併 資本金46億270万円となる</p> <p>10. 7 専務山本宗二死去（10.14 合同社葬を築地西本願寺にて執行）</p> <p>10. 16 平塚都市建設事務所設置</p> <p>〃 創立50周年記念行事推進委員会設置</p> <p>10. 29 東急ホテルチェーンはソウル東急ホテル開業</p> <p>11. 27 東光ストア 鎌倉東光ショッピングセンター開業</p> <p>11. 29 第99回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>12. 1 東急エビス産業は菱和飼料・日本農産工業と合併し解散</p> <p>12. 15 田園都市部に厚木開発総合事務所、用地部に高津改良工事用地班設置</p> <p>〃 奥沢総合ビル第1期工事完成</p> <p>12. 16 吉田瓦斯全株式を静岡瓦斯に譲渡（10万4,210株）</p> <p>12. 20 白馬観光開発は岩岳スキー場に会員制「白馬メンバーズクラブ」を開設</p> <p>12. 21 神木土地区画整理事業完成</p>	<p>6. 5 京王プラザホテル開業</p> <p>〃 名古屋鉄道系百貨店「メルサ」三軒茶屋に開業</p> <p>6. 17 沖縄返還協定調印</p> <p>7. 1 環境庁発足</p> <p>7. 2 湘南モノレール大船～江の島間開通</p> <p>7. 3 東亜国内航空「ばんだい号」函館上空で墜落（死者68人）</p> <p>7. 5 運輸大臣に丹羽喬四郎就任</p> <p>7. 30 自衛隊ジェット機 盛岡上空で全日本空輸機に衝突（死者162人）</p> <p>8. 15 米大統領ニクソン 金・ドル交換一時中止、10%の輸入課徴金新設の政策を発表（ドル・ショック）</p> <p>8. 16 東京株式市場「ドル・ショック」により大暴落</p> <p>8. 17 東映社長大川博死去</p> <p>9. 27 天皇・皇后両陛下 ヨーロッパ7か国親善訪問出発（昭46.10.4 帰国）</p> <p>10. 16 国鉄は修学旅行電車「きぼろ」を廃止（昭46.10.25日「ひので」廃止）</p> <p>10. 25 中国の国際連合代表権回復、台湾は国際連合脱退</p> <p>12. 1 主要幹線道路にバス優先走行線設定される</p> <p>12. 16 札幌市営地下鉄北二十四条～真駒内間開通</p> <p>12. 18 円切上げ 1ドル＝308円となる</p> <p>12. 20 名古屋市営地下鉄名古屋港～大曽根間開通により全通</p>
<p>昭和47年</p> <p>1. 4 本社始業、終業時刻変更（9時30分～17時30分、土曜日9時30分～12時30分）</p> <p>1. 20 石勝エクステリヤ設立 資本金600万円</p> <p>2. 20 上田交通 真田・傍陽線廃止</p> <p>3. 2 東急不動産 小川第2土地区画整理事業完成</p> <p>3. 16 宮崎土地区画整理事業完成</p>	<p>1. 24 グアム島で元日本兵横井庄一さん発見される</p> <p>1. 27 西湘バイパス全線開通、箱根ターンパイクと接続</p> <p>2. 3 第11回冬季オリンピック札幌大会開催（11日間）</p> <p>2. 5 6大都市タクシー運賃値上げ（東京43.5% 横浜33.8%）</p> <p>2. 19 軽井沢山荘で連合赤軍グループ5人、警官隊と銃撃戦</p> <p>3. 1 都市交通審議会は13路線答申（11号線二子玉川～渋谷～九段下～蠣殻町～深川扇橋）</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>3. 24 顧問綾部健太郎死去 " 北山田第1 土地区画整理事業完成</p> <p>3. 30 東急ホテルズ・インターナショナル設立 資本金 5 億円</p> <p>3. 31 東急ターンバイクの有料道路業を譲受ける " 日本ドリゾール株式をウエスタン・トレーディングに譲渡 (72, 900株)</p> <p>4. 1 東急ターンバイクに有料道路業を委託 " 富士湯河原開発室, 東急ファミリークラブ事務局 設置 東急広報委員会設置 " 東急観光は東急航空を合併 " 東光食糧販売をさん下に収める 資本金 800 万円 " 田園都市線つくし野～すずかけ台間 (1. 2km) 開通</p> <p>4. 16 電車冷房装置取付け 東横線25両, 目蒲線 3 両, 田園都市線 8 両</p> <p>4. 20 田園都市線冷房車使用開始</p> <p>5. 1 相談役会 (社長諮問機関) 設置 " 定山溪鉄道は札幌市内バス路線を札幌市へ譲渡</p> <p>5. 4 相談役水野成夫死去</p> <p>5. 8 目蒲線冷房車使用開始</p> <p>5. 13 南町田第1 土地区画整理組合設立認可</p> <p>5. 29 第100 回定時株主総会 定款一部変更 転換社債 の発行など可決 取締役松田令輔, 三宮四郎, 星 野直樹, 浜章一郎, 監査役賀屋興宣, 柏村毅辞任 副社長に小島立平, 専務に田中正佐, 常務に山田 秀介, 取締役樋口周雄, 監査役に浜章一郎それ ぞれ就任 株主配当年10%</p> <p>" 英文社名を「Tokyu Corporation」と改称</p> <p>6. 1 琉球東急ホテルは那覇東急ホテルと商号変更</p> <p>6. 5 元石川第3 土地区画整理組合設立認可</p> <p>6. 15 大倉山変電所完成送電開始</p> <p>7. 3 創立50周年記念行事実行委員会設置</p> <p>7. 17 恩田第4 土地区画整理事業完成</p> <p>7. 25 トヨタカローラ東急の所有株式をトヨタカローラ 神奈川に譲渡</p> <p>7. 27 東横線菊名駅改良工事竣工 " 会社創立記念日 5月1 日を9月2 日に変更</p> <p>7. 一 目蒲線・田園都市線に冷房車両就役</p> <p>8. 1 バス運賃改訂 横浜市内片道大人50円均一 (ただ し昭48. 3. 31までは暫定措置として40円均一) " 東亜国内航空 東京～大分間にジェット機就航 (9. 1鹿児島まで延長)</p> <p>8. 3 東急レクリエーション 浜松東急ボウル開業 8. 10新潟東急ボウル開業</p> <p>8. 15 恩田第5 土地区画整理組合設立認可</p> <p>9. 1 用地部に新玉川線用地班新設 " 創立50周年式典を (東横ホール) 挙行 " 創立50周年記念事業発表 《①総合ビルの建設 ② 東急グループ社員クラブの建設 ③東急グループ シンボルマークの制定 ④「とうきゅう長生村」 (仮称) の設立》</p>	<p>3. 15 山陽新幹線 岡山まで開通</p> <p>4. 16 ノーベル賞作家川端康成 ガス自殺</p> <p>4. 23 大手私鉄7 労組24時間スト</p> <p>4. 30 中小私鉄100 労組24時間スト</p> <p>5. 13 大阪千日デパート火災で118 人死亡</p> <p>5. 15 沖縄復帰 沖縄県として発足</p> <p>6. 5 国連主催人間環境会議, スtockホルムで開催</p> <p>6. 12 超音速機コンコルド羽田に飛来</p> <p>6. 30 都営地下鉄6 号線巣鴨～日比谷間開業</p> <p>7. 7 田中角栄内閣成立 運輸大臣佐々木秀世就任</p> <p>7. 15 国鉄総武地下新線東京～錦糸町間完成 房総東線 を外房線, 房総西線を内房線と改称</p> <p>8. 20 横浜線小机～八王子間複線化工事に着手</p> <p>9. 25 首相田中角栄, 中国訪問 周恩来首相と会談 日 中共同声明調印</p>

社 内 事 項 ・ 関 連 事 業	交 通 業 界 ・ そ の 他
<p>9. 2 東急グループ競技大会開催 (9.13まで)</p> <p>9. 4 創立50周年記念パーティーを東急銀座ホテル(10.3 福岡, 10.4大阪, 10.6札幌, 10.12名古屋, 48.1.23静岡)で開催</p> <p>9. 29 専務田中正佐 東急百貨店副社長に就任 " 元石川第2 土地区画整理事業完成</p> <p>9. 30 転換社債35億円発行 " 宮前平サニーヒル竣工 (東急ドエルシリーズ24番目)</p> <p>10. 1 無償増資により, 資本金144 億2,280 万円となる " 公休日6 日制実施 " 本社就業時刻変更 平日9 時30分~17時30分(休憩12時30分~13時15分) 土曜日9 時30分~13時 " 青葉台のフードマートにおいてキャッシュレス・システム実験開始 " 東亜国内航空 大阪~新潟間運航開始(1日1往復) 福岡~鹿児島間ジェット機就航(1日4往復) " 東急観光に国鉄普通周遊券の発売認可 " 資本金141 億4,000万円を144 億2,280万円に増額</p> <p>10. 2 東急ホテルチェーンは東証第2 部上場</p> <p>10. 5 長津田車両工場竣工</p> <p>10. 16 開発事業部に九州開発事務所設置(昭48.2.1南福岡都市建設事務所と改称)</p> <p>10. — 新玉川線第2 期工事を日本鉄道建設工団の事業として当社が受託</p> <p>11. 28 第101回定時株主総会 株主配当年10%</p> <p>11. 1 伊豆急行は東証第2 部上場</p> <p>12. 4 オーキッド・アイランド・リゾーツ・コーポレーション設立 資本金102 万ドル</p> <p>12. 15 ニッポンレンタカー東名はニッポンレンタカー東急と商号変更</p>	<p>10. 14 国鉄100 周年記念式典を両陛下ご臨席のもとに挙行</p> <p>10. 20 営団地下鉄千代田線霞ヶ関~代々木公園間開通銀座線神宮前駅を「表参道」と改称</p> <p>12. 11 衆議院議員総選挙</p> <p>12. 16 横浜市営地下鉄上大岡~伊勢佐木長者町間開通</p> <p>12. 25 第2次田中角栄内閣成立 運輸大臣新谷寅三郎就任</p>
<p>昭和48年</p> <p>1. 16 バス運賃改訂 都内1 地帯40円, 2 地帯60円に " 東急ベースボール倶楽部を東映に譲渡</p> <p>2. 1 政策室, 経営企画室, 総合開発室設置 交通事業本部, 開発事業本部, 観光サービス事業本部, 流通事業本部の4 事業本部制となる</p>	<p>1. 27 ベトナム戦争終結</p> <p>2. 14 円, 変動相場制となる</p>

前 史

田園都市・荏原電気鉄道	武蔵電気鉄道
<p>大正7年</p>	<p>明治39年</p>
<p>1. — 田園都市会社発起 発起人渋沢栄一, 中野武営, 服部金太郎, 緒明圭造, 柿沼谷雄, 伊藤幹一, 市原求, 星野錫</p> <p>” 荏原電気鉄道発起 荏原郡大井町を起点に玉川村の玉川電気鉄道駒沢停車場付近に至る軽便鉄道敷設免許申請 発起人渋沢栄一, 中野武営, 服部金太郎, 緒明圭造, 柿沼谷雄, 市原求, 伊藤幹一, 星野錫</p> <p>3. 4 荏原電気鉄道創立事務所を東京市麴町区永楽町2—10田園都市会社創立事務所内に設置</p> <p>9. 2 田園都市会社設立 資本金50万円 社長に中野武営 専務に竹田政智, 取締役服部金太郎, 緒明圭造, 柿沼谷雄, 星野錫, 監査役に伊藤幹一, 市原求, 相談役に渋沢栄一それぞれ就任 本社事務所を東京市麴町区永楽町2—10日清生命館内に設置</p> <p>9. — 事業用地買収開始 (対象地 洗足地区, 多摩川台地区, 大岡山地区)</p> <p>10. 9 社長中野武営死去 専務竹田政智が代表取締役となる</p>	<p>11. 10 武蔵電気鉄道発起 渋谷村字渋谷広尾町～横浜市平沼間鉄道敷設免許申請 発起人岡田治衛武 山根舜太郎 阿部太一郎 樋口鉦次郎 村田佐輔</p>
<p>大正8年</p>	<p>明治40年</p>
<p>8. 28 資本金50万円を100万円に増額</p>	<p>5. 25 起点渋谷村字渋谷広尾町を字広尾町天現寺橋に変更し, 天現寺橋～官設平沼停車場間 (本線), 調布村～蒲田間 (蒲田支線—第1支線) 鉄道敷設免許申請</p> <p>12. 6 共願会社東海電気鉄道は申請を撤回して会社発起を中止 同社発起人は武蔵電気鉄道の発起に加盟し (明41.1.31), 資本金半額を引受ける</p>
<p>大正9年</p>	<p>明治41年</p>
<p>1. 6 荏原電気鉄道 大井町～調布村間 (8.48km) 地方鉄道敷設免許申請</p> <p>1. 30 資本金100万円を500万円に増額 取締役渋沢秀雄, 監査役に中野岩太就任</p> <p>” 定款変更 電気鉄道の敷設・電燈電力供給事業を追加</p> <p>3. 6 荏原電気鉄道 大井町～調布村間地方鉄道敷設免許</p> <p>4. 10 荏原電気鉄道発起人総会 鉄道敷設権を無償で田園都市会社に譲渡の件可決</p> <p>4. 14 荏原電気鉄道発起人は大井町～調布村間鉄道敷設権の田園都市会社への譲渡許可申請 (大9.5.18認可)</p> <p>5. 18 荏原電気鉄道発起人会解散</p> <p>” 荏原電気鉄道の鉄道敷設権を無償で譲受ける</p> <p>6. 29 監査役中野岩太辞任</p> <p>12. 20 大崎町～碑倉村間地方鉄道敷設免許申請 (大10.2.15免許)</p>	<p>5. 8 天現寺橋～官設平沼停車場間 (本線), 調布村～官設蒲田停車場間 (蒲田支線), 仮免許</p> <p>6. 12 碑文谷～新宿間 (新宿支線—第2支線), 平沼～蓬萊橋間 (横浜市内延長線—第3支線) 鉄道敷設免許申請</p>
<p>大正10年</p>	<p>明治42年</p>
<p>4. 16 相談役に矢野恒太就任</p> <p>4. 19 池上電気鉄道に投資の件決定</p> <p>5. 9 大崎町～碑倉村間工事施行認可申請</p> <p>5. 26 田園都市耕地整理組合設立 (洗足地区)</p> <p>6. 30 定款変更 電気器具・機械の売買・貸付を追加</p> <p>” 取締役篠原三千郎就任</p> <p>11. — 事業用地買収完了 (総面積159万9,000㎡, 別途, 大岡山地区に30万㎡を買収)</p>	<p>10. 13 本線, 第1支線本免許下付延期願申請</p> <p>10. 25 定款制定</p>
	<p>明治43年</p>
	<p>3. 2 起業目論見書中の軌間1,372mを1,435mに変更</p> <p>5. 16 第3支線平沼～蓬萊橋間仮免許</p> <p>6. 22 創立総会 資本金350万円 社長に岡田治衛武, 常務に新海栄太郎, 取締役に根津嘉一郎, 岩下清周, 小野金六, 賀田金三郎, 村井真雄, 監査役に広沢金次郎, 有地品之允, 佐竹作太郎, 改野耕三それぞれ就任</p> <p>7. 6 本線, 第1支線本免許下付申請</p> <p>11. 12 本社を東京市京橋区加賀町17に移転</p>
	<p>明治44年</p>
	<p>1. 9 本線天現寺橋～平沼間, 第1支線調布村～蒲田間免許</p> <p>3. 10 第2支線碑文谷～新宿間仮免許</p> <p>7. 3 社長岡田治衛武辞任</p>
	<p>明治45年</p>
	<p>7. 25 社長に岡田治衛武, 常務に別府藤馬, 取締役に岩下清周, 賀田金三郎, 伴野乙弥, 志賀直温, 監査役に園田実徳, 高木豊三, 村井真雄それぞれ就任</p>
	<p>大正11年</p>
	<p>10. 1 本社事務所を東京市麴町区有楽町1—1に移転</p> <p>11. 22 第2支線碑文谷～新宿間免許</p> <p>11. 28 資本金350万円を1,100万円に増額決議</p> <p>12. 10 城南鉄道の鉄道敷設権 (二ノ橋～世田谷間) 譲受け申請 (大2.2.3許可, 第4支線とする)</p>
	<p>大正12年</p>
	<p>4. 30 第4支線二ノ橋～赤羽河岸間ならびに第5支線赤羽河岸～浜海岸間軽便鉄道敷設免許申請</p> <p>6. 1 本社事務所を東京市麴町区八重洲町1—1に移転</p> <p>6. 25 第4支線延長線軽便鉄道敷設免許申請却下</p>

武蔵電気鉄道	池上電気鉄道
<p>12. 19 本線, 第1支線工事竣工延期願申請(大3.2.18許可)</p> <p>12. — 第2支線起点碑文谷を上目黒に変更申請</p> <p>大正3年</p> <p>2. 14 第6支線上目黒～有楽町間鉄道敷設免許申請</p> <p>3. 10 第4支線二ノ橋～赤羽河岸間軽便鉄道敷設延長申請却下</p> <p>9. 23 第2支線上目黒～新宿間工事竣工延期願申請(大4.11.17許可)</p> <p>大正4年</p> <p>3. 17 本社事務所を東京市麴町区有楽町1—3に移転</p> <p>6. 10 本線, 第1支線工事竣工延期願申請(大4.9.14許可)</p> <p>7. 9 軽便鉄道指定願申請(大4.10.21却下)</p> <p>11. 3 新宿支線工事竣工延期願申請(大5.1.18許可)</p> <p>12. 27 資本金350万円を245万円に減額</p> <p>大正5年</p> <p>1. 24 第5支線赤羽河岸～浜海岸間軽便鉄道, 第6支線上目黒～有楽町間鉄道敷設免許申請却下</p> <p>5. 31 社長に岡田治衛武, 常務に河村恒二郎, 取締役に関守造, 賀田金三郎, 監査役に阿部太市郎それぞれ就任</p> <p>7. 5 第3支線平沼橋～蓬萊橋間本免許状の下付却下</p> <p>11. 28 本線, 第1・第2支線工事竣工期限延期願申請</p> <p>大正6年</p> <p>5. 10 本線, 第1・第2支線の工事竣工延期申請願不許可(私設鉄道法によるすべての免許失効)</p> <p>〃 本線, 渋谷町～横浜花園橋, 蒲田支線, 新宿支線軽便鉄道敷設免許申請</p> <p>5. — 渋谷町～横浜花園橋間本線を渋谷町～高島町間に変更申請</p> <p>10. 30 本線, 蒲田支線, 新宿支線軽便鉄道敷設免許</p> <p>12. 22 東京市内線上目黒～有楽町間鉄道敷設免許申請(大7.3.30却下)</p> <p>大正7年</p> <p>1. 31 東京市内線を渋谷町～麴町有楽町に変更申請</p> <p>5. 18 東京市内線敷設免許再申請(7.22却下)</p> <p>11. 1 本社事務所を東京市芝区西久保巴町に移転</p> <p>11. 2 東京市内線敷設免許申請(大9.3.17免許)</p> <p>大正8年</p> <p>5. 14 本社事務所を東京市牛込区原町1—13に移転</p> <p>12. 6 本社事務所を東京市麴町区内幸町2—4に移転</p> <p>12. 21 社長岡田治衛武以下全役員辞任 会長に郷誠之助, 専務に渡辺勝三郎, 常務に鈴木寅彦, 取締役に関尾謙之助, 小池国三, 中村房次郎, 林謙吉郎, 監査役に渡辺嘉一, 辰沢延次郎, 太田光熙, 鈴木茂兵衛それぞれ就任</p> <p>大正9年</p> <p>3. 17 東京市内線渋谷町～有楽町間鉄道敷設免許(大12.3.6失効)</p> <p>5. 11 常務に五島慶太就任(鉄道院監督局総務課長を辞任)</p>	<p>大正元年</p> <p>12. 25 池上電気鉄道発起 大崎町～入新井村間軽便鉄道敷設特許申請, 発起人総代松方五郎, 発起人石丸竜太郎, 久保勇, 山田敬徳, 五明直温, 八木恒三郎</p> <p>大正3年</p> <p>4. 8 大崎町～入新井村間軽便鉄道敷設免許</p> <p>大正6年</p> <p>6. 24 創立總會 資本金40万円 社長に山口文右衛門, 常務に八木恒蔵, 取締役に関田金次郎, 石黒景文, 諏訪方季, 武永常太郎それぞれ就任 本社を東京市麴町区有楽町1—3に設置</p> <p>6. 25 大崎町～入新井村間工事施行認可申請(大7.3.25認可)</p> <p>11. 17 社長山口文右衛門辞任</p> <p>11. 30 専務(代表取締役)に八木恒蔵就任</p> <p>大正7年</p> <p>4. 18 支線目黒～不動前～五反田～二本榎西町間軽便鉄道敷設免許申請</p> <p>9. 3 線路および工事方法一部変更認可申請(起点を蒲田付近に)</p> <p>10. 30 支線池上～蒲田間軽便鉄道敷設免許申請(12.28免許)</p> <p>大正8年</p> <p>11. 29 取締役に関田中庄一郎, 丸井良蔵, 尾城満三就任</p> <p>大正9年</p> <p>3. 12 資本金を250万円に増額の件可決(鉄道院より訂正指示)</p> <p>7. 15 資本増加ならびに定款変更決議認可申請</p> <p>大正10年</p> <p>5. 18 第1期線池上～蒲田間着手</p> <p>5. 31 定時株主總會 取締役に関川寛治就任</p> <p>6. 21 社長に関川寛治就任</p> <p>9. 24 資本金40万円を185万円に増額</p> <p>9. 27 嶺変電所竣工</p>

玉川電気鉄道	玉川電気鉄道
<p>明治29年</p> <p>11. 18 玉川砂利電気鉄道発起 玉川～三宅坂間鉄道敷設免許申請、発起人渡辺熊之進、田中筑閤、横溝清太郎</p> <p>明治35年</p> <p>2. 8 渋谷～玉川間鉄道敷設特許（渋谷～三宅坂間は不許可）</p> <p>3. 20 玉川電気鉄道と商号変更</p> <p>明治36年</p> <p>10. 4 創立総会、資本金40万円 専務（代表取締役）に渡辺熊之進就任 本社を東京市麴町区内幸町1—5に設置</p> <p>明治37年</p> <p>7. 27 三軒茶屋～玉川間軌道敷設工事施行認可申請（明38. 1. 21認可）</p> <p>10. 3 火力発電所建設出願（明37. 10. 25許可）</p> <p>明治38年</p> <p>5. 8 本社を東京市赤坂区青山北町6—47に移転</p> <p>7. 5 道玄坂上～三軒茶屋間軌道敷設工事施行認可申請（明38. 10. 27認可）</p> <p>8. 15 臨時株主総会 専務（代表取締役）渡辺熊之進辞任、専務（代表取締役）に青山幸宜就任</p> <p>明治39年</p> <p>2. 8 旅客運賃認可 区間制1区3銭、全線5区</p> <p>3. 1 渋谷～道玄坂上間軌道敷設工事施行認可申請（明39. 9. 1認可）</p> <p>3. 23 軌道敷設工事着手</p> <p>10. 9 臨時株主総会 資本金40万円を60万円に増額 専務（代表取締役）青山幸宜辞任、専務（代表取締役）に永松達吾就任</p> <p>12. 7 渋谷～千駄ヶ谷間鉄道敷設免許申請（のちに却下）</p> <p>明治40年</p> <p>2. 20 渋谷～北品川間、世田谷～登戸間鉄道敷設免許申請（渋谷～北品川間却下、）世田谷～登戸間免許返納）</p> <p>3. 6 道玄坂上～三軒茶屋間開通（単線）</p> <p>4. 1 三軒茶屋～玉川間開通（単線）</p> <p>6. 29 電燈供給業許可</p> <p>6. — 砂利業営業開始</p> <p>8. 11 渋谷～道玄坂上間開通（単線）により渋谷～玉川間全通</p>	<p>12. 29 本社を東京府下中渋谷223に移転</p> <p>明治41年</p> <p>5. 14 電燈業営業開始 世田谷、駒沢両村へ電燈供給開始</p> <p>明治42年</p> <p>3. 11 専務（代表取締役）永松達吾辞任 専務（代表取締役）に津田興二就任</p> <p>明治43年</p> <p>5. 24 目黒、渋谷両村へ電燈供給開始</p> <p>明治44年</p> <p>2. 1 砂利業を委託制とする</p> <p>3. 25 富士瓦斯紡績と電力需給契約締結</p> <p>8. 8 電力供給業許可</p> <p>9. 27 電力供給業営業開始</p> <p>大正2年</p> <p>3. 17 臨時株主総会 取締役稲延利兵衛ほか1人就任</p> <p>3. 31 富士瓦斯紡績の投資額30万円に対して第2優先株を発行し、資本金60万円を100万円に増額</p> <p>大正4年</p> <p>1. 27 資本金100万円を80万円に減額</p> <p>4. 2 京王電気軌道に電力供給許可</p> <p>大正7年</p> <p>6. 29 渋谷～天現寺橋間、渋谷橋～中目黒間鉄道敷設免許申請</p> <p>12. 21 資本金80万円を250万円に増額</p> <p>大正8年</p> <p>1. 20 渋谷～天現寺橋間、渋谷橋～中目黒間鉄道敷設特許</p> <p>大正9年</p> <p>3. 27 駒沢～用賀間複線開通</p> <p>5. 1 運賃改訂 区間制1区4銭、2区7銭、3区11銭、4区15銭、5区18銭</p> <p>8. 21 軌道拡幅（1.067メートルより1.372メートルに）工事のため全線単線運転実施</p> <p>8. 24 玉川～砧間地方鉄道敷設免許</p> <p>9. 3 軌道拡幅工事完成</p> <p>10. 31 上馬引沢～駒沢間複線工事竣工</p> <p>大正10年</p> <p>6. 24 三軒茶屋～世田谷、世田谷～下高井戸間地方鉄道敷設免許申請</p> <p>12. 26 中里停留場新設開業</p>